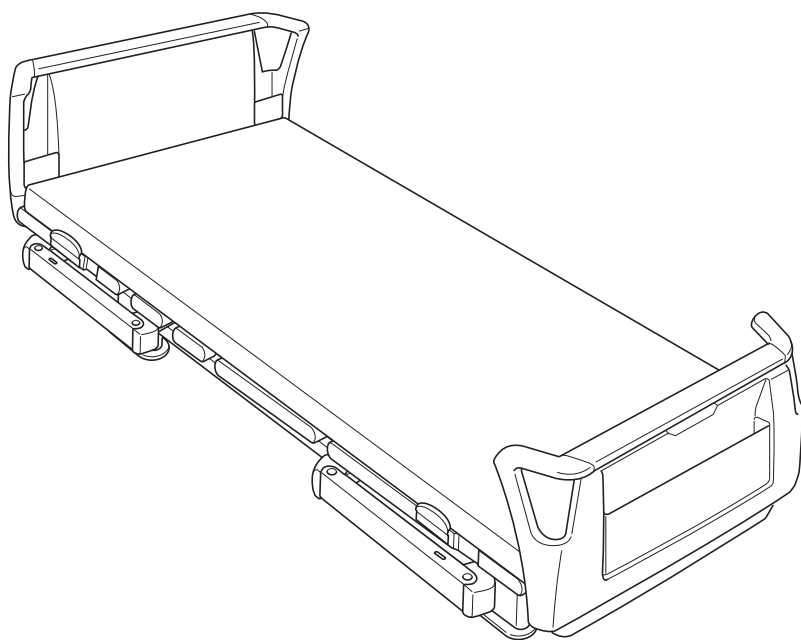




PARAMOUNT BED

# 介護用ベッド KQ-60000シリーズ



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

パラマウントベッド株式会社

## 取扱説明書

保証書別添

### まえがき

このたびは、介護用ベッドKQ-60000シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

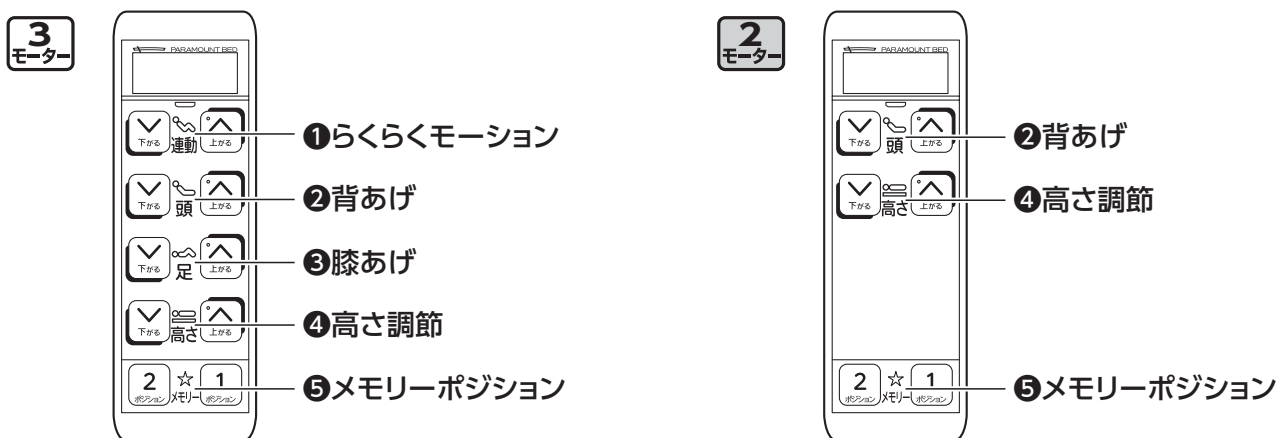
- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

7F11016100A4

## 頻繁に用いる機能

■介護用ベッドKQ-60000シリーズは、ご家庭でベッドを使用する方の動作を助けること、介護する方の介護負担を軽くすることを目的として作られたベッドです。ベッドには、次のような特長があります。

### ベッドポジションを自在にコントロールできます。



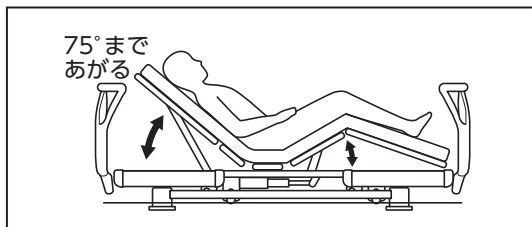
このマークの数字は、説明のあるページを示しています。

#### ①らくらくモーション 3 モーター

[[付 24・25ページ](#)]

背ボトム「あげ/さげ」と連動して、膝ボトムが自動で動作します。

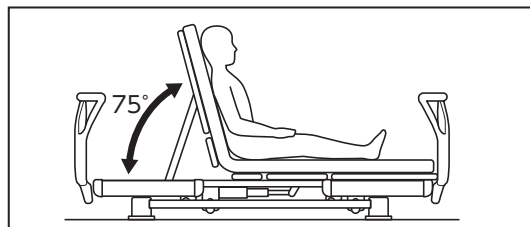
身体のずれを大幅に軽減し、背あげ時の姿勢をしっかりと保持します。



#### ②背あげ 3 2 モーター [[付 26ページ](#)]

背ボトムを水平から75°まで調節できます。

背をあげることでベッドからの起きあがりにより楽に行えます。

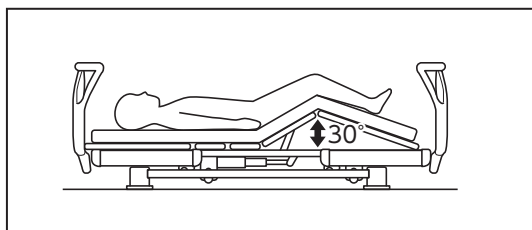


#### ③膝あげ 3 モーター [[付 28ページ](#)]

膝ボトムを水平から30°まで調節できます。

背あげ時に、先に膝をあげておくことで身体のずれを少なくすることができます。また、背と膝の角度を適度にあげると、身体に負担のかかりにくいより楽な姿勢がとれます。

※ 2 は、背あげと連動して膝ボトムを水平から20°まであげることができます。

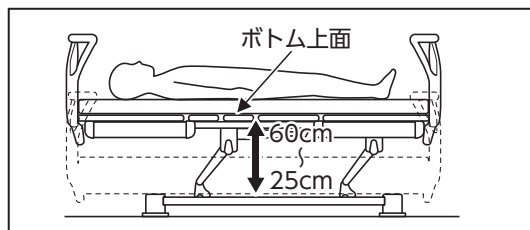


#### ④高さ調節 3 2 モーター [[付 27ページ](#)]

ベッドの高さ（ゆかからボトム上面までの高さ）を25cmから60cmまで調節できます。

低床のため、背の低い方でもかかとをしっかりとゆかに着けることができます。また、万一の転落のときにも衝撃を軽減できます。

適度な高さまであげることで、介護者はより楽な姿勢で介護ができます。

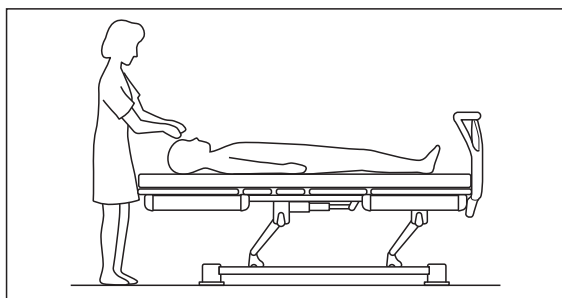


#### ⑤メモリーポジション 3 2 モーター [[付 29ページ](#)]

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの背・膝の角度、ベッドの高さ（床高）を調節します。

## ボードの取外しが簡単 [P.95ページ]

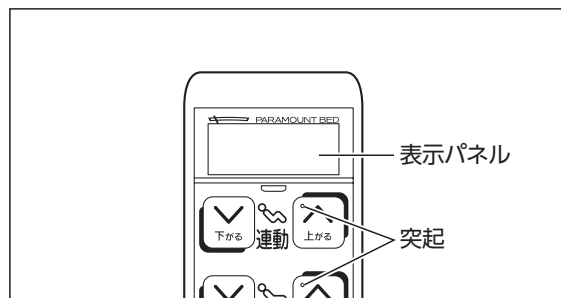
シーツ交換、身体の清拭、洗髪、洗顔などの介護がしやすくなります。



## 使いやすい手元スイッチ

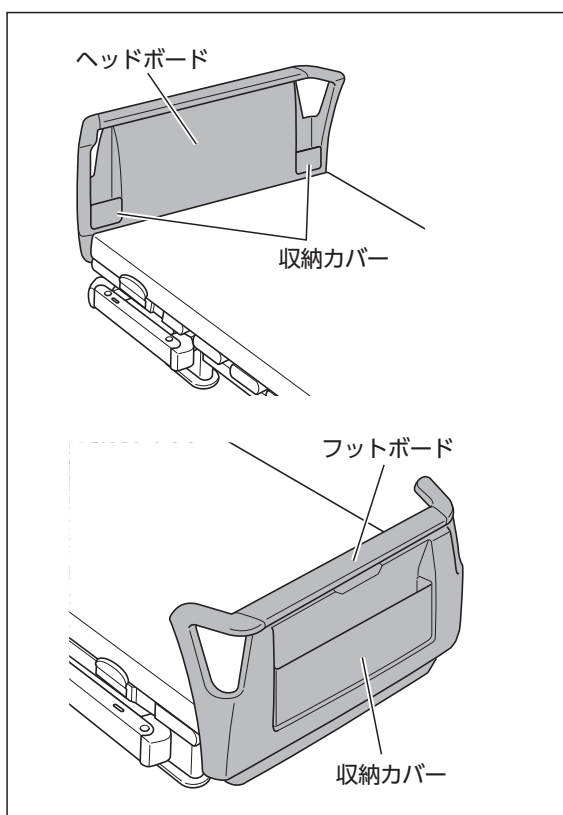
[P.17~21・33~43ページ]

- 手元スイッチの表示パネルにベッドの状態（背の角度など）が表示され、ベッドの調節時に角度や高さが一目でわかります。
- 操作ボタンの突起により、触感で $\uparrow$ / $\downarrow$ を区別できます。



## 小物の収納が可能なボード [P.32ページ]

ボード（樹脂ボードのみ）に収納スペースがあるため、ベッド周りの小物や取扱説明書などを入れることができます。

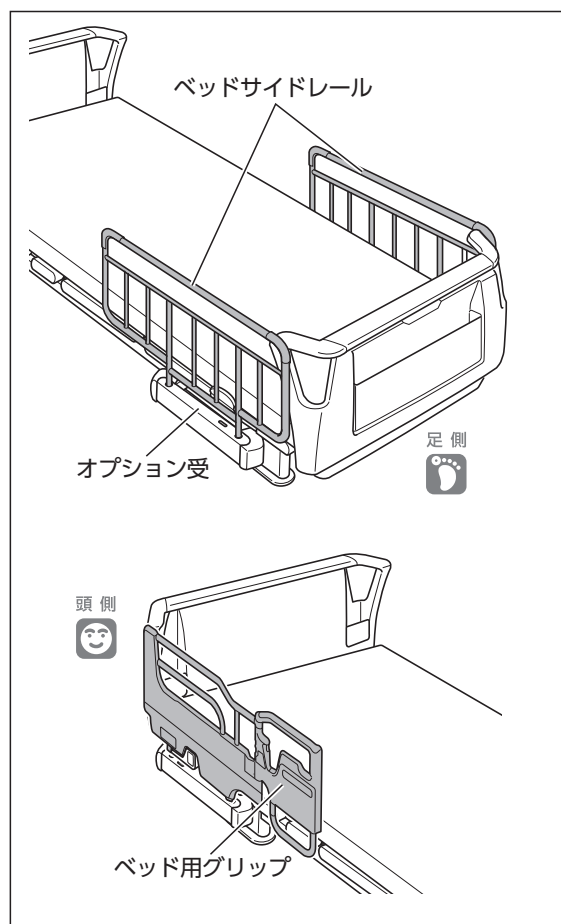


## 静かなベッド動作



動作音が静かなアクチュエーター（モーター）を使用しています。

## 多彩なオプション [P.44~50ページ]

オプション受には、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを取付けることができます。



# もくじ

<b>1 各部の名称</b> .....	5
<b>2 安全上の注意</b> .....	6~15
<b>3 設置上の注意</b> .....	16
<b>4 手元スイッチの取付位置</b> .....	17
1. 手元スイッチの配線方向について .....	17
2. 手元スイッチの取付かた .....	17
<b>5 ベッドの使用方法</b> .....	18
1. 手元スイッチの各部のなまえと働き .....	18~21
2. ベッド／手元スイッチの電源の入れかた .....	22・23
3. 背の動かしかた .....	24~26
4. ベッドの高さ調節のしかた .....	27
5. 膝の動かしかた  .....	28
6. メモリーポジションへの動かしかた .....	29
7. 背膝連動／背あげの切換えについて  .....	30・31
8. 収納カバーの使いかた（樹脂ボードのみ） .....	32
<b>6 手元スイッチによるベッドの設定のしかた</b> .....	33
(1) 足側フレームがQ6***1Fの場合 .....	33
1. 設定モードへの切換え .....	33
2. ベッドの各動作設定 .....	34・35
3. 操作ボタンのロック（操作禁止）の設定 .....	36
4. メモリーポジションの設定 .....	37
(2) 足側フレームがQ6***0Fの場合 .....	38
1. 常時ONの設定 .....	38
2. 操作ボタンのロック（操作禁止）の設定 .....	39・40
3. 背あげ・ベッド高さの動作速度の設定 .....	41
4. 操作音の設定 .....	42
5. 手元スイッチの設定のリセット .....	42
6. 連動・頭（背）・足（膝）・高さのメモリーポジションの設定 .....	43
<b>7 適合オプション</b> .....	44
1. ベッドサイドレール .....	45
2. ソフトカバー付／クリアカバー付／サクッとポケット付ベッドサイドレール .....	46
3. キャスター .....	46
4. ベッド用グリップ（スイングアーム介助バー／サイドグリップ） .....	47
5. ソフトカバー付ベッド用グリップ .....	47
6. サイドサポート .....	48
7. 延長フレーム（ベッド延長用具） .....	48
8. オーバーテーブル／アジャストテーブル .....	48
9. ベッドサイドテーブル .....	49
10. 脚座ゴムシート .....	49
11. スマートハンドル .....	50
12. IVポールホルダー（樹脂ボードのみ） .....	50

<b>8</b>	<b>適合オプションの組合せと取付位置</b> .....	51
	1. ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー/サイドグリップ) を使用する場合	51
	2. ベッドサイドレールを使用する場合 .....	52
<b>9</b>	<b>マットレス (別売)</b> .....	53
<b>10</b>	<b>電動介護リフト (床走行式リフト) を使用するときのご注意</b> .....	54
<b>11</b>	<b>定期点検と日常のお手入れ</b> .....	55
	1. 定期点検について .....	55
	2. 日常のお手入れについて .....	55
<b>12</b>	<b>故障かな?と思ったら</b> .....	56・57
<b>13</b>	<b>緊急時のベッド操作のしかた</b> .....	58
	1. 手動による背さげのしかた/戻しかた .....	58~60
	2. スマートハンドルによるベッド操作のしかた .....	61
<b>14</b>	<b>長期保管と移動 (移設)</b> .....	62
	1. 長期保管について .....	62
	2. 移動 (移設) について .....	63
<b>15</b>	<b>仕様</b> .....	64
	1. ベッド本体 .....	64
	2. 電装品 .....	65
	<b>組立・分解方法</b> .....	66
	<b>アフターサービス</b> .....	104

**おことわり**

● 5 ページ「1. 各部の名称」以降、本文中に記載の名称を一部以下のように略しております。

・ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー/サイドグリップ) ➡ ベッド用グリップ

**この取扱説明書に記載されているマークについて****3 モーター 2 モーター** について

この取扱説明書は2つのタイプを記載しており、それぞれのタイプを右記のマークで分類しています。

項目によっては該当しない内容もありますので、ご購入されたタイプを確認の上、該当するマークが記載された項目をご覧ください。

なお、これらのマークが記載されていない項目は、共通の項目であり、すべてのタイプが該当します。

**3**  
モーター

品番：KQ-63\*\*\*

**2**  
モーター

品番：KQ-62\*\*\*

※品番の\*\*\*には数字が入ります。

**注記** について

このマークは、特に重要な内容や間違いやすい内容、注意点などを記載していることを表しています。

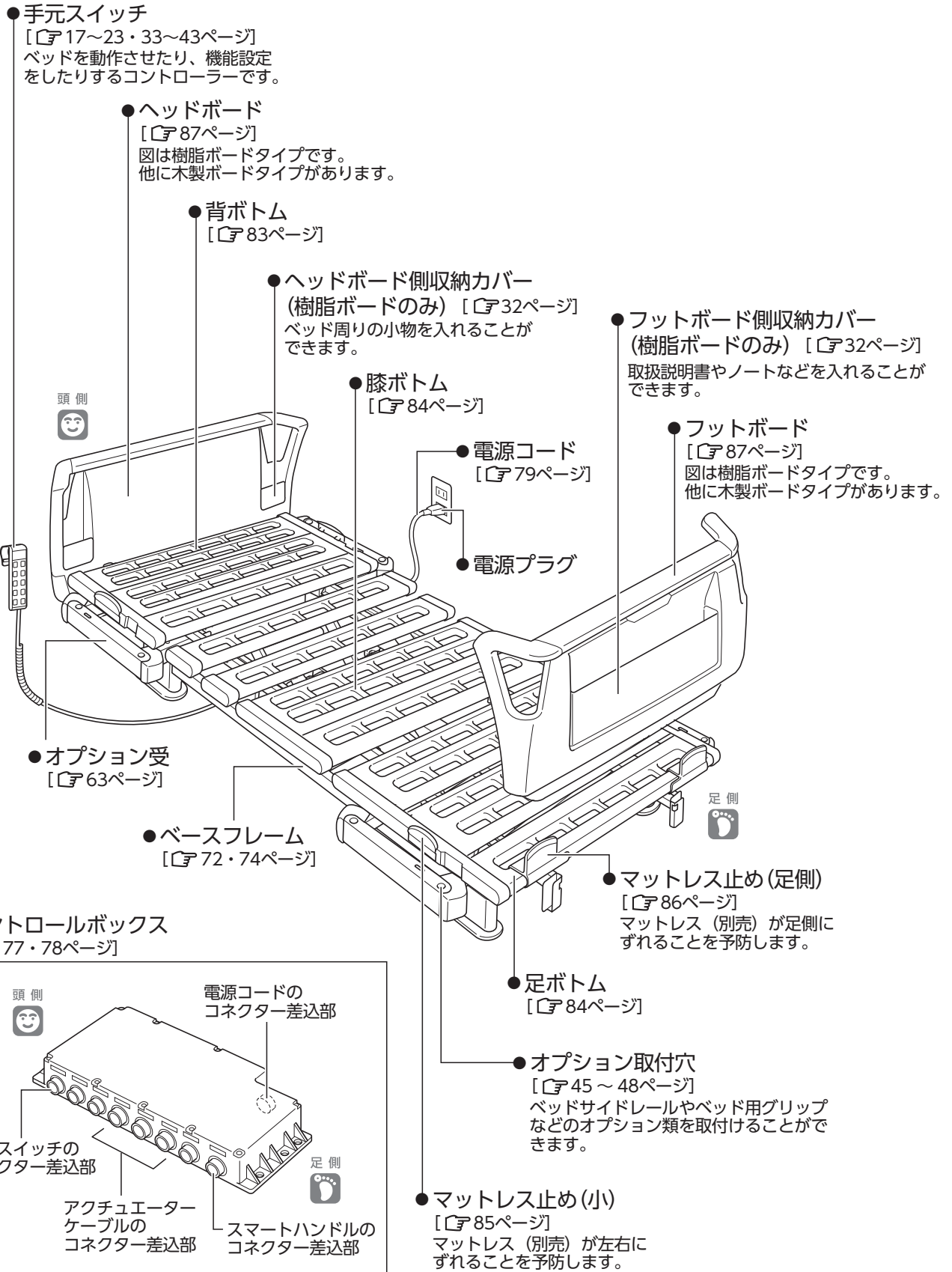
頭側 足側



## について

このマークは、ベッドの方向 (頭側と足側) を表しています。

# 1 各部の名称



## 2 安全上の注意

必ずお守りください

ご使用前に、必ずこの「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



**警告**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺<sup>まひ</sup>など）を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

『安全上の注意』などに記載の項目で、特に【すき間に関する注意】は、生命に関わる重大な事故につながる可能性のある重要な項目です。本取扱説明書とあわせ、製品に別添の『すき間および電装品についての注意事項』を必ずお読みいただき、正しく安全にお使いください。なお、特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

# 2 安全上の注意

必ずお守りください

2 安全上の注意

## 安全ラベルについて

注意事項の中で、ベッドを使用する方に特に注意していただきたい項目をラベルにしてフットボードの内側とフットボード側収納カバー、電源コード、アクチュエーターケーブルに貼ってあります。

※木製ボードにはフットボード側収納カバーはありません。

## 安全ラベルは、はがしたり傷つけたりしないでください

安全ラベルが傷ついたりはがれたりした場合は、販売店から新しい安全ラベルを取寄せ、貼り直してください。

足側

フットボード

取扱説明書に記載のサイドレールおよびベッド用クリップ(介助バー)を使用してください。 3F016100AA0

**警告** すき間(4)に注意してください。

- オプション(サイドレールやベッド用クリップなど)自らのすき間、オプション間のボトム・ボトム・マッパシスなどのすき間に、身体の一部(特に頭や顔)がはさまれたり、入ると抜けなくなるなどしてけがをするおそれがあります。
- すき間に入った状態で肩あけ・膝あけをすると、はさまれてけがをするおそれがあります。

●オプション(サイドレールやベッド用クリップなど)自らのすき間、オプション間のボトム・ボトム・マッパシスなどのすき間に、身体の一部(特に頭や顔)がはさまれたり、入ると抜けなくなるなどしてけがをするおそれがあります。

●すき間に入った状態で肩あけ・膝あけをすると、はさまれてけがをするおそれがあります。

ベッドの下にもぐり込んだりベッド内に頭・手や足などを入れないでください。

ベッドから離床する際は、ベッドの高さに注意してください。

ベッドを動作させる際は、ベッド上の方の様子を確認しながら動作させてください。

適合品以外の製品と組合わせないでください。

弊社が指定する適合品以外の製品と組合わせるなど、原因不明の発生や製品上の干渉、安定性の低下などにより、けがをするおそれがあります。

安全動作荷重:  $\Delta$  = 174kg, 最大利用者体重:  $\Delta$  = 138kg

3F016100AA0

足側

すき間(4)に注意してください。

**警告** けが、重傷のおそれがあります。

●安全動作荷重:  $\Delta$  = 174kg, 最大利用者体重:  $\Delta$  = 138kg

●取扱説明書に記載のサイドレールおよびベッド用クリップなどを使用してください。 3F10765600A0

●ベッド・オプションを正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

各部を操作するときは手指をはさまないように注意してください。

はさまれてけがをするおそれがあります。

適合品以外の製品と組合わせないでください。

弊社が指定する適合品以外の製品と組合わせるなど、原因不明の発生や製品上の干渉、安定性の低下などにより、けがをするおそれがあります。

3F10765600A0

パラマウントベッド株式会社

頭側

足側

容量: 幅51cm×高さ25cm×厚み3cm、重さ1kgまで

**警告** 収納カバーに寄りかかったり、手でつかまったり力をかけたりしないでください。

不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。

**注意** 記載の容量以上のものを入れたり、収納カバーにものを引っかけたりしないでください。

収納カバーがボードから外れ、収納したものが落下して破損するおそれがあります。

●収納カバーをボードに取り付ける際には、両端の突起(4ヶ所)をボード側の穴に入れて確実に固定してください。 3F07627400A0

**注意**

- ・搬送時や保管の際は、各フレーム内の配線用クリップにケーブルを固定してください。
- ・コネクターやガイドロックをぶつけたり、無理な力を加えないでください。

ガイドロックの破損や、コネクターの変形により、接触不良などのおそれがあります。

3F09686900A0

**注意**

- ・搬送時や保管の際は、各フレーム内の配線用クリップにケーブルを固定してください。
- ・コネクターやガイドロックをぶつけたり、無理な力を加えないでください。

ガイドロックの破損や、コネクターの変形により、接触不良などのおそれがあります。

**警告** 電源コードは正しく配線してください。

- ・電源プラグやコードに重いものを置いたり、無理な力を加えないでください。
- ・ベッドの可動部でコードをはさまないでください。

電源プラグまたはコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

3F09687100A0

**警告** 電源コードは正しく配線してください。

- ・電源プラグやコードに重いものを置いたり、無理な力を加えないでください。
- ・ベッドの可動部でコードをはさまないでください。

電源プラグまたはコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

本製品では、以下のシンボルが使用されています。

	PSE マーク
	保護等級
	安全動作荷重
	最大利用者体重
	JIS マーク

※ベースフレームと頭側フレームのアクチュエーターに貼ってあります。

※イラストはボトムを取外した状態を示しています。

# 警告

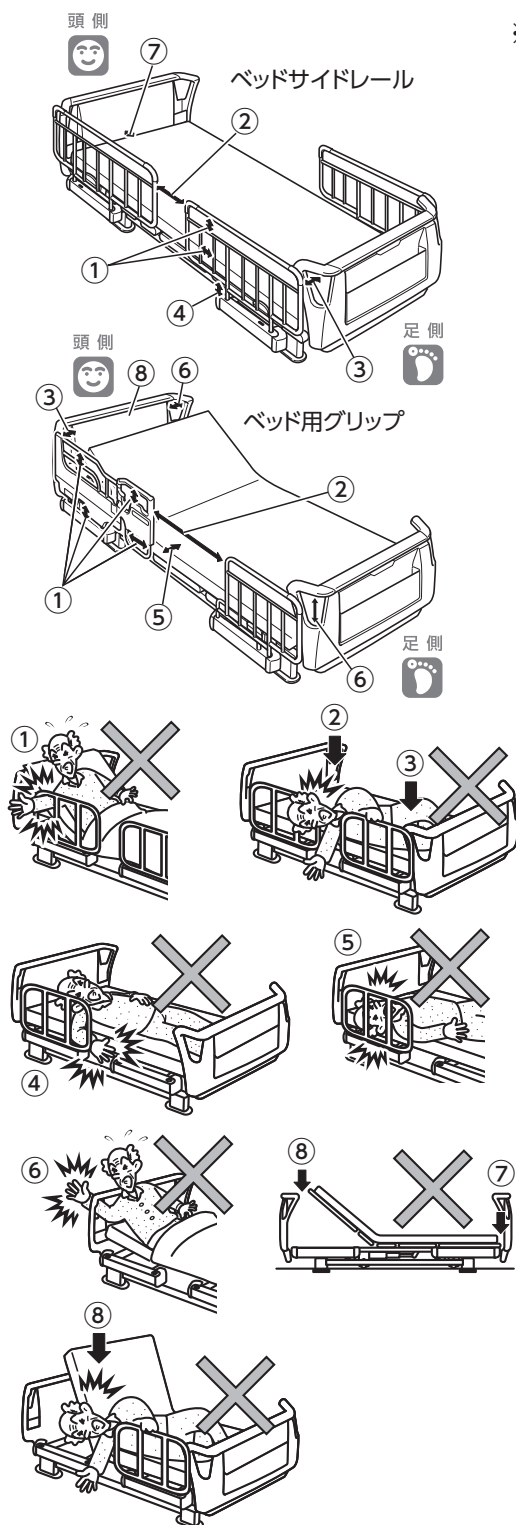
## 組合せについて

ベッドに直接取付けて使用するベッドサイドレール、マットレスなどは、弊社が指定する適合品をお使いください

指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。

## すき間について

※図は一例



### すき間に注意してください

- ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどにはすき間があります。また、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを組合せるとすき間ができます。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）がはさまれると、けがをするおそれがあります。
- 下記の項目に注意してください。

- ① ベッドサイドレールなどの内部のすき間
- ② 2本のベッドサイドレールなどの間のすき間
- ③ ベッドサイドレールなどとボードのすき間
- ④ ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（高さ方向）
- ⑤ ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（幅方向）
- ⑥ ボード内部のすき間
- ⑦ ボードとマットレスのすき間
- ⑧ あがっているボトムとボード・ベッドサイドレールなどのすき間

など

- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。
- ベッドサイドレールやベッド用グリップは、51・52ページ「**8**適合オプションの組合せと取付位置」を参照して、正しい組合せでご使用ください。

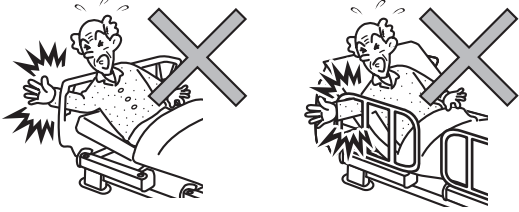
## 2 安全上の注意

必ずお守りください



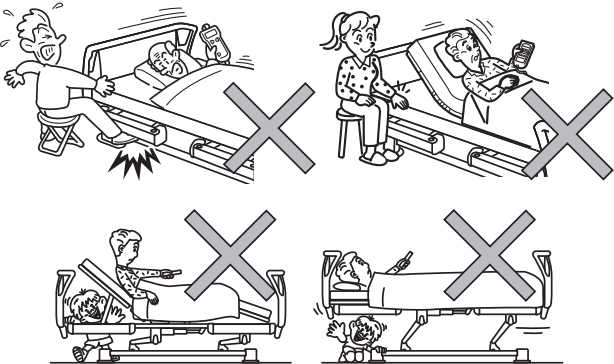
### ベッド操作について

身体の一部がすき間に入った状態で、ベッドの操作をしないでください



- すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッド操作を行う際は、動く部分に身体の一部を入れないでください

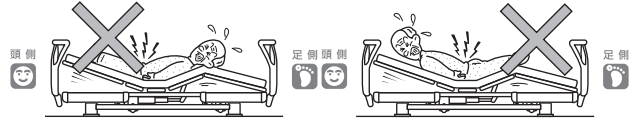


- ベッドの可動部とフレームやボード・ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどとの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ベッドの操作を行う際は、ベッドの下や内部および周りに人や障害物がないことを確認してください。
- ベッドの操作を止めたい場合は、手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。

ボトム角度やベッドの高さを調節するときは、ベッドを使用する方の状態に注意してください

- ベッドを使用する方がボトム角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれたりして、けがをするおそれがあります。
- 特に体位を自分で保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

ベッドは正しい向き・姿勢で使用してください



- ベッドの頭側・足側を間違えて寝た状態で背あげ・膝あげ動作を行うと無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。
- うつ伏せや横向き（仰向け以外）で寝た状態での角度調節は、関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください

- 誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
  - 操作禁止ボタン（スイッチ）で手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。（操作方法は36・39・40ページ参照）
  - 電源プラグを抜く。

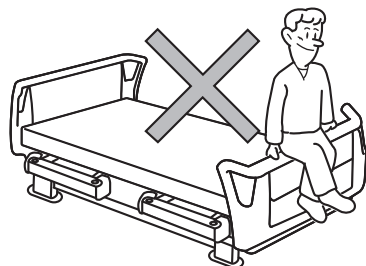
介護者の方などがベッドから離れたり、ベッドを使用する方から一時的に目を離したりするときは、ボトムの高さやベッドの高さに注意してください

万一のベッドからの転落に備え、使用する方の状況に応じて、ボトムの角度を水平にしてベッドの高さを最低高さにしてください。

# 警告

## 転落・転倒について

ベッドサイドレール・ベッド用グリップやヘッドボード・フットボードなどに腰掛けたりしないでください

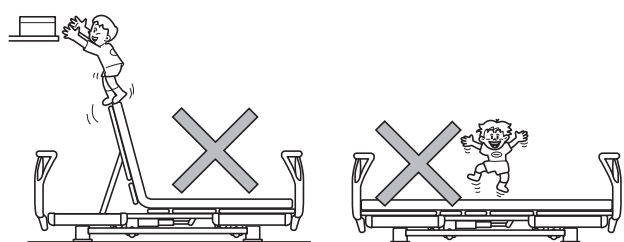


ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが破損・変形して、けがをしたりするおそれがあります。

あがった状態の背ボトムを手すり代わりにしないでください

つかまったり、立ちあがったりするときなどに支えとして使用すると、背ボトムが倒れ、転倒してけがをするおそれがあります。

ベッドを踏み台がわりにしたり、ベッドの上で飛び跳ねたりしないでください

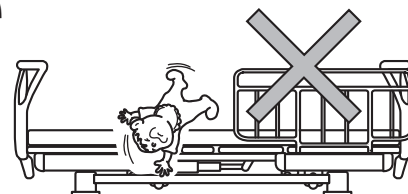


ベッドから転落・転倒したり、ベッドが故障したりするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

端座位や離床の際は、ベッドの高さに注意してください

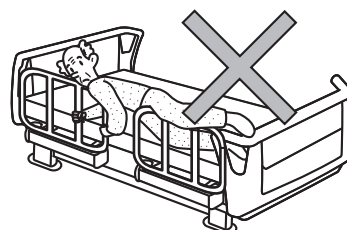
高さがあがった状態の場合、足がゆかに着かずに転落・転倒して、けがをするおそれがあります。

乳幼児やお子様には使用しないでください



- 本製品は乳幼児やお子様向けに設計されていません。ベッドサイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールを使用してもすき間から転落して、けがをするおそれがあります。

ベッドサイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください



- ベッドサイドレールとベッドサイドレール、各ボードとベッドサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。厚みのあるマットレスを使用する場合は、ご注意ください。
- ベッドの背をあげた状態で使用される場合は、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

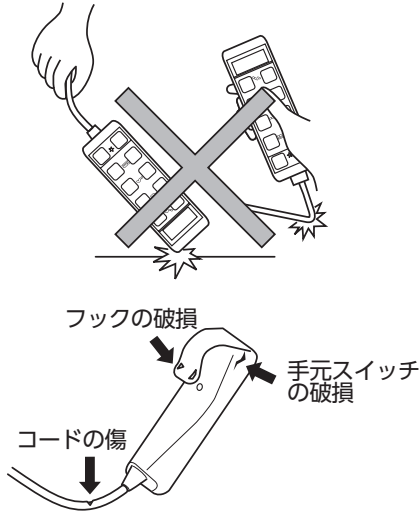
## 2 安全上の注意

必ずお守りください



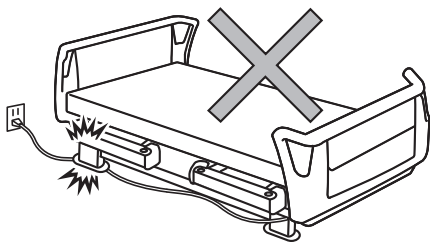
### 電装品について

#### 手元スイッチなどの電装品の取扱いに注意してください



- ベッドが誤作動してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、感電・火災のおそれがあります。
  - ・ぶついたり傷をつけたりしないでください。
  - ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチなどの電装品は、修理(交換)を依頼してください。

#### コード類(電源コードなど)を傷つけないでください



- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
  - ・ベッドの可動部でコード類をはさまないようにしてください。
  - ・コード類に重いものを置いたり、無理な力を加えたりしないようにしてください。
  - ・ベッドでコード類を踏みつけしないでください。
- 傷んだコード類は修理(交換)を依頼してください。

#### 電源コードや手元スイッチのコードに、足を引っ掛けないようにしてください

- プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

#### ベッド・適合オプション以外のコード類は、ベッド内部を通さないでください

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
- やむを得ずその他の機器のコードをベッド内部やベッドの下を通す場合は、ベッドの可動部などでコードを圧迫するなどしないでください。

#### 電子治療器を使用するときは、電源プラグを抜いてください

電子治療器(マイクロ波治療器、超短波治療器など)を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。

なお、他のME機器と併用するときは、安全をご確認の上ご使用ください。

#### お手入れや掃除などの際は、電源プラグを抜いてください

誤操作によりベッドが動作し、けがをするおそれがあります。

#### 電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください

電源コードのみを持って引き抜くとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

#### 電源プラグに無理な力を加えないでください

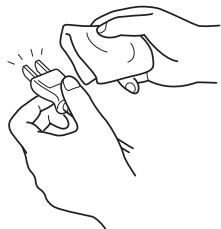
電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。



警告

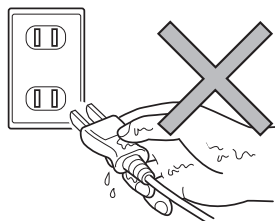
### 電装品について

電源プラグにほこりを付着させないでください



- 湿気などで絶縁不良となり、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグにほこりなどが付着した場合は、乾いた布などでよく拭き取ってください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電したり、故障したりするおそれがあります。

アクチュエーター（モーター）や手元スイッチなどの電装品に、水などをかけないでください

感電したり、故障したりする原因となります。誤って水などをかけてしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、パラテクノコールセンター（104ページ参照）までご連絡ください。

### 点検・修理について

お客様による修理・改造はしないでください

- 意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。
- JIS認証製品は、JISで定められた構造・性能が変更されるような改造を行った場合はJIS認証製品としての取扱いができなくなります。

ベッドは定期的に点検してください

使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

被災したベッドは点検・修理を依頼してください

地震・火災・水害などで被災したベッドは、パラテクノコールセンター（104ページ参照）まで、点検・修理をご依頼ください。感電・火災の原因となったり、ベッドの動作異常で、けがをしたりするおそれがあります。

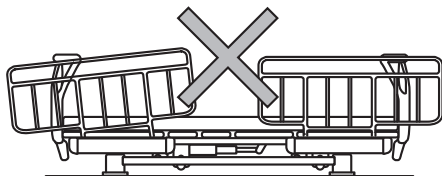
## 2 安全上の注意

必ずお守りください



### その他

ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを取付けるときは、正しい向きで取付けてください



- ベッドから転落したり、意図せぬすき間に、身体の一部がはさまれたりしてけがをするおそれがあります。
- 誤った向きやオプション取付穴に異物が入っていると確実に差込むことができず、ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが不意に外れるなどして、けがをするおそれがあります。正しい向きでの取付けかたについては、各オプションの「取扱説明書」を参照してください。
- 誤った向きでは、ベッドの頭側・足側から大きくとび出る場合があります、けがをするおそれがあります。  
※ミニタイプは、通常取付状態でも最大2cmとび出しますが正常です。

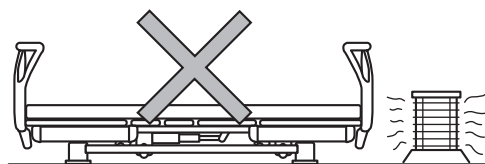
ベッドと壁や周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください

- 身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、けがをするおそれがあります。
- ベッドの乗り降りなどのときに転倒して、けがをするおそれがあります。

火気に近づけないでください



ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

ベッドを使用する方の容体にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください

- ベッドの操作により容体を悪化させる可能性があります。
- ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

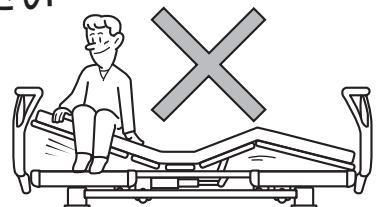
## 注意

### ■ 2人以上で使用しないでください



- このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの最大利用者体重は138kgです。一時的に、介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確認してください。
  - ベッドに乗る方の合計体重が138kgを超えていないこと。
  - ボトムがさがってフラットになり、最低高さになっていること。
- 介護者がベッドに乗る機会の多い場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター（104ページ参照）に依頼して、ベッドの定期点検を受けてください。

### ■ あがっているボトムに乗らないでください



ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因となります。

### ■ ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください

ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの安全動作荷重は174kg (1700N) です。安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。

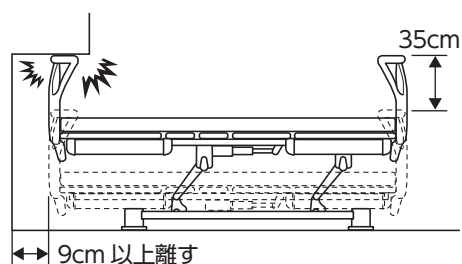
### ■ スプレータイプの殺虫剤を、ベッドに直接噴射しないでください

殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

### ■ 手元スイッチ操作時は周囲を確認してください

手元スイッチ操作によって周囲のものを破損させたり、ベッドが破損・変形する原因となったりします。

### ■ 高さ調節をするときは、壁や梁、壁のコンセントに気をつけてください



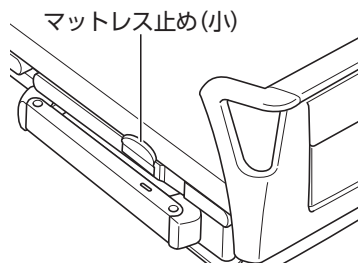
- ベッドや壁・ゆかなどが破損・変形するおそれがあります。ベッドは高さ調節操作で上下に35cm動きます。ご使用のときには、ベッド動作でベッドが壁や梁、電源プラグに当たらないことを確認してください。
- ベッドは高さ調節のときに前後に動作するため、ベッドは壁から9cm以上離して設置してください。

## 2 安全上の注意

必ずお守りください

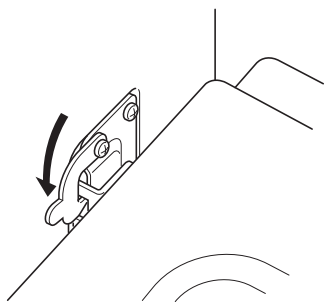


移乗のときなどに、マットレス止め(小)に身体をぶつけないように注意してください



けがをするおそれがあります。

ヘッドボード・フットボードはストッパーを掛けてください



ボードの取付けが不完全な場合、身体を支えるためボードにつかまったときやベッド移動でボードを押す(引く)ときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。(87ページ参照)

木製のボードに濡れたタオルなどをかけたり、加湿器などの蒸気を直接あてないでください

ボードが破損・変質するおそれがあります。水分などが付いた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。

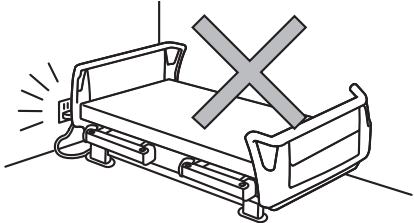
### 3 設置上の注意

必ずお守りください

#### 警告

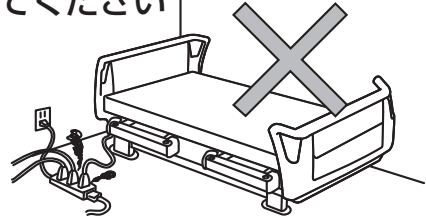
■ ベッドを設置するにあたって、下記の注意事項を守ってください。  
ベッドは、一度組立てますと、部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

電源プラグの抜き差しができなくなる場所には、ベッドを設置しないでください



- 誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
- 誤操作によるけがをするおそれがあります。

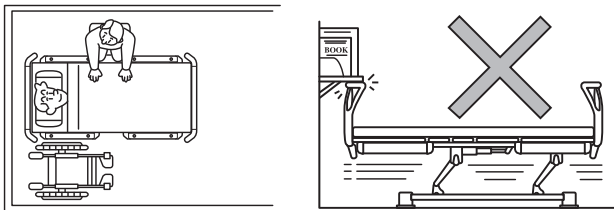
ベッドの電源は直接コンセントからとってください



コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

#### 注意

■ ベッド周辺のスペースを確保してください

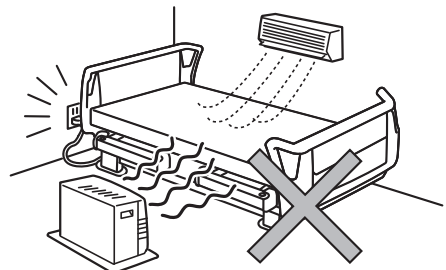


- ベッドを使用する方がベッドから起きあがる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車いすをご使用の場合は、ベッドのどちら側で使用するかによって、必要なスペースを確保してください。壁やものなどを傷つけるおそれがあります。
- 介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるか（シーツ交換だけか、おむつ交換・着替え・洗髪・歯磨き・食事の介助などが必要かどうかによってベッドの周囲をどれだけあけるか）を考慮してください。
- ベッドを操作する際、周りの家具備品、部屋の構造物などに当たらないことを確認してください。家具備品や構造物などが破損するおそれがあります。

ベッド使用時に、ゆかにかかる荷重に耐えられる場所に設置してください

ベッドの質量は最大83kgです。寝具およびオプションやベッドを使用する方の体重を加えた総質量が、ベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。ゆかなどが破損するおそれがあります。

故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください



- 直射日光のあたる場所
- 冷暖房器による冷気や暖気が直接あたる場所
- 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- 高温・多湿・低温・乾燥した場所
- ほこり・煙・塩分・イオウ分・腐食性物質などの多い場所
- 換気の悪い場所
- 振動や衝撃のある場所
- ゆかが水平でない場所

結露の原因となるので、次のような場所での使用に注意してください

- 温度が低い場所
- 湿度が高い場所
- 短時間での寒暖の差が大きい場所

※上記の場所でご使用される場合は、次のことをおすすめします。

- 清拭タイプマットレス (53ページ参照)
- 定期的な換気

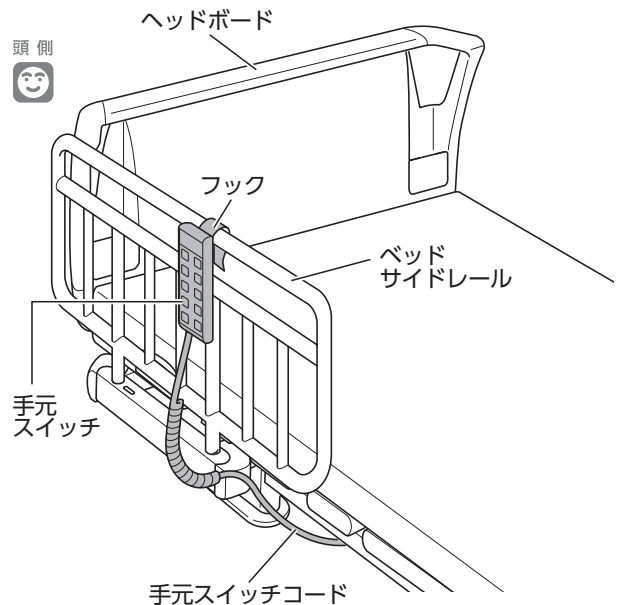
# 4 手元スイッチの取付位置

## 1. 手元スイッチの配線方向について

手元スイッチは、ベッドの左右どちら側で使用するかによって、コードの配線方向が異なります。80ページを参照して、正しい配線方向に必ず配線してください。

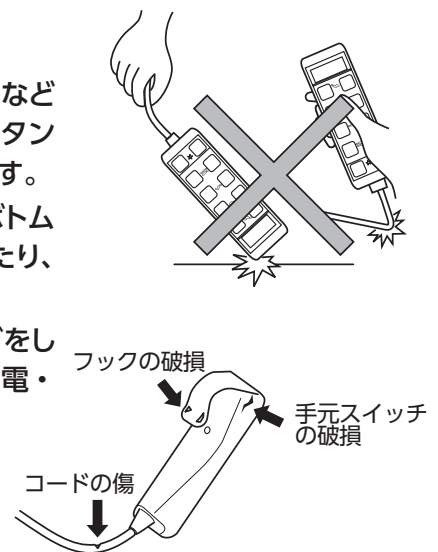
## 2. 手元スイッチの取付けかた

手元スイッチを使用しないときは、ボードまたはベッドサイドレールなどの外側に手元スイッチのフックを掛けてください。



### 警告

- 手元スイッチを使用しないときは、ボードもしくはベッドサイドレールなどの外側に掛けてください。それ以外の場所に掛けると誤って操作ボタンが押され、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。
- 手元スイッチをベッド内側に掛けた状態で操作しないでください。ボトムとベッドサイドレールなどのすき間に手(指)をはさまれてけがをしたり、手元スイッチが破損・変形したりするおそれがあります。
- 手元スイッチの取扱いに注意してください。ベッドが誤動作してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、ショートなどによる感電・火災のおそれがあります。
  - ・ぶついたり、傷ついたりしないでください。
  - ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチは修理(交換)を依頼してください。

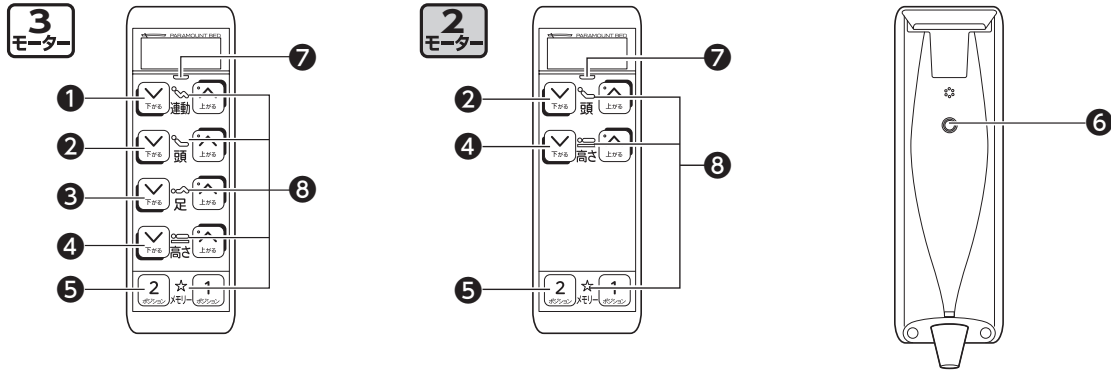


# 5 ベッドの使用法

## 1. 手元スイッチの各部のなまえと働き

### 1-1 足側フレームがQ6\*\*\*1Fの場合

#### 操作ボタンと表示ランプ



#### 操作ボタン

- ①連動ボタン  
「らくらくモーション」の調節
- ②頭ボタン  
背ボトムの角度を調節
- ③足ボタン  
膝ボトムの角度を調節
- ④高さボタン  
ベッドの高さを調節
- ⑤メモリーボタン  
あらかじめ設定したメモリーポジションに向かって、背ボトム・膝ボトムの角度、ベッドの高さを調節

#### 操作ボタンについて



#### 警告

ベッドの動作を止めたい場合は手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。ベッドの可動部ではさまれたり、圧迫されたりするなどして、けがをするおそれがあります。

- 操作ボタンを押すとベッドが動き、離すとその位置で止まります。また、同時に2つ以上のボタンを押した場合も止まります。



同時に2つ以上のボタンを押して止めた場合、再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。

#### 設定ボタン

- ⑥設定ボタン  
設定ボタンを押すと、操作ボタンで、各種設定が変更できることになる

#### 表示ランプ

- ⑦電源ランプ  
ベッドの通電状態をお知らせ  
点灯(緑)：正常な通電状態  
消 灯：電源プラグまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電や断線などの場合  
点滅(赤)：断線や障害物との接触などの異常を表示  
「12 故障かな?と思ったら」(56・57ページ)を参照して処置してください。
- ⑧操作選択ランプ  
操作ボタンの「有効(操作可能)/ロック(操作禁止)」をお知らせ  
点灯(白)：操作が可能な状態  
消 灯：電源が「OFF」になっている。もしくは操作が禁止状態

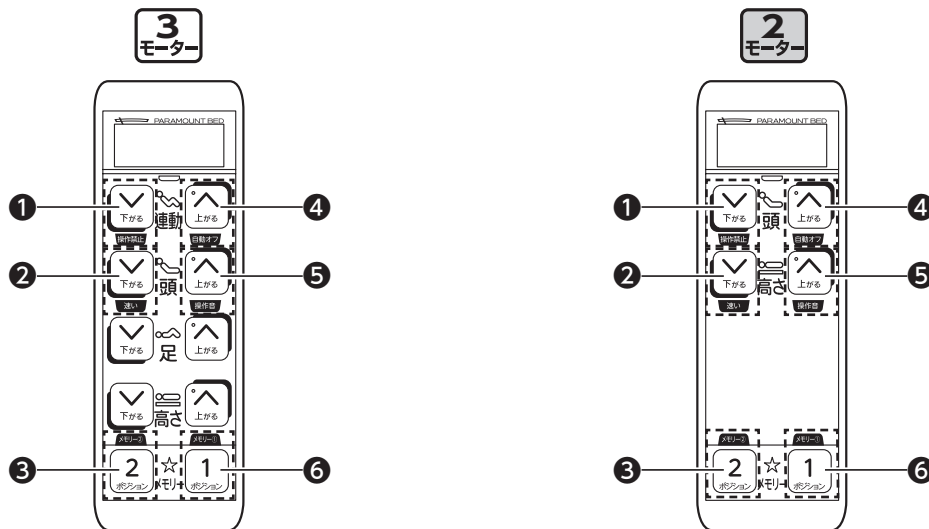


一定時間、操作がないと消灯します。手元スイッチを手に持つなど揺れがあると自動で点灯します。

# 5 ベッドの使用法

## 機能選択スイッチ

手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、操作ボタン（機能選択スイッチ）で各種設定が変更できます。



**①操作禁止ボタン**

[ 36ページ ]

**②速さ切換ボタン**

[ 34ページ ]

**③メモリーボタン2**

[ 37ページ ]

**④自動オフボタン**

[ 35ページ ]

**⑤操作音ボタン**

[ 35ページ ]

**⑥メモリーボタン1**

[ 37ページ ]

## 表示パネル



**①角度/高さ表示/エラーコード**

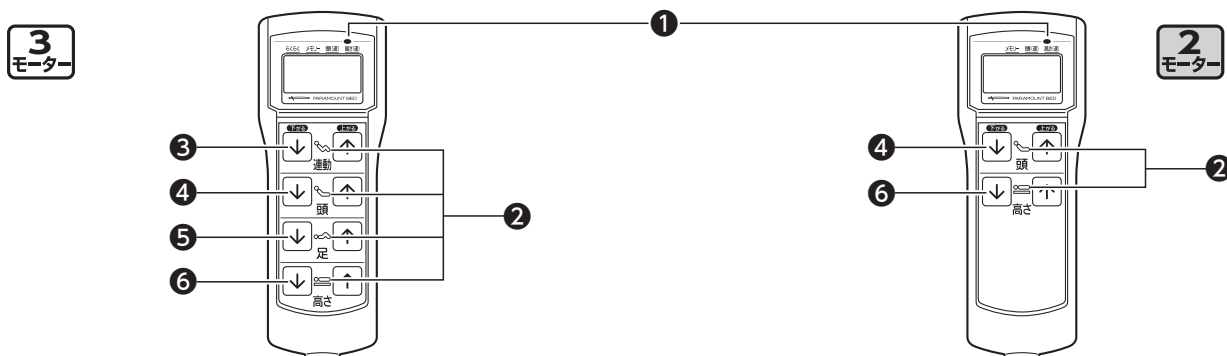
動作中の背ボトム・膝ボトム角度またはボトム上面高さを数字で表示  
 ※エラーが発生したとき、エラーコードを表示します。  
 背角度表示…0°~75° (0°~74°まで2°間隔で表示)  
 膝角度表示…0°~30° (0°~30°まで2°間隔で表示)  
 高さ表示……25cm~60cm(26cm~60cmまで2cm間隔で表示)

**②操作禁止表示**

押した操作ボタンがロック（操作禁止）に設定されているときに点滅

## 1-2 足側フレームがQ6\*\*\*0Fの場合

### おもて面ボタン



#### 表示ランプ

##### ①電源ランプ

ベッドの通電状態をお知らせ

点灯(緑)：正常な通電状態

消 灯：電源プラグまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電や断線などの場合

点滅(赤)：断線や障害物との接触などの異常を表示  
**故障かな?と思ったら** (P56・57ページ)を参照して処置してください。

##### ②操作選択ランプ

操作ボタンの「有効(操作可能)/ロック(操作禁止)」をお知らせ

点灯(緑)：操作が可能な状態

消 灯：電源が「OFF」もしくは操作が禁止状態

※注意喚起のため、ベッドの一旦停止後の高ささげ動作中にも操作選択ランプが点滅します。

※ボタン操作の「有効/ロック」の切換えは、側面の機能選択スイッチの「操作禁止スイッチ」で行います。

#### 操作ボタン

##### ③連動ボタン

「らくらくモーション」の調節

##### ④頭ボタン

背ボトムの角度を調節

##### ⑤足ボタン

膝ボトムの角度を調節

##### ⑥高さボタン

ベッドの高さを調節

#### 操作ボタンについて

#### 警告

ベッドの動作を止めたい場合は手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。ベッドの可動部ではさまれたり、圧迫されたりするなどして、けがをするおそれがあります。

- 各操作ボタンには、誰でも識別できるように矢印型の突起がついています。
- 操作ボタンを押すとベッドが動き、離すとその位置で止まります。また、同時に2つ以上のボタンを押した場合も止まります。



同時に2つ以上のボタンを押して止めた場合、再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。

# 5 ベッドの使用法

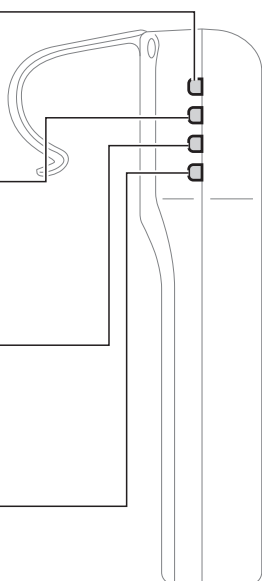
## 側面ボタン (機能選択スイッチ)

● リセットスイッチ  
[「ア」42ページ]

● 操作禁止スイッチ  
[「ア」39・40ページ]

● メモリースイッチ  
[「ア」43ページ]

● 常時ONスイッチ  
[「ア」38ページ]



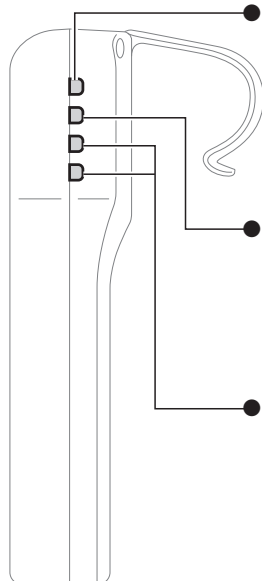
左側面

● 速さ切換スイッチ  
[「ア」41ページ]

● 操作音スイッチ  
[「ア」42ページ]

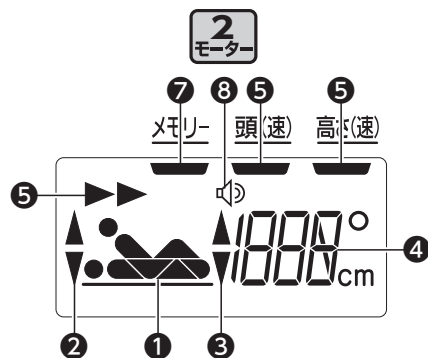
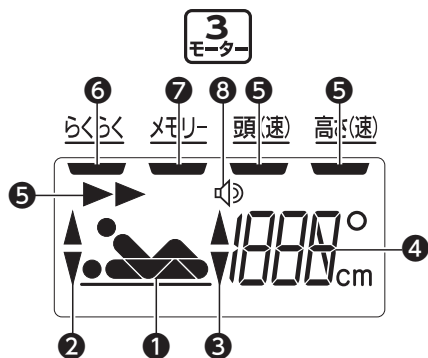


本製品では使用しないボタンです。押すと音が鳴りますが、ベッドの操作に影響はありません。



右側面

## 表示パネル



### ①動作部位とエラー時の部位表示

- ・動作している部位を表示
- ・エラーが発生したとき、エラーの部位を表示

### ②③動作方向表示



動作方向を表示

- 背「あがる/さがる」 : ② 「▲/▼」が表示
- 膝「あがる/さがる」 : ③ 「▲/▼」が表示 
- 高さ「あがる/さがる」 : ②③ 「▲/▼」が表示  


### ④角度/高さ表示/エラーコード

- 動作中の背・膝角度または高さを数字で表示
- ※エラーが発生したとき、エラーコードを表示
- 背角度表示…0°~75° (0°~74°まで2°間隔で表示)
- 膝角度表示…0°~30° (0°~30°まで2°間隔で表示)
- 高さ表示……25cm~60cm (25cm~59cmまで2cm間隔で表示)



### ⑤速度表示 (頭・高さ)

- 背ボトム・高さの動作速度「速い/普通」を表示
- 速い: ▶▶ 「頭(速)」「高さ(速)」の下に  が表示
- 普通: ▶ 「頭(速)」「高さ(速)」の下に  が非表示



### ⑥連動動作表示

- 「らくらくモーション」の選択を表示
- 常時  が表示

### ⑦メモリー設定表示

- メモリー設定の「ON/OFF」を表示
- ON :  が表示
- OFF :  が非表示

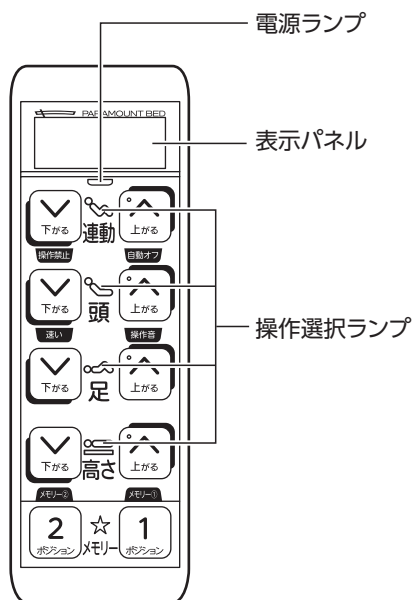
### ⑧操作音表示

- 操作音の「入/切」を表示
- 入:  が表示
- 切:  が非表示

## 2. ベッド / 手元スイッチの電源の入れかた

### 2-1 足側フレームがQ6\*\*\*1Fの場合

#### 自動オフ設定が「無効」の場合



**1** 電源プラグをコンセントに差込んでください。

手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯し、ベッドの操作ができるようになります。

5

ベッドの使用法

#### 自動オフ設定が「有効」の場合

**1** 電源プラグをコンセントに差込んでください。

手元スイッチの電源ランプが、緑色に点灯します。

**2** 手元スイッチの操作ボタン(↑ / ↓)のいずれかを押ししてください。

操作選択ランプが点灯し、ベッドを動作させる準備ができます。

(電源ON状態)

※ボタンを押すと表示パネルに「On」と表示されます。

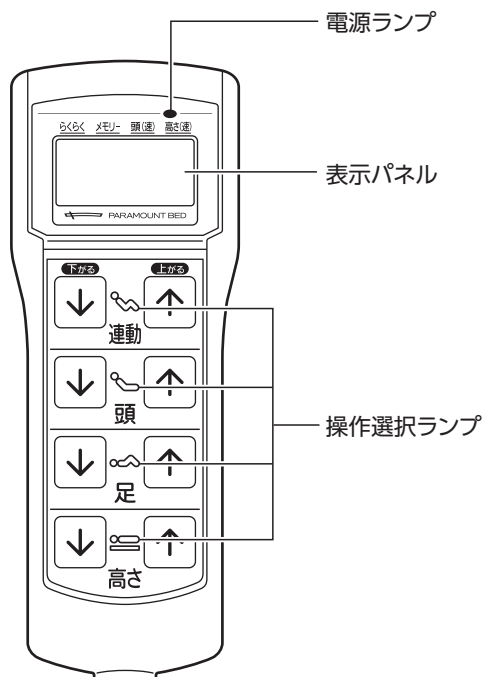


電源プラグをコンセントに差込んだだけでは、手元スイッチの電源は「OFF」の状態です。ベッドの操作や設定を行う場合は、一度、操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすると、行うことができます。

# 5 ベッドの使用方法

## 2-2 足側フレームがQ6\*\*\*0Fの場合

### 常時ON設定が「無効」の場合



**1** 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

手元スイッチの電源ランプが、緑色に点灯します。

**2** 手元スイッチの操作ボタン (↑/↓) のいずれかを押ししてください。

表示パネルのバックライト・操作選択ランプが点灯し、ベッドを動作させる準備ができます。(電源ON状態)

※ボタンを離すと表示パネルに「ON」と表示されすぐに消えます。




- 電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは、手元スイッチの電源は「OFF」の状態です。ベッドの操作や設定を行う場合は、一度、操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすると、行うことができますようになります。
- 電源「ON」の状態にしても手元スイッチを60秒間操作しないと表示パネルのバックライト・操作選択ランプが消灯し、電源「OFF」の状態 (「1」の状態) に戻ります。常に電源「ON」の状態 (「2」の状態) にしたい場合は、38ページを参照して「常時ON」設定を有効にしてください。

### 常時ON設定が「有効」の場合

電源プラグをコンセントに差し込んでください。

手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯し、ベッドの操作ができるようになります。

### 3.背の動かしかた

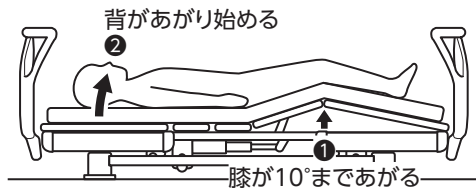
背あげにはらくらくモーションと、背あげ(頭)の2種類があります。  
()は背あげ(頭)のみ

#### らくらくモーション(連動ボタン)操作のしかた

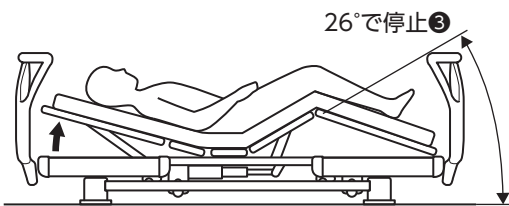
連動ボタンでらくらくモーションによる「背あげ/背さげ」の操作をしてください。

※連動ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

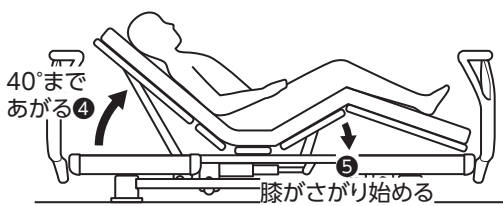
#### らくらくモーションによる背あげ操作 [連動あげボタン( )を押す]



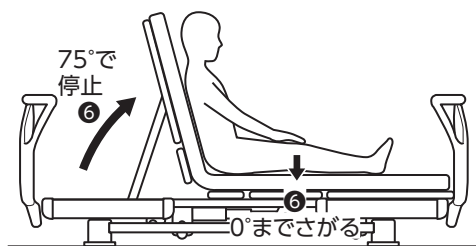
① 膝が先行して10°まであがると、背が連動してあがり始める。



② 膝が26°で停止する。背はそのまま動く。



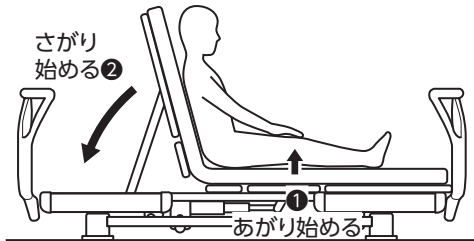
③ 背が40°まであがると、膝が連動してさがり始める。



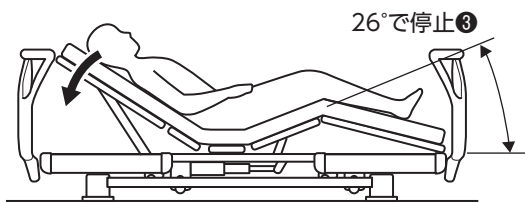
④ 背が75°まであがるのとほぼ同時に、膝が0°までさがる。

# 5 ベッドの使用方法

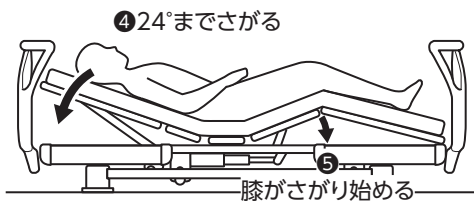
## らくらくモーションによる背さげ操作 [連動さげボタン ( ) を押す]



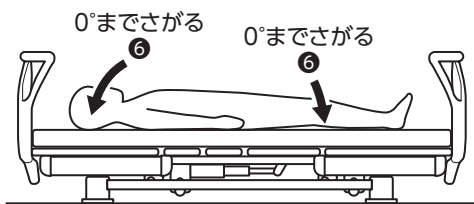
① 膝があがり始め、その後背がさがり始める。



② 膝が26°で停止する。  
背はそのまま動く。



③ 背が24°までさがると、膝が連動してさがり始める。



④ 背と膝が連動して、ほぼ同時に0°までさがる。

背あげ(頭) 操作のしかた  

頭ボタンで「背あげ(頭) / 背さげ(頭)」の操作をしてください。

背ボトムを0°~75°まで調節できます。

動作範囲

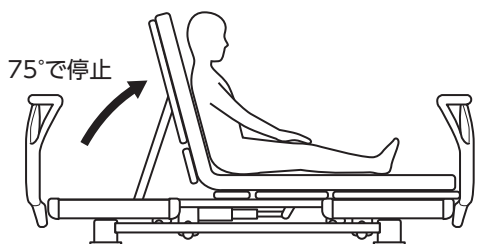
背あげ(頭): 0°~75°

 の場合

背膝連動/背あげの切換えにより、背あげ(頭)と連動して、膝が動作します。背を75°まであげたときに膝が20°まであがります。背膝連動/背あげの切換えは30・31ページを参照してください。

背あげ(頭) 操作

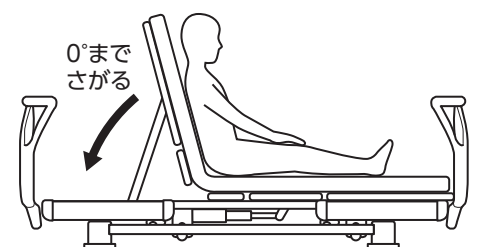
[頭あげボタン ( ) を押す]



- 背が75°まであがる。  
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

背さげ(頭) 操作

[頭さげボタン ( ) を押す]



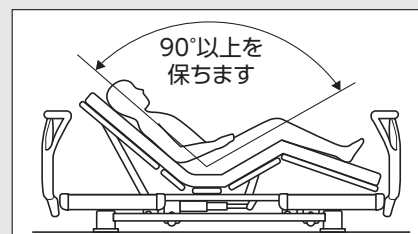
- 背が0°までさがる。  
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

角度制限機能について

胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するため、背ボトムと膝ボトムとの角度が90°より小さくならないように自動的に動作します。



- 安全のため、角度制限機能は解除できません。
- 頭・足のボタン操作を禁止にしている場合でも、角度制限機能による自動動作で、背ボトム・膝ボトムは動きます。



# 5 ベッドの使用方法

## 4. ベッドの高さ調節のしかた

ゆかからベッドのボトム上面までの高さ（床高）を、25cm～60cmまで調節できます。

動作範囲

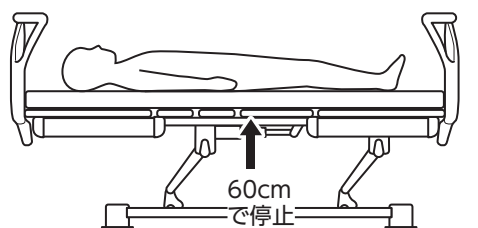
高さ:25cm～60cm

高さボタンで「高さあげ/高ささげ」の操作をしてください。

※高さボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

### 高さあげ操作

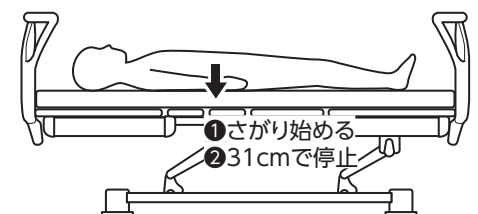
【高さあげボタン（●●●↑）を押す】



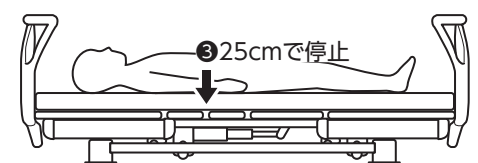
- 高さが60cmまであがる。  
ボタンを離すと、ベッドはその高さで止まる。

### 高ささげ操作

【高ささげボタン（●●●↓）を押す】



- ① ベッドがさがり始める。  
ボタンを離すと、ベッドはその高さで停止する。  
ボタンを押していても床高が31cmになると、「ピピッ」と鳴って一旦停止する。



- ② ボタンを離し、再度高ささげボタン（●●●↓）を押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、高さが25cm（最低高さ）までさがる。  
最低高さに近づくとつれて、警告音の鳴る間隔が短くなる。

#### 一旦停止後のさげ動作について

- 床高31cm以下の場合、動作速度「普通」より低速でさがります。
- 床高31cm以下で使用しているベッドをさげる場合（低床動作）は、一旦停止せずに25cm（最低高さ）までさがります。



一旦停止時および低床動作中の警告音は、操作音スイッチで操作音「切」に設定しても切ることができません。

## 5. 膝の動かしかた 3 モーター

膝ボトムの角度を、0°～30°まで調節できます。

動作範囲

膝あげ(足): 0°～30°

足ボタンで「膝あげ/膝さげ」の操作をしてください。

※足ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

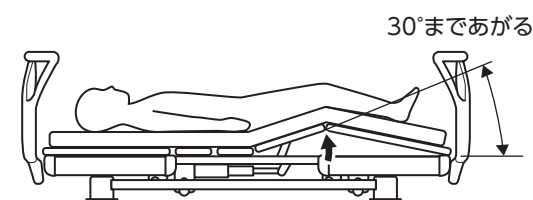
### 2 モーターの場合

背膝連動/背あげの切換えにより、背あげ(頭)と連動して、膝が動作します。背を75°まであげたときに膝が20°まであがります。背膝連動/背あげの切換えは30・31ページを参照してください。

※表示パネルには背角度が表示されます。

### 膝あげ操作

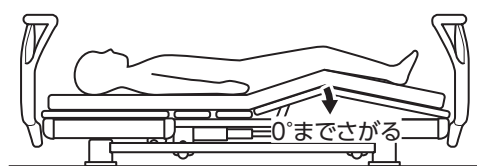
【足あげボタン (  ↑ ) を押す】



- 膝が30°まであがる。  
ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

### 膝さげ操作

【足さげボタン (  ↓ ) を押す】



- 膝が0°までさがる。  
ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

# 5 ベッドの使用方法

## 6.メモリーポジションへの動かし方

### 足側フレームがQ6\*\*\*1Fの場合

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの背ボトム・膝ボトムの角度、ベッドの高さ(床高)を調節します。

※必要に応じてメモリーポジションを設定してください。

メモリーポジションにはあらかじめ初期設定が登録されています。(設定方法および初期設定は37ページ参照)

**メモリーボタンの操作をしてください。**

※メモリーボタンを押している間は、メモリーポジションに向かって動作を続け、メモリーポジションになると停止します。

### メモリーポジション1への操作

**[メモリーボタン1 (☆)を押す]**

- ① メモリーポジション1に向けてベッドが動作する。  
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション1の位置になると、「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

### メモリーポジション2への操作

**[メモリーボタン2 (☆)を押す]**

- ① メモリーポジション2に向けてベッドが動作する。  
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション2の位置になると、「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

### メモリーポジション動作中の一旦停止動作について

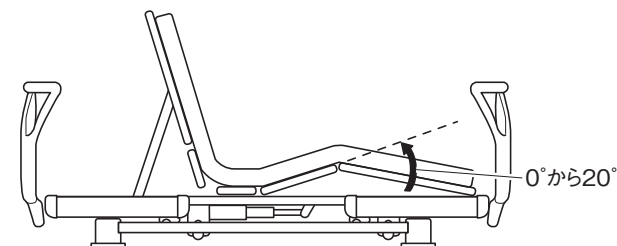
メモリーポジションを床高31cmより低く登録している場合、メモリーポジション動作中に床高が31cmになると「ピピッ」と鳴って一旦停止します。メモリーボタンから一度手を離し、再度押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、メモリーポジションまで動作します。

## 7.背膝連動／背あげの切換えについて 2 モーター

切換え金具の操作により、背あげ時の膝の動きを切換えることができます。

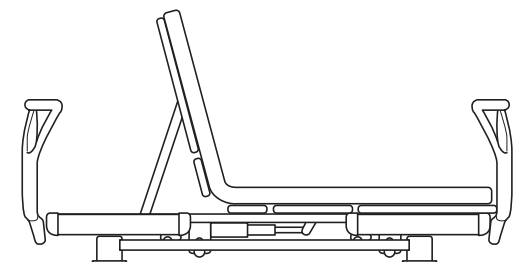
### 背膝連動

背あげ動作に連動して、膝の角度が動作します。背を75°まであげたとき、膝が20°まであがります。



### 背あげのみ

背あげ動作によらず、膝は0°のままです。



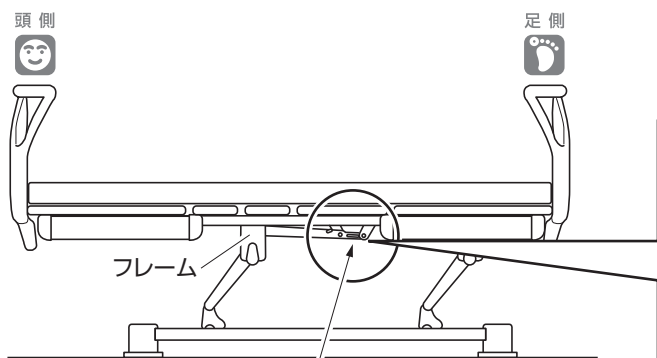
## 背膝連動／背あげの切換えかた

### けい こく 警告

背膝連動／背あげの切換え操作を行う際は、下記に従ってください。けがをするおそれがあります。

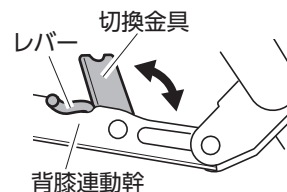
- ・すべてのボトムを下げた状態で作業する。
- ・ベッド操作はしない。

- ① 手元スイッチを操作して、背ボトムと膝ボトムを一番下までさげてください。
- ② 手元スイッチを操作して、ベッドの高さをあげてください。  
※ベッドの高さをあげても操作しにくい場合は、膝・足ボトムを取外してから切換え金具を操作してください。膝・足ボトムの取外しかたは96・97ページを参照してください。
- ③ 電源プラグをコンセントから抜いてください。



このスペースから手を入れて切換え金具のレバーを操作する

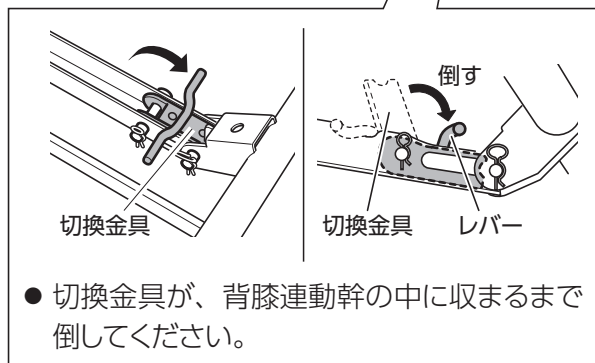
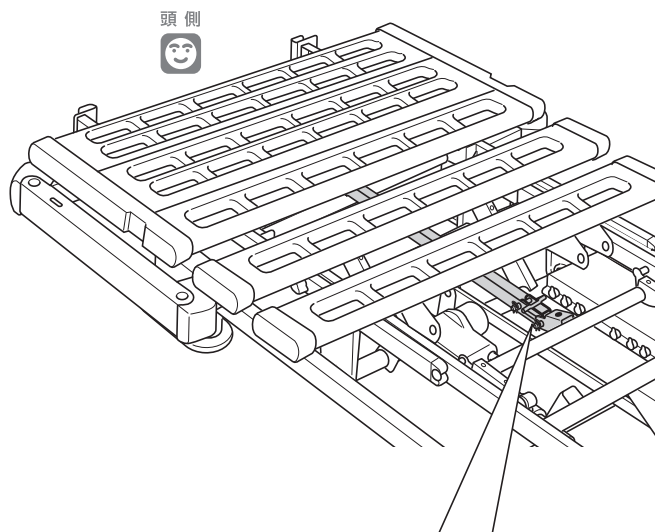
- ④ フレームの間（膝・足ボトムを取外した場合は上）から手を入れ、図のように切換え金具のレバーを操作して「背膝連動」もしくは、「背あげ」に設定してください。設定のしかたは31ページを参照してください。



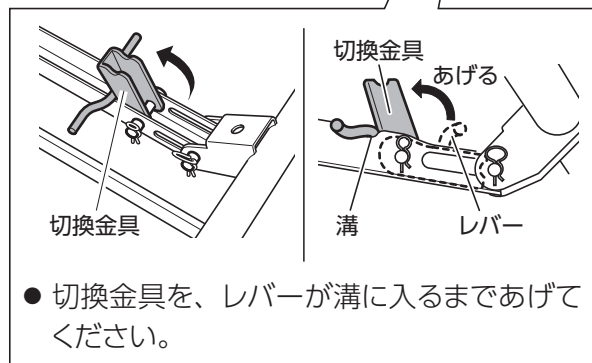
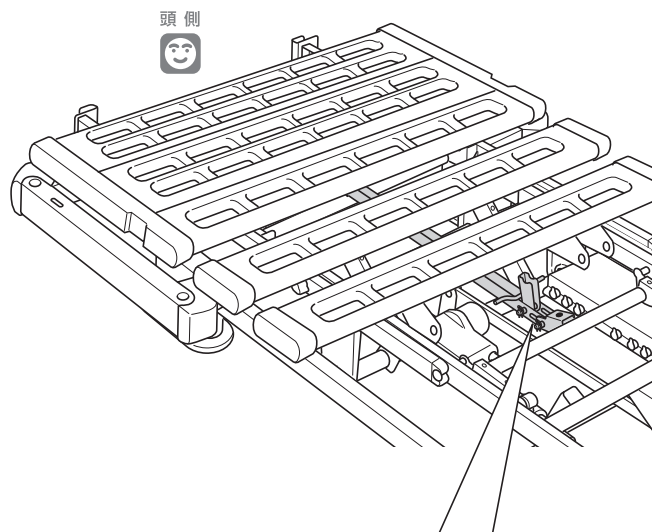
- ⑤ 電源プラグをコンセントに差込んでください。

# 5 ベッドの使用方法

## 背膝連動



## 背あげのみ

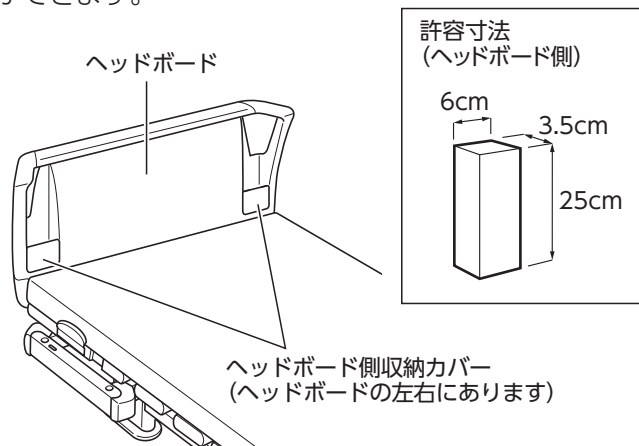


※イラストはボード、膝・足ボトムを取外した状態を示しています。

## 8. 収納カバーの使いかた (樹脂ボードのみ)

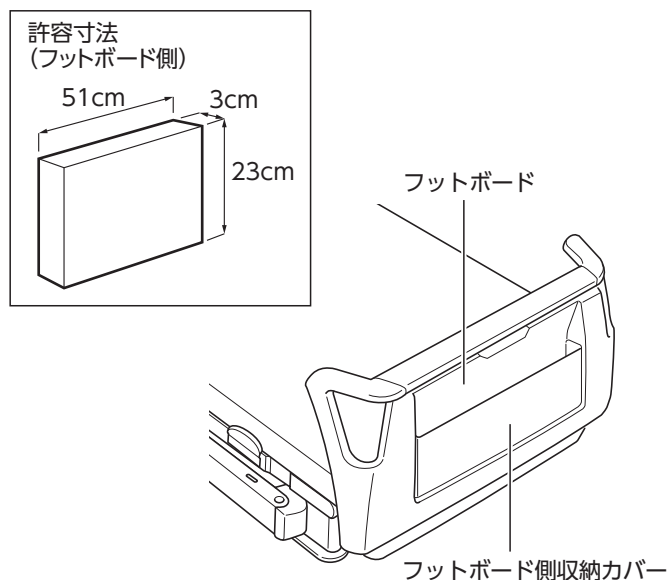
### ヘッドボード側収納カバーの使いかた

ヘッドボード側収納カバーは、ヘッドボード内側の左右2ヶ所にあります。ベッド周りの小物を入れることができます。



### フットボード側収納カバーの使いかた

フットボード側収納カバーは、フットボードの外側にあり、取扱説明書やノートなどを入れることができます。



#### 収納カバーの許容寸法と耐荷重

	許容寸法 [cm]	耐荷重
ヘッドボード側	幅6×高さ25×厚み3.5	0.5kg
フットボード側	幅51×高さ23×厚み3	1kg

### 警告

- 収納カバーに寄り掛かったり、手でつかまって力を加えたりしないでください。収納カバーが不意に外れ、転倒するなどしてけがをすることがあります。
- 手元スイッチを、ヘッド側収納カバーに収納しないでください。誤って操作ボタンが押され、意図せぬベッドの動作により、けがをすることがあります。
- 本製品以外のリモコンをヘッドボード側収納カバーに収納するときは、意図せずリモコンのボタンが押されないように収納してください。リモコンの誤操作により、思わぬけがや誤作動につながるおそれがあります。

### 注意

- 許容寸法や耐荷重を超えるものを入れないでください。収納カバーや収納物が落下・破損し、けがをすることがあります。
- 収納物が収納カバーからとび出た状態にしないでください。ベッドの動作時に接触し、ベッドや収納物が破損するおそれがあります。
- ヘッドボード側収納カバーにベッド周りの小物を収納するときは、背あげ動作時に収納物が落下したり、ボトムに接触したりしないよう注意してください。ベッドや収納物が破損するおそれがあります。細長いものや薄いものを収納するときは、特にご注意ください。
- 収納カバーにもものを引っ掛けたり、外側から力をかけたりしないでください。収納カバーがボードから外れたり、破損したりするおそれがあります。
- 収納物を取り出すときは、収納カバーに外向きの力を無理に加えないでください。収納カバーが外れたり、破損したりするおそれがあります。
- メガネなど壊れやすいものを入れるときは、ケースなどに入れてから収納カバーに入れてください。破損するおそれがあります。

# 6 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

## (1) 足側フレームがQ6\*\*\*1Fの場合

■機能選択スイッチを操作することにより、ベッドの設定を変更できます。

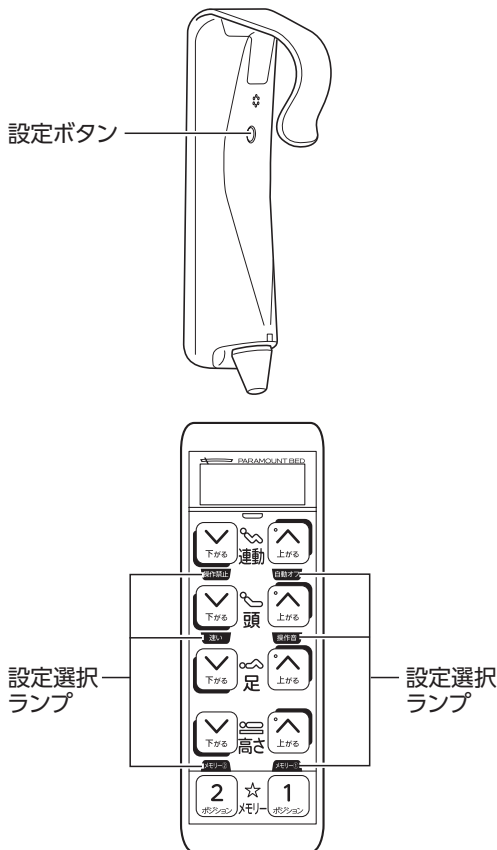
### 警告

- 操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。操作が理解できないと思われる方が、1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
  - ・ 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。（操作方法は36ページ参照）
  - ・ 電源プラグを抜く。
- 設定ボタンは、ベッド動作中に操作しないでください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

### 注意

設定ボタンを押すときは、鋭利なものを使用しないでください。破損の原因となります。

## 1. 設定モードへの切換え



手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、おもて面の設定選択ランプが点灯し、操作ボタンで各種設定ができるようになります。

設定変更が完了したら、再度、設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

### 警告

設定ボタンを一度押してから、20秒間ボタン操作が行われない場合は、設定は完了せずに元の設定に戻りますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

## 2. ベッドの各動作設定



設定モードへ切換えてから、設定を変更してください(33ページ参照)。  
各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

### ● ベッドの動作速度の設定

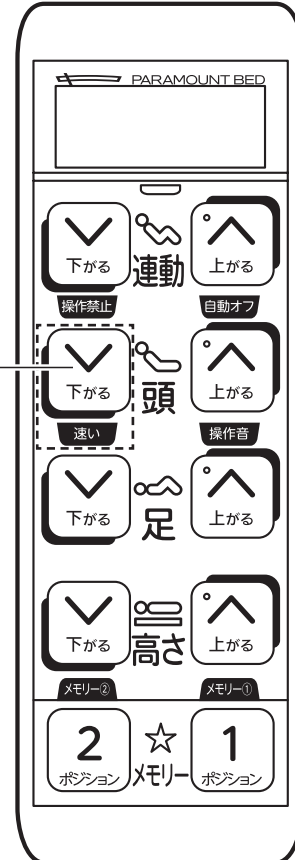
ベッドの動作速度を「普通/速い」に切換えることができます。「速い」は「普通」の1.5倍の速さで動作します。  
※初期状態では、動作速度が「普通」になっています。

#### 設定選択ランプの明るさ

暗い:普通  
明るい:速い



ベッド高さが31cm以下では、高さ調節の動作速度は「普通」より低速でさがります。



**3** モーターの手元スイッチで説明しています。

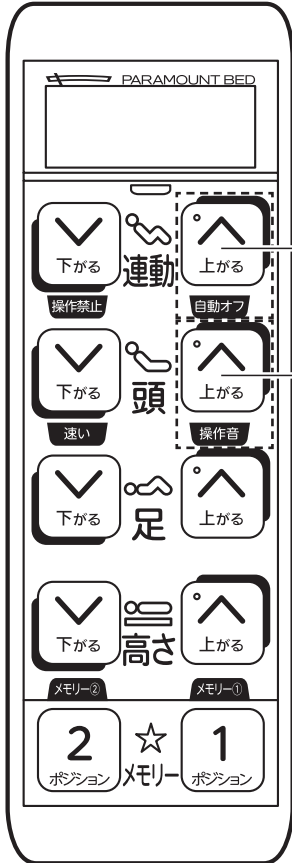


設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

# 6 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

6

手元スイッチによるベッドの設定のしかた



## ● 手元スイッチの無操作時の自動オフ設定

手元スイッチを60秒間操作しないと、手元スイッチを電源「OFF」の状態にすることができます。電源「OFF」の状態の場合、一度、操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすることで、ベッドの操作や設定を行うことができるようになります。

※初期状態では、自動オフ機能は「無効」になっています。

※一度電源プラグを抜いても、設定は維持されます。

## 設定選択ランプの明るさ

暗い:無効

明るい:有効

## ● 操作音の設定

手元スイッチの操作ボタンを押したときの操作音の「入/切」を切換えます。

※初期状態では「入」になっています。

## 設定選択ランプの明るさ

暗い:切

明るい:入

**3** モーターの手元スイッチで説明しています。

## 警告

設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

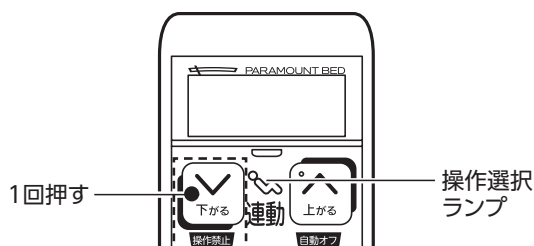
### 3.操作ボタンのロック（操作禁止）の設定



設定モードへ切換えてから、設定を変更してください。  
(33ページ参照)

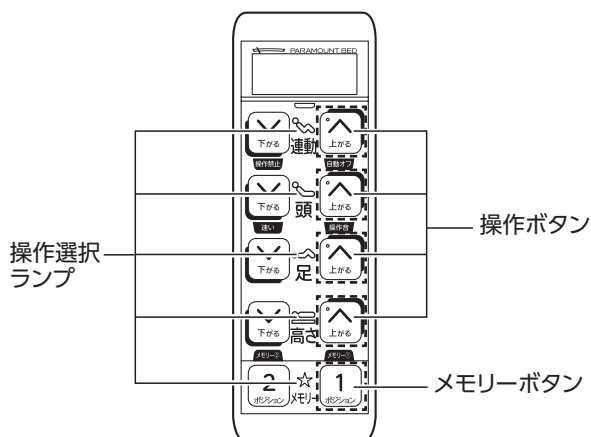
手元スイッチの操作ボタンを使えなくすることができます。  
※初期状態では、すべての操作が可能になっています。

#### 設定のしかた



#### 1 操作禁止ボタンを1回押してください。

ロック(操作禁止)されている操作ボタンの操作選択ランプは消灯、ロックされていない操作ボタンの操作選択ランプは点滅します。

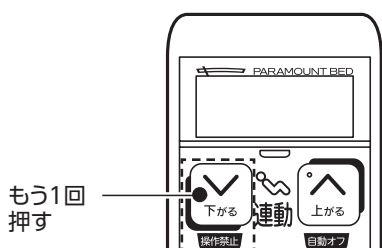


#### 2 操作禁止したい、または操作禁止を解除したい操作ボタンの [操作] ボタンを押してください。また、メモリーボタンを禁止にしたい場合はメモリーボタンの [1] ボタンを押してください。

操作ボタンの操作選択ランプが切換わります。

禁止したい：点滅→消灯

解除したい：消灯→点滅



#### 3 操作禁止ボタンを、もう1回押してください。

操作選択ランプの点滅が消えて設定が完了します。

**3** モーターの手元スイッチで説明しています。

#### 警告

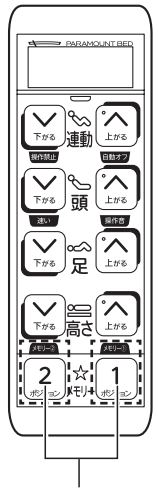
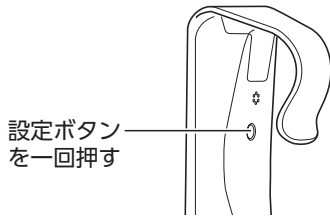
- 頭・足・高さボタンを操作禁止にしても、連動ボタンやメモリーボタンにより、頭・足・高さが動作する場合があります。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。必要に応じて、連動ボタンやメモリーボタンも操作禁止に設定してください。
- 設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

# 6 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

## 4.メモリーポジションの設定

メモリーボタンを使用し、ベッドのポジションを最大2個まで登録します。

### 設定のしかた



メモリーボタン

1 ベッドをボタン登録したいポジションまで動作させてください。

2 手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定モードにしてください。

3 ポジションを登録したいメモリーボタン **1** / **2** を押してください。

現在のベッドのポジションが仮登録されます。メモリーボタンを3秒長押しすると、初期設定が仮登録されます。

4 設定ボタンをもう一度押してください。

現在のベッドのポジションが登録され、設定が完了します。



メモリーポジションを再設定したい場合は、再度1~4を行ってください。

**3** モーターの手元スイッチで説明しています。

### 警告

- 設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。
- メモリーポジションの設定は、すべてのアクチュエーターをコントロールボックスに差込んでから行ってください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。



初期設定では、以下のポジションが登録されています。

※初期設定では、メモリーボタンを押しても、高さ調節動作はしません。

メモリーポジション1 : 背 30° 膝 6° 床高動作なし

メモリーポジション2 : 背 0° 膝 0° 床高動作なし

## (2) 足側フレームがQ6\*\*\*0Fの場合

■手元スイッチ側面の機能選択スイッチを操作することにより、ベッドの設定を変更できます。

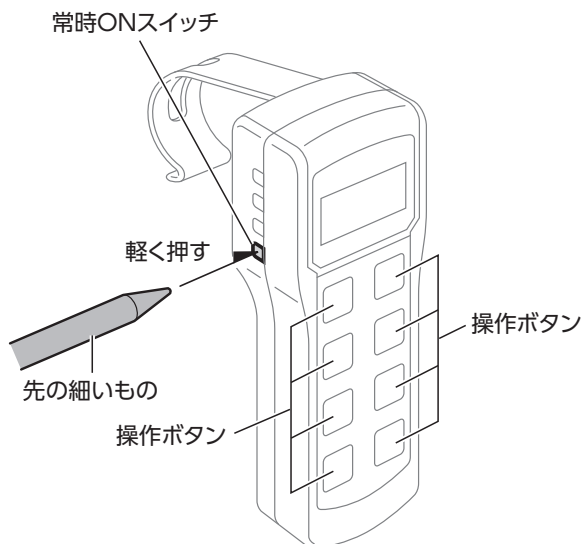
### 警告

- 操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。操作が理解できないと思われる方が、1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
  - ・ 操作禁止スイッチで手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。（操作方法は39・40ページ参照）
  - ・ 電源プラグを抜く。
- 操作禁止スイッチで手元スイッチのすべての操作ボタンをロック（操作禁止）している場合でも、もう一度操作禁止スイッチを3秒以上押し続けることにより、ロック（操作禁止）は解除され、操作ボタンが有効（操作可能）の状態に戻ってしまいますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。
- 操作禁止スイッチで手元スイッチの操作ボタンをロック（操作禁止）している場合でも、リセットスイッチを押すことにより、手元スイッチの設定はリセットされ、操作ボタンが有効（操作可能）の状態に戻ってしまいますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。
- 機能選択スイッチは、ベッド動作中に操作しないでください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

### 注意

機能選択スイッチを押すときは、鋭利なものを使用しないでください。破損の原因となります。また、シャープペンシルを使用する場合は、芯を出したままで行わないでください。芯が折れて手元スイッチの故障の原因となります。

## 1. 常時ONの設定



初期状態では、操作ボタンを押すことで手元スイッチの電源が「ON」になり、60秒間手元スイッチを操作しないと手元スイッチの電源が「OFF」になります。



手元スイッチの電源が「ON」になっている状態（23ページ参照）で設定してください。

### 設定のしかた

手元スイッチ左側面にある常時ONスイッチを、先の細いもの（鋭利なものを除く）で軽く押すと、手元スイッチの電源が常時「ON」になります。（60秒間手元スイッチを操作しなくても手元スイッチの電源は「OFF」になりません）

もう一度常時ONスイッチを押すと、常時「ON」が解除されます。

※常時「ON」にしても、一度電源プラグを抜いてコンセントに差し直すと初期状態に戻ります。

# 6 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

## 2.操作ボタンのロック (操作禁止) の設定

手元スイッチ左側面にある操作禁止スイッチを操作することで、手元スイッチの操作ボタンを使えなくすることができます。

※初期状態ではすべての操作が可能になっています。

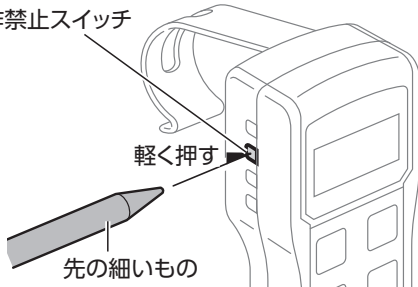


手元スイッチの電源が「ON」になっている状態 (23ページ参照) で設定してください。

### 設定のしかた

#### 連動・頭・足・高さのいずれかの操作ボタンをロック (操作禁止) する場合

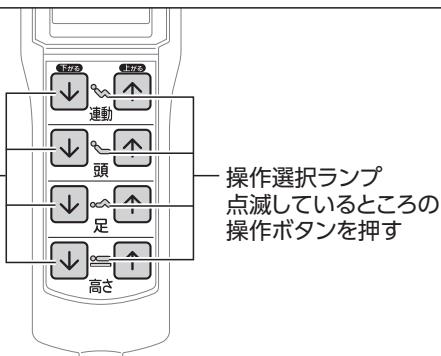
操作禁止スイッチ



1 操作禁止スイッチを先の細いもの (鋭利なものを除く) で、1回軽く押してください。

ロック (操作禁止) されている操作ボタンの操作選択ランプは消灯、ロックされていない操作ボタンの操作選択ランプは点滅します。

操作ボタン



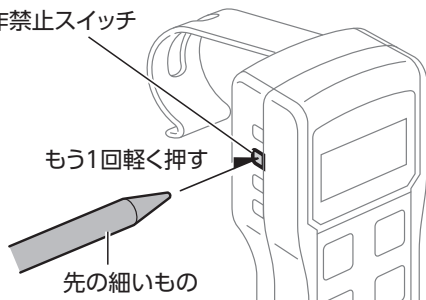
2 点滅している箇所の操作ボタンの / ボタンを1回押してください。

操作選択ランプが消灯し、操作ボタンがロック (操作禁止) になります。



頭・足のいずれかのボタンをロック (操作禁止) にした場合は、連動ボタンもロック (操作禁止) になります。

操作禁止スイッチ



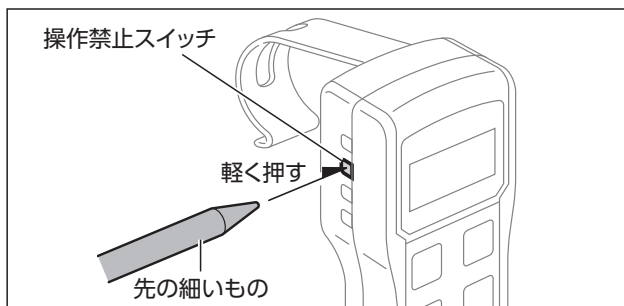
3 操作禁止スイッチを先の細いもので、もう1回軽く押してください。

操作選択ランプの点滅が消えて設定が完了します。



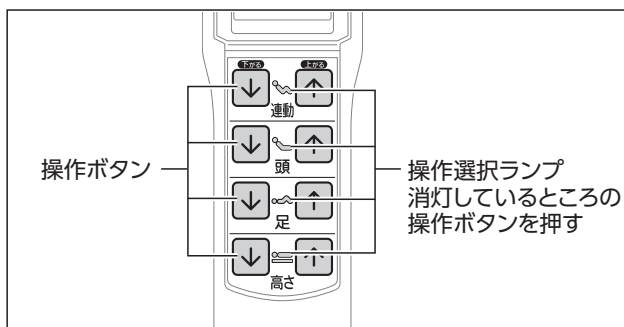
操作禁止スイッチを押さずに15秒間ボタン操作が行われない場合は、設定は完了せずに元の設定に戻りますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

## 連動・頭・足・高さのいずれかの操作ボタンのロック（操作禁止）を解除する場合



## 1 操作禁止スイッチを先の細いもの（鋭利なものを除く）で、1回軽く押してください。

ロック（操作禁止）されている操作ボタンの操作選択ランプは消灯、ロックされていない操作ボタンの操作選択ランプは点滅します。

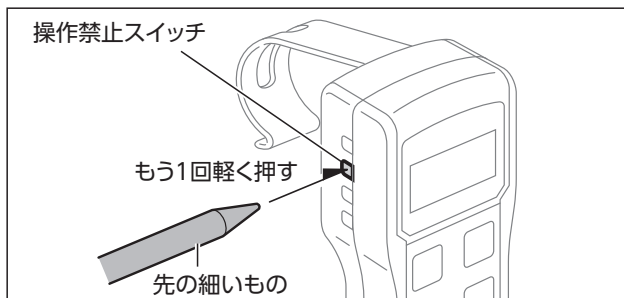


## 2 消灯している箇所の操作ボタンの↑/↓ボタンを1回押してください。

操作選択ランプが点滅し、操作ボタンのロックが解除されます。

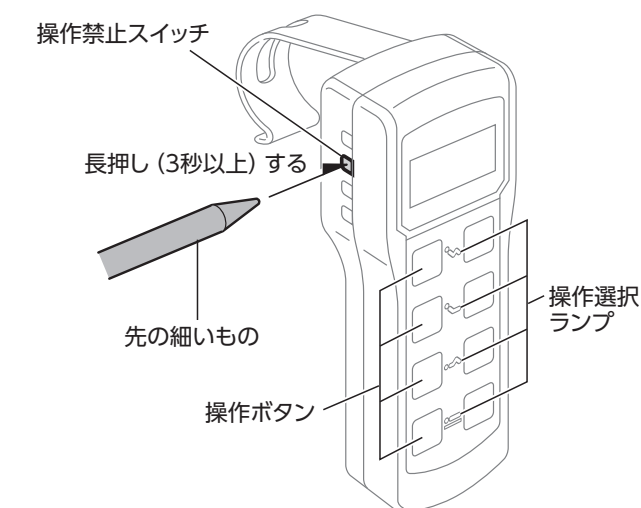


**注記** 頭・足・高さのすべてのボタンのロックを解除した場合は、連動ボタンのロックも解除されます。



## 3 操作禁止スイッチを先の細いもので、もう1回軽く押してください。

操作選択ランプの点滅が消えて設定が完了します。



## すべての操作ボタンをロック（操作禁止）する場合

操作禁止スイッチを先の細いもので、長押し（3秒以上）してください。

すべての操作選択ランプが消灯し、すべての操作ボタンがロック（操作禁止）になります。

## すべての操作ボタンのロック（操作禁止）を解除する場合

操作禁止スイッチを先の細いもので、長押し（3秒以上）してください。

すべての操作選択ランプが点灯し、すべての操作ボタンのロックが解除されます。

※すべての操作ボタンがロック（操作禁止）されているときに使用してください。

**警告**

- 操作禁止スイッチを押さずに15秒間ボタン操作が行われない場合は、設定は完了せずに元の設定に戻りますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。
- 操作禁止スイッチでロック（操作禁止）に設定している場合でも、リセットスイッチを押すとすべての操作ボタンが操作可能な状態に戻りますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

# 6 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

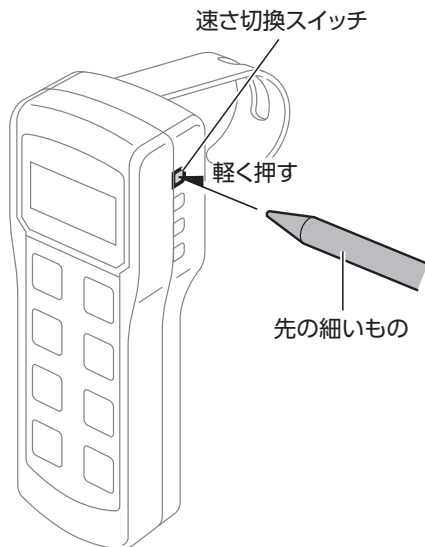
## 3.背あげ・ベッド高さの動作速度の設定

手元スイッチ右側面にある速さ切換スイッチを操作することで、「背あげ(頭)」「高さ調節」の動作速度を「普通/速い」に切換えることができます。「速い」は「普通」の1.5倍の速さで動作します。

※初期状態では、すべての動作速度が「普通」になっています。



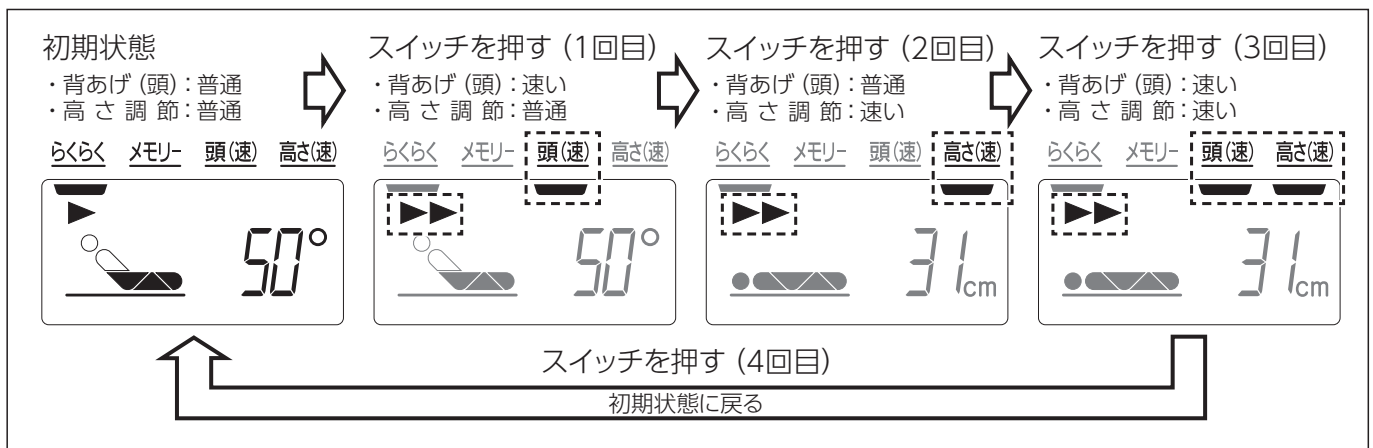
- 手元スイッチの電源が「ON」になっている状態(23ページ参照)で設定してください。
- 「背あげ(頭)」の動作速度を「速い」に設定していても、らくらくモーションの動作速度は「普通」になります。
- 「背あげ(頭)」の動作速度を「速い」に設定していても、角度制限機能により背ボトム(膝ボトム)が自動で動く場合は、「背あげ(頭)」の動作速度は「普通」になります。
- ベッド高さが31cm以下では、高さ調節の動作速度は「普通」より低速でさがります。



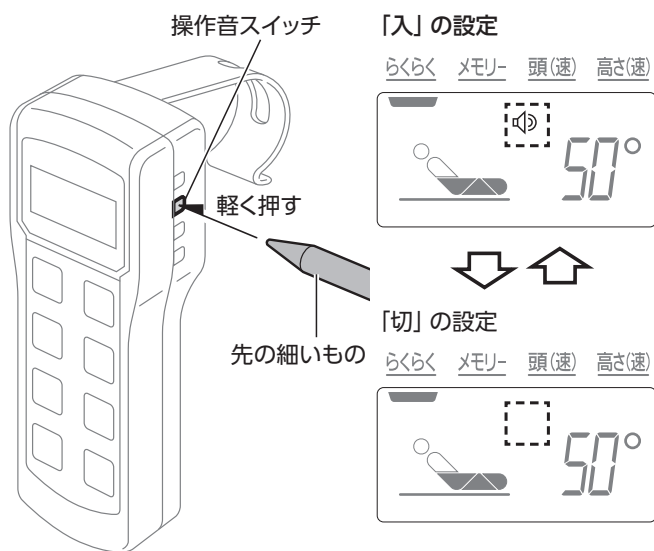
### 設定のしかた

速さ切換スイッチを先の細いもの(鋭利なものを除く)で軽く押してください。

押すたびに、表示パネルの速度表示(頭・高さ)が下記のように切替わります。



## 4. 操作音の設定



手元スイッチの操作ボタンを押したときの操作音の「入/切」を切換えます。

※初期状態では「入」になっています。



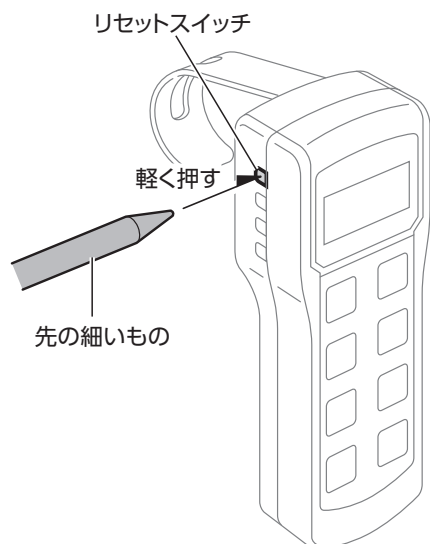
- 手元スイッチの電源が「ON」になっている状態（23ページ参照）で設定してください。
- 安全のため、ベッドの高さをさげる場合の一旦停止時・低床動作中の警告音は、操作音を「切」に設定しても切ることができません。

### 設定のしかた

手元スイッチ右側面にある操作音スイッチを、先の細いもの（鋭利なものを除く）で軽く押してください。

押すたびに、操作音の「入」と「切」が交互に切換わります。

## 5. 手元スイッチの設定のリセット



ベッドの操作設定を初期状態に戻します。



手元スイッチの電源が「ON」になっている状態（23ページ参照）で設定してください。

### 設定のしかた

手元スイッチ左側面にあるリセットスイッチを、先の細いもの（鋭利なものを除く）で軽く押すことで、手元スイッチの設定を初期状態に戻すことができます。

### 初期状態

スイッチ名	状態
常時ON	操作ボタンを押すと電源がON
操作禁止	ロック解除（すべての操作が可能）
速さ	背ボトム：普通、高さ：普通
操作音	入
メモリー	初期値（一旦停止位置が設定されていない状態）

# 6 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

## 6.連動・頭(背)・足(膝)・高さのメモリーポジションの設定

手元スイッチ左側面にあるメモリースイッチを操作することで、ベッドの「連動」「頭(背)」「足(膝)」「高さ」のメモリーポジション(一旦停止位置)を設定できます。

※初期状態では、メモリーポジションは設定されていません。

※メモリーポジションの設定/解除を行っても、高さ調節時の床高31cmでの、一旦停止は解除できません。



手元スイッチの電源が「ON」になっている状態(23ページ参照)で設定してください。

6

手元スイッチによるベッドの設定のしかた

メモリースイッチ

軽く押す

先の細いもの

### 設定のしかた

1 メモリースイッチを先の細いもの(鋭利なものを除く)で1回軽く押してください。

表示パネルの動作部位表示が点滅し、メモリーに **—** が点滅表示され、連動の現在設定値が表示されます。

※ 2 の場合は、頭の現在設定値が表示されます。

2 「連動」「頭」「足」「高さ」の操作ボタンの **↑** または **↓** を操作し、一旦停止させたい位置にしてください。

動作部位表示が点滅し、角度または高さが表示されます。

初期値(メモリーポジションが設定されていない状態)は、右表の位置になっています。

連動	0°
頭	0°
足	0°
高さ	25cm

※「連動」は頭の角度を設定します。

「連動」

点滅 2°ごとに数字が変わる

「頭」

点滅 2°ごとに数字が変わる

「足」

点滅 2°ごとに数字が変わる

「高さ」

線が点滅します 2cmごとに数字が変わる

3 メモリースイッチを先の細いもので、もう1回軽く押してください。

表示パネルのメモリーに **—** が表示され、設定が完了します。

※ **—** が表示されていないときは、設定されていません。

**警告**

メモリースイッチを押さずに、15秒間ボタン操作が行われない場合は、設定は完了せずに元の設定に戻りますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

### 設定解除のしかた

メモリースイッチを先の細いもので、長押し(3秒以上)してください。

すべてのメモリーポジションの設定が解除されます。(初期値に戻ります)

※メモリーポジションをすべて初期値に設定すると設定が解除され、表示パネルのメモリーに **—** が表示されません。

# 7 適合オプション

ここに記載されているオプション以外を使用する場合は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。

各オプションの品番は、段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

※製品識別表示ラベル上は、S\*\*\*\*、Q\*\*\*\*と表示されています。

例) S161Q → KS-161Qを示します。



仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。



- オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。
- ここに記載されているオプション以外は使用しないでください。意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。
- オプションを使用するときは、各オプションの取扱説明書をお読みください。

## 適合表

製品名		品番	参照ページ	
ベッドサイドレール	KS-161Qシリーズ	JIS認証取得	KS-161Q・KS-166・KS-126B/C/M/W	45
	KS-171Qシリーズ		KS-171Q・KS-176・KS-146B/C/M/W	45
	KS-151Qシリーズ		KS-151Q	45
	KS-191Qシリーズ		KS-191Q	45
	KS-111Qシリーズ		KS-111Q・KS-116Q	45
ソフトカバー付ベッドサイドレール			KS-151QC・KS-161QC・KS-171QC・KS-191QC KS-126BC/CC/MC/WC・KS-146BC/CC/MC/WC KS-166QC・KS-176QC	46
クリアカバー付ベッドサイドレール			KS-151QT・KS-161QT・KS-171QT・KS-191QT KS-126BT/CT/MT/WT・KS-146BT/CT/MT/WT KS-166QT・KS-176QT	46
サクッとポケット付ベッドサイドレール			KS-161QAP/QBP/QCP KS-171QAP/QBP/QCP KS-191QAP/QBP/QCP	46
ソフトガードサイドレール		JIS認証取得	KS-019A	45
ベッド用グリップ	スイングアーム介助バー サイドグリップ	JIS認証取得	KS-098A・KS-099A/B	47
			KS-030A	47
ソフトカバー付 ベッド用グリップ	スイングアーム介助バー サイドグリップ		KS-098ACL	47
			KS-030AC	47
キャスター		JIS認証取得	KQ-39A	46
サイドサポート			KA-037AR/BR・KA-037AL/BL・KA-038A/B	48
延長フレーム		JIS認証取得	KQ-P62L	48
オーバーテーブル			KQ-060L	48
アジャストテーブル			KQ-090	48
ベッドサイドテーブル			KF-1920/1930/1950/1960/1970/ 1924/1934/1954/1964/1974/282	49
脚座ゴムシート			KQ-P732	49
スマートハンドル			KQ-P70S・NN-2000	50
IVポールホルダー (樹脂ボードのみ)			KQ-P90V	50
電動介護リフト			KQ-781・KQ-787	54

# 7 適合オプション

## 1. ベッドサイドレール

JIS認証取得

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッドサイドレールが使用できます。
- ベッドサイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。
- 立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合は、ベッド用グリップをお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトガードサイドレール (KS-019A) や各種カバー (「2. ソフトカバー付/クリアカバー付/サクッとポケット付ベッドサイドレール (46ページ)」の表を参照) をお使いください。
- KQ-60000シリーズと下表のベッドサイドレールの組合せはJIS認証を取得しています。下表以外のベッドサイドレールとは組合せないでください。
- 表以外のベッドサイドレールと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。

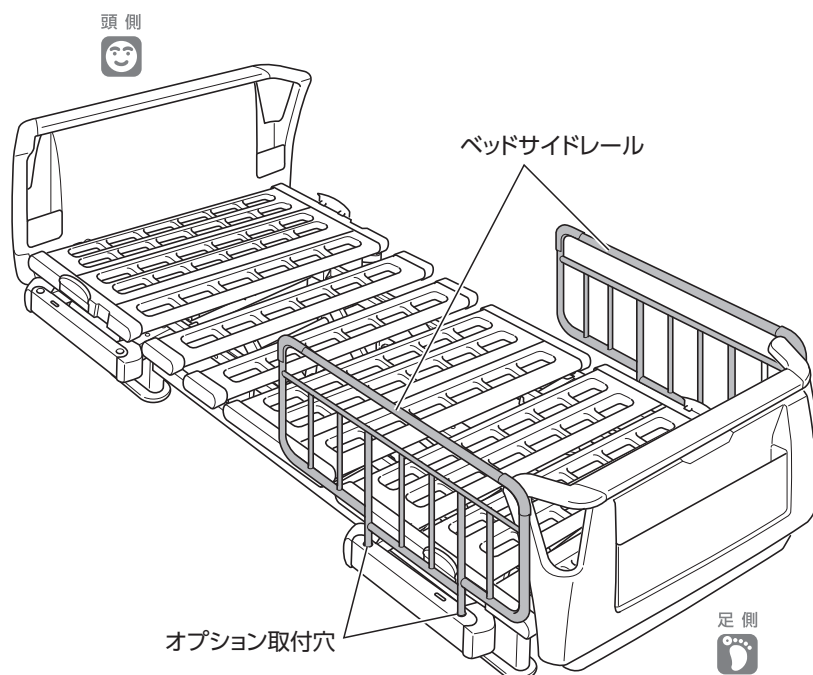
ベッドサイドレール適合表

(cm)

		全長	全高	厚	ベッド取付時の サイドレール高さ
ベッドサイドレール	KS-151Q	59	50.5	2.5	37.5
	KS-161Q	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-171Q	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-191Q	83	50.5	2.5	37.5
	KS-126B/C/M/W	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-146B/C/M/W	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-166	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-176	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-111Q/116Q	98	53.5	2.8	40
ソフトガードサイドレール	KS-019A	102	59	4	45



KS-191QはKS-098A・KS-099A/B・KS-030Aと並べて、もしくは単独でオプション取付穴に差し込んで使用するものです。他のベッド用グリップやベッドサイドレールなどと並べて使用したり、KS-191Qを2本並べて使用したりしないでください。詳しくは、51・52ページ「**B** 適合オプションの組合せと取付位置」をご覧ください。



## 2. ソフトカバー付／クリアカバー付／サクッとポケット付ベッドサイドレール

- ソフトカバー付/クリアカバー付/サクッとポケット付ベッドサイドレールは、下表・右表のベッドサイドレールと各種カバー/サクッとポケットのセットです。
- ソフトカバー/クリアカバー/サクッとポケットのみでもお求めいただけます。
- 表以外のベッドサイドレールとは組合せないでください。

## ソフトカバー付ベッドサイドレール適合表

ソフトカバー付 ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	ソフトカバー
KS-151QC	KS-151Q	KS-15C
KS-161QC	KS-161Q	KS-16C
KS-166QC	KS-166	
KS-126BC/CC/MC/ WC	KS-126B/C/ M/W	
KS-171QC	KS-171Q	KS-17C
KS-176QC	KS-176	
KS-146BC/CC/MC/ WC	KS-146B/C/ M/W	
KS-191QC	KS-191Q	KS-19CA

## クリアカバー付ベッドサイドレール適合表

クリアカバー付 ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	クリアカバー
KS-151QT	KS-151Q	KS-15TA
KS-161QT	KS-161Q	KS-16T
KS-166QT	KS-166	
KS-126BT/CT/MT/ WT	KS-126B/C/ M/W	
KS-171QT	KS-171Q	KS-17T
KS-176QT	KS-176	
KS-146BT/CT/MT/ WT	KS-146B/C/ M/W	
KS-191QT	KS-191Q	KS-19T

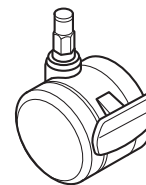
## サクッとポケット付ベッドサイドレール適合表

サクッとポケット付 ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	サクッとポケット
KS-161QAP	KS-161Q	KS-15P
KS-161QBP		KS-16P
KS-161QCP		KS-15P・KS-16P
KS-171QAP	KS-171Q	KS-15P
KS-171QBP		KS-16P
KS-171QCP		KS-15P・KS-16P
KS-191QAP	KS-191Q	KS-15P
KS-191QBP		KS-16P
KS-191QCP		KS-15P・KS-16P

## 3. キャスター

JIS認証取得

- キャスターを取付けることにより、室内での配置換えや掃除をするときなどのベッドの移動を補助します。
- ベッドの高さは変わりません。
- KQ-60000シリーズと下表のキャスターの組合せはJIS認証を取得しています。下表以外のキャスターとは組合せないでください。
- 下表以外のキャスターと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。



## キャスター適合表

キャスター	KQ-39A
-------	--------

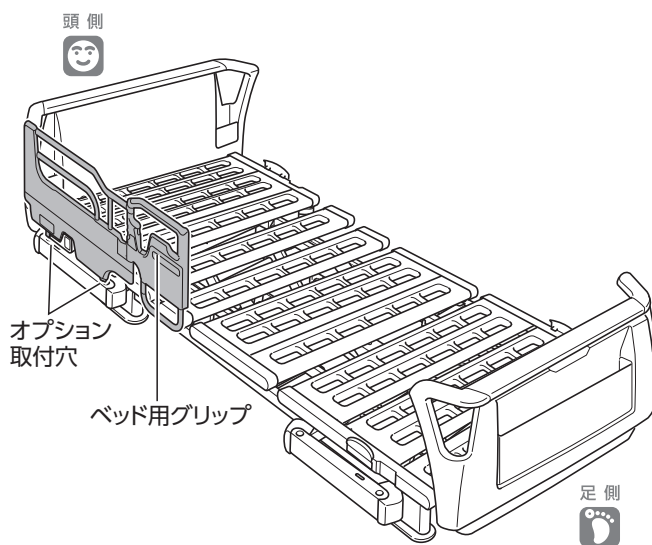
ゆかからボトム上面の高さ：25cm～60cm

# 7 適合オプション

## 4. ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー / サイドグリップ)

JIS認証取得

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッド用グリップが使用できます。
- 安全のために、使用者が転落するおそれがある場合は、ベッド用グリップと併用して、サイドレール (KS-151Q・KS-191Qシリーズ) またはサイドサポートをお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトカバー (下記 5.ソフトカバー付 / サクッとポケット付ベッド用グリップの表を参照) をお使いください。
- KQ-60000シリーズと下表のベッド用グリップの組合せはJIS認証を取得しています。下表以外のベッド用グリップとは組合せないでください。
- 表以外のベッド用グリップと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。



ベッド用グリップ適合表 (cm)

		全長	全高	厚	ベッド取付時の サイドレール 高さ
スイングアーム 介助バー	KS-098A	112.1	52.6	4	40
	KS-099A/B	112	52.1	4	40
サイドグリップ	KS-030A	82.2	52.3	4	40

※ベッド用グリップと同じ側で使用できるのは、サイドレール (KS-151Q・KS-191Qシリーズ) とサイドサポートのみです。

## 5. ソフトカバー付ベッド用グリップ

- ソフトカバー付ベッド用グリップは、右表のベッド用グリップとソフトカバーのセットです。
- 表以外のベッド用グリップとは組合せないでください。
- ソフトカバーのみでもお求めいただけます。

ソフトカバー付ベッド用グリップ適合表

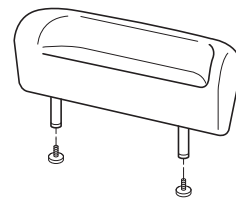
ソフトカバー付 ベッド用グリップ	ベッド用グリップ	ソフトカバー
KS-098ACL	KS-098A	KS-98CL
KS-030AC	KS-030A	KS-30C

## 6. サイドサポート

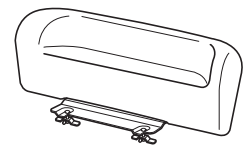
ベッドの両サイドのオプション取付穴・背ボトムを利用して、サイドサポートが使用できます。

### サイドサポート適合表

サイドサポート	
オプション取付穴差込式	KA-037AR/BR・KA-037AL/BL
ボトム取付式 ※背ボトム専用	KA-038A/B



オプション取付穴差込式

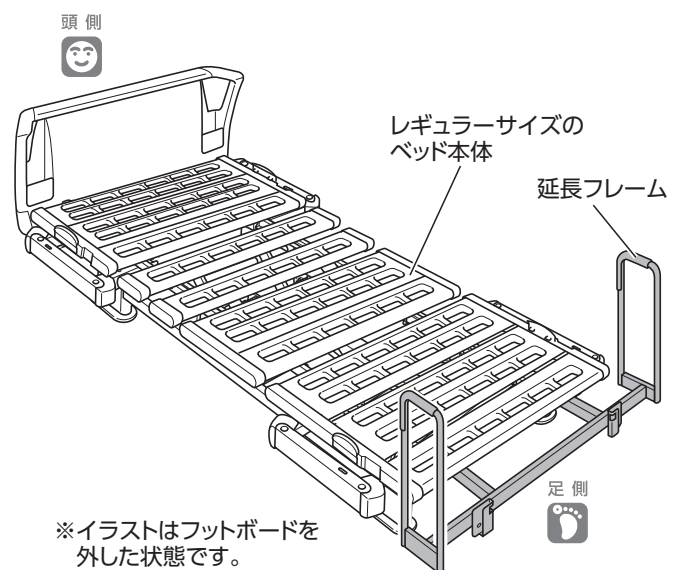


ボトム取付式

## 7. 延長フレーム (ベッド延長用具)

JIS認証取得

- レギュラーサイズのベッドに取付け、延長マットレス (別売) を置くことにより、ベッド全長を足側に14cm延長でき、長身の方 (170cm後半から) にあわせたロングサイズのベッドにすることができます。
- 延長フレームは、必ず専用の延長マットレス (右表) を取付け、延長マットレスに適合するレギュラーサイズマットレスとあわせて使用してください。
- KQ-60000シリーズと下表の延長フレームの組合せはJIS認証を取得しています。下表以外の延長フレームとは組合せないでください。
- 右表以外の延長フレームと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。



### 延長フレーム適合表

延長フレーム	延長マットレス
KQ-P62L	KE-L111・KE-L121・KE-551L



**警告**

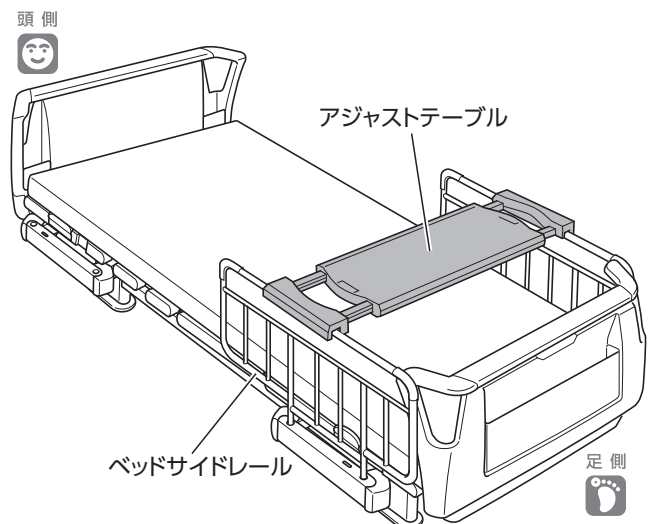
延長フレームを取付けて使用するときは、適合する延長マットレス (別売) を使用してください。延長フレームのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。

## 8. オーバーテーブル/アジャストテーブル

オーバーテーブル/アジャストテーブルは、ベッドサイドレールの上に乗せて使用してください。

### オーバーテーブル/アジャストテーブル適合表

オーバーテーブル	アジャストテーブル
KQ-060L	KQ-090



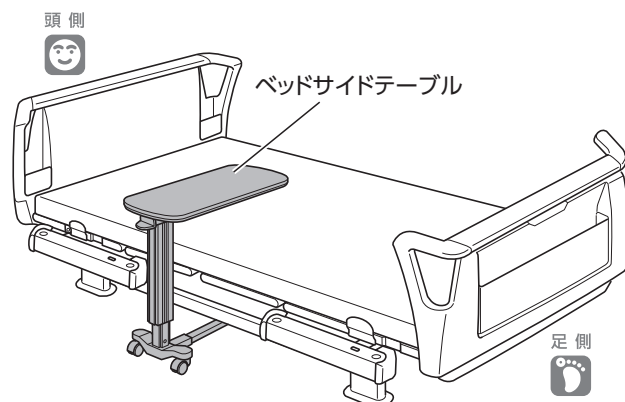
# 7 適合オプション

## 9. ベッドサイドテーブル

ベッドサイドテーブルは、ベッド上で食事や軽作業をするときに使用する製品です。

### ベッドサイドテーブル適合表


ベッドサイドテーブル	KF-1920・KF-1930・KF-1950 KF-1960・KF-1970・KF-1924 KF-1934・KF-1954・KF-1964 KF-1974・KF-282
------------	---

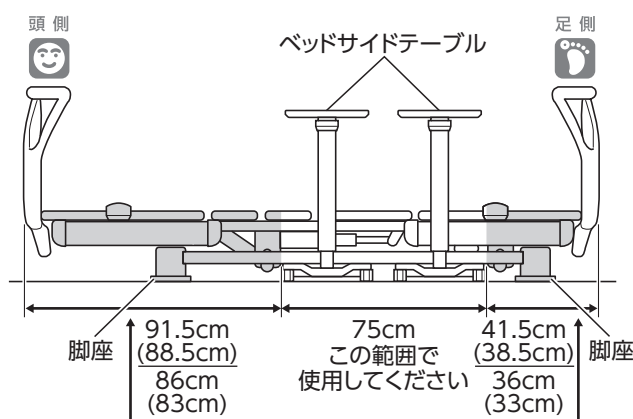


### 警告

ベッドサイドテーブルをベッドに設置しているときは、ベッドの操作をしないでください。背あげ・高さ調節などのベッド操作をするとベッドとベッドサイドテーブルの間にはさまれてけがをしたり、ベッドサイドテーブルやベッドが破損・変形したりするおそれがあります。ベッドの背・膝あげや高さ調節などをするときは、ベッドサイドテーブルをベッドから離してください。

### 注意

- 右図は、ベッドサイドテーブルの使用範囲を示しています。(  部分は使用不可)。右図の範囲外で使用すると、ベッドサイドテーブルが破損・変形するおそれがあります。
- ベッドにベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを併用する(設置している)場合、ベッドの高さが最高高さ付近では、ベッドサイドテーブルを使用できません。



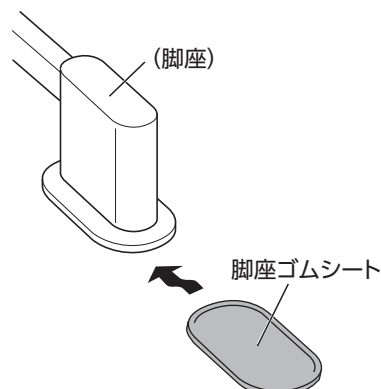
ベッドに接触するため使用できません。  
※上段はレギュラーサイズ、下段はミニサイズ  
※( )内は木製ボードの場合

## 10. 脚座ゴムシート

ベッド本体のすべり止めや、脚座やキャスターによるゆか面への傷つき防止用に使用します。

### 脚座ゴムシート適合表

脚座ゴムシート	KQ-P732
---------	---------



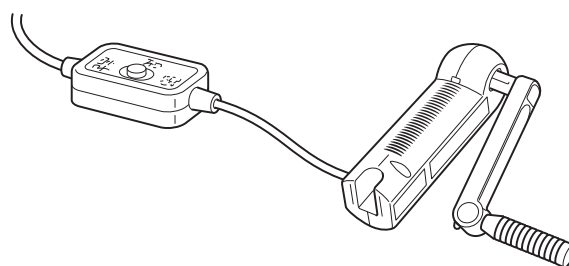
## 11.スマートハンドル

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、「背あげ/背下げ」「膝あげ/膝下げ」「高さ上げ」を行うことができます。

※ベッドの故障によっては、操作ができない場合があります。

### スマートハンドル適合表

スマートハンドル	KQ-P70S・NN-2000
----------	-----------------



## 12.IVポールホルダー（樹脂ボードのみ）

ボードに取り付けることで、IVポール（KC-56：別売）が使用できます。

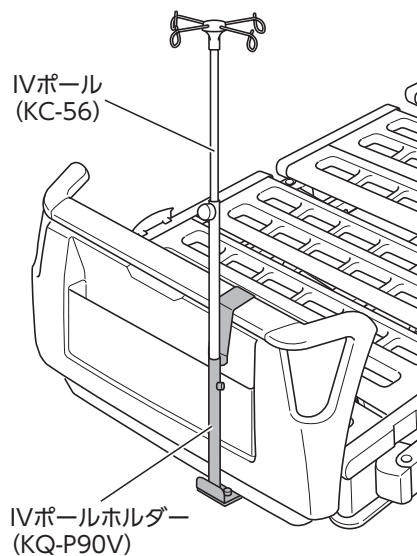
### IVポールホルダー適合表

IVポールホルダー	KQ-P90V
-----------	---------



**警告**

IVポールをご使用になる場合、IVポールホルダーをご使用になり、IVポールホルダー以外にはIVポールを取付けないでください。意図せぬすき間の発生により、けがをするおそれがあります。



# 8 適合オプションの組合せと取付位置

適合オプションの組合せと取付位置は、下図を参照して正しく取付けてください。正しい組合せと取付位置を「○」で、誤った組合せと取付位置を「×」で表しています。



● 正しい組合せと取付位置については、モーター数・サイズ（長さ）に関わらず全機種共通です。

※「ミニ」の場合は各オプションがボードよりとび出し、「ロング」はベッド足側に延長フレームが取付きます。

● 各オプションにソフトカバー、クリアカバーおよびサクッとポケットを取付けた場合の正しい組合せと取付位置も同じです。

● ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。

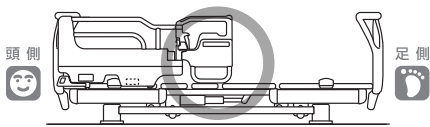
## 警告

ベッド用グリップやベッドサイドレールは、正しい組合せを確認した上でご使用ください。意図せぬすき間の発生により、けがをするおそれがあります。

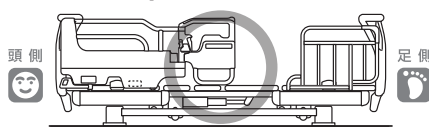
## 1. ベッド用グリップ（スイングアーム介助バー／サイドグリップ）を使用する場合

各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

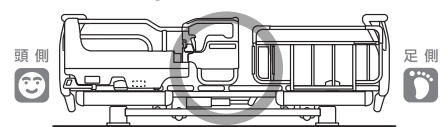
- KS-098A
- KS-099A/B



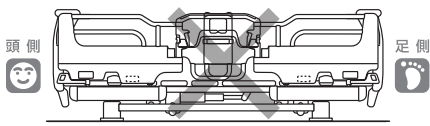
- KS-098A
- KS-099A/B
- + KS-151Q



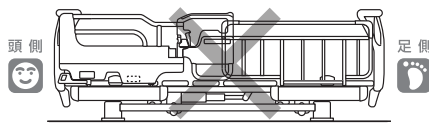
- KS-098A
- KS-099A/B
- + KS-191Q



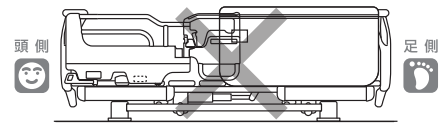
- KS-098A
- KS-099A/B
- + KS-098A
- KS-099A/B



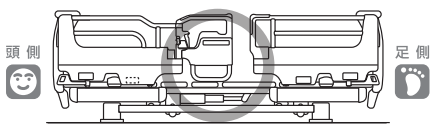
- KS-098A
- KS-099A/B
- + KS-161Q・171Q・111Qシリーズ



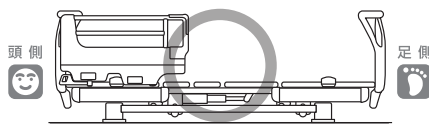
- KS-098A
- KS-099A/B
- + KS-019A



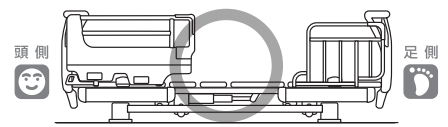
- KS-098A
- KS-099A/B
- + KS-030A



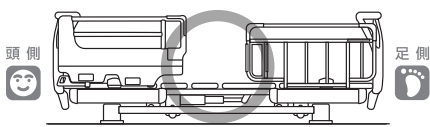
- KS-030A



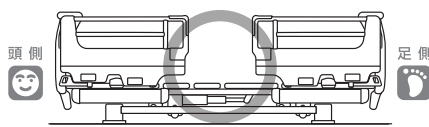
- KS-030A
- + KS-151Q



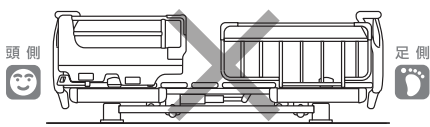
- KS-030A
- + KS-191Q



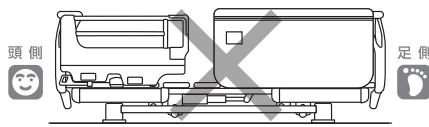
- KS-030A
- + KS-030A



- KS-030A
- + KS-161Q・171Q・111Qシリーズ



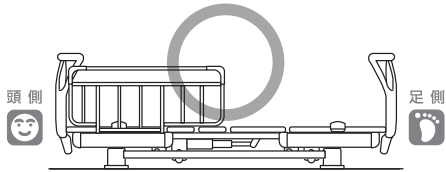
- KS-030A
- + KS-019A



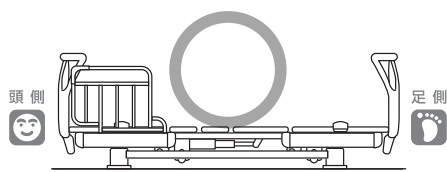
## 2. ベッドサイドレールを使用する場合

- 各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。
- 別シリーズのベッドサイドレールの組合せでは高さに差が生じる場合があります。

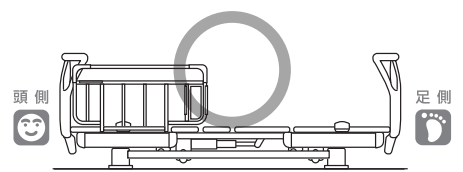
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ



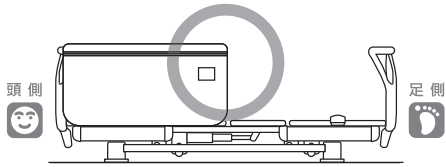
● KS-151Q



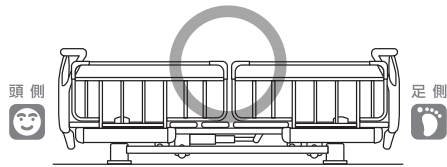
● KS-191Q



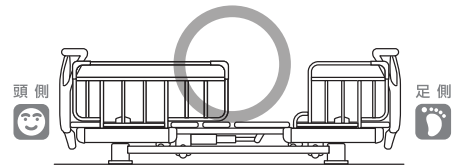
● KS-019A



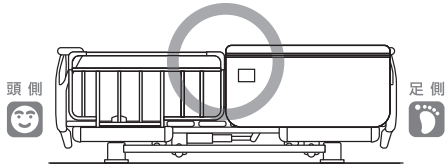
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ  
+  
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ



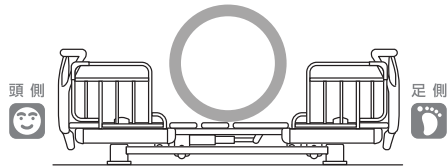
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ  
+  
● KS-151Q



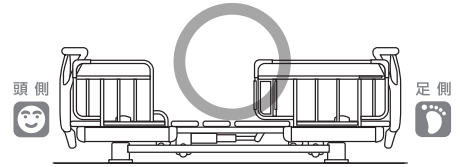
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ  
+  
● KS-019A



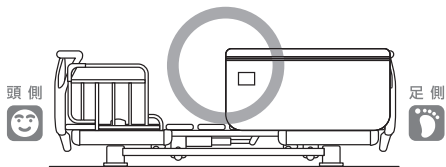
● KS-151Q  
+  
● KS-151Q



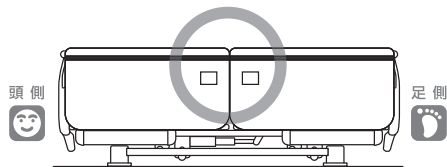
● KS-151Q  
+  
● KS-191Q



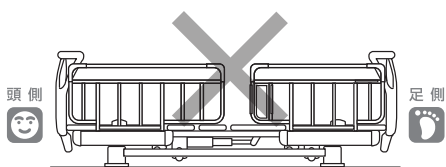
● KS-151Q  
+  
● KS-019A



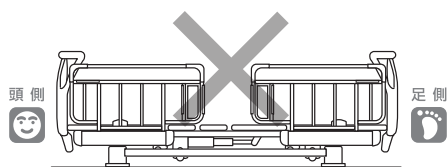
● KS-019A  
+  
● KS-019A



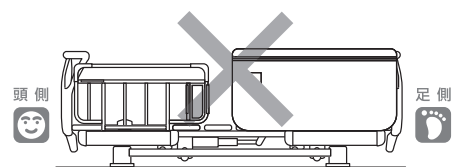
● KS-191Q  
+  
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ



● KS-191Q  
+  
● KS-191Q



● KS-191Q  
+  
● KS-019A



# 9 マットレス (別売)



## 警告

- マットレスを設置しない状態では、ベッドを使用しないでください。ボトムのスき間や穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。
- このベッドには、弊社が指定する適合品のマットレスを組合せてご使用ください。弊社が指定する適合品以外のマットレスと組合せると、寸法や折れ曲がりの点で適合しただけでなく、ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけて故障したりする原因となります。

## 適合マットレス

品名	ベッドサイズ マットレスサイズ		ミニサイズ	レギュラーサイズ	厚 (cm)
			幅×長さ (cm)		
			91×180	91×191	
一般用 マットレス	プレグラーマットレス		KE-5511Q	KE-551Q	8
	ウレタンフォームマットレス		-	KE-251	8
	ストレッチスリムマットレス	清拭タイプ	KE-772SQ	KE-771SQ	7
		通気タイプ	KE-772TQ	KE-771TQ	
	エバーリーフ7マットレス	清拭タイプ	-	KE-541S	7
		通気タイプ	KE-542T	KE-541T	
ポケットコイルマットレス		-	RB-ZA91P	13.5	
グレーターマットレス		-	KE-761	9	
体圧分散 マットレス	コンフォケアマットレス		-	KE-811	8.5
	ストレッチフィットマットレス	清拭タイプ	KE-782SQ	KE-781SQ	9
		通気タイプ	KE-782TQ	KE-781TQ	
	エバーリーフマットレス		-	KE-531	9
	エバーフィットC <sup>3</sup> マットレス	ドライタイプ	KE-612UQ	KE-611UQ	10
		清拭タイプ	KE-612SQ	KE-611SQ	
		通気タイプ	KE-612TQ	KE-611TQ	
	マキシーフロートマットレス ※		-	KE-801A	15
	ストレッチグライドマットレス	清拭タイプ	KE-792SQ	KE-791SQ	12.5
		通気タイプ	KE-792TQ	KE-791TQ	
	エバープラウドマットレス	ドライタイプ	KE-622UQ	KE-621UQ	13
		清拭タイプ	KE-622SQ	KE-621SQ	
		通気タイプ	KE-622TQ	KE-621TQ	
	アクアフロートマットレス	清拭タイプ	-	KE-831Q	12
通気タイプ		KE-8411Q	KE-841Q		
エアマットレス ここちあ結起 3D ※		KE-932QS	KE-931QS	15	
エアマットレス ここちあ風香		-	KE-951M	13	
エアマットレス ここちあ利楽	清拭タイプ	KE-972S	KE-971S	13	
	通気タイプ	KE-972T	KE-971T		

※マキシーフロートマットレス・エアマットレスここちあ結起 3Dとベッドサイドレール・ベッド用グリップを併用する場合は、KS-171Qシリーズ・KS-111Qシリーズ(44ページ参照)・KS-019A・KS-098A・KS-099A/B・KS-030Aをご使用ください。



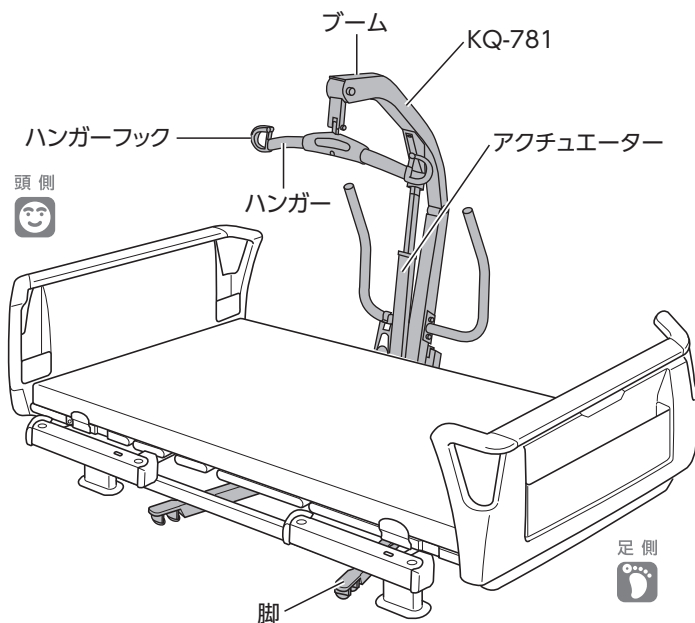
- 詳細な取扱いは、マットレスに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- マットレスはベッドの幅・長さにあわせたものをご使用ください。
- 仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

# 10 電動介護リフト(床走行式リフト)を使用するときのご注意

電動介護リフトは、ベッドから車いすへの移乗など、さまざまな移乗動作を補助する製品です。

## 警告

- 電動介護リフトに添付されている取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、思わぬけがをするおそれがあります。
- ベッド操作時および電動介護リフト操作時は、電動介護リフトの周囲に注意してください。
  - ・ ベッドとハンガーの間にはさまれたり、ハンガーに当たったりしてけがをするおそれがあります。
  - ・ ブームやハンガーが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たり破損したりするおそれがあります。
  - ・ ハンガーフックがベッドサイドレールなどに引っ掛かり、電動介護リフトやベッドサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
  - ・ ベッドと電動介護リフトの脚部やアクチュエーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。
- 電動介護リフトの脚をベッドの下に差込んでいるときは、電動介護リフトのキャスターのロックを掛けないでください。ベッド操作のときに、ベッドと電動介護リフトの脚部やアクチュエーター部などが当たると、電動介護リフトが転倒してけがをしたり、ベッドや電動介護リフトが破損・変形したりするおそれがあります。
- 電動介護リフトの脚をベッドの下に差込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしないでください。電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。

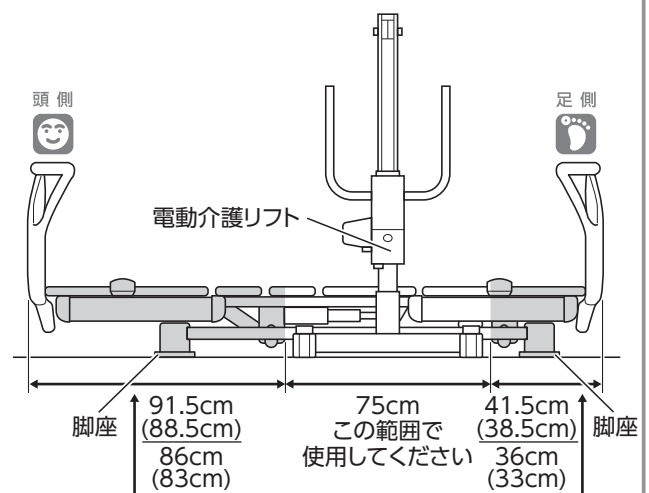


電動介護リフト適合表

電動介護リフト	KQ-781・KQ-787
---------	---------------

## 注意

- 下図は、電動介護リフトの使用範囲を示しています。(■部分は使用不可)。下図の範囲外で使用すると、電動介護リフトが破損・変形するおそれがあります。
- ベッドにベッドサイドレールやベッド用グリップなどを併用する(設置している)場合、ベッドの高さが最高高さ付近では、電動介護リフトを使用できません。



ベッドに接触するため使用できません。  
 ※上段はレギュラーサイズ、下段はミニサイズ  
 ※( )内は木製ボードの場合

# 11 定期点検と日常のお手入れ

## 1. 定期点検について

ベッドを安全にご使用いただくために、1年に1回は定期的に点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。

- 点検項目は、88～93ページ「**4** 組立後の点検」を参照してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検を希望される場合は、パラテクノコールセンター（104ページ参照）までお問い合わせください。

## 2. 日常のお手入れについて

ベッドを快適にご使用いただくためには、日常のお手入れが大切です。下記の要領で、ベッドを清潔にしてください。

### 警告

- お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤操作により、はさまれてけがをするおそれがあります。
- ベッドに水をかけて掃除しないでください。ショートして感電するおそれがあります。

### 注意

お手入れするときは、ベッド各部の突起部分でけがをしないように注意してください。

### ベッド本体の汚れの落とし方

- ① 水で薄めた中性洗剤にひたした布を、よくしぼって拭いてください。
- ② 水にひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
- ③ 乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

### 消毒のしかた

下記の消毒剤を、指定の濃度、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

消毒剤	指定の濃度
消毒用エタノール	76.9～81.4%
塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）	0.05～0.2%
塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）	0.05～0.2%
グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）	0.05%
次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）	0.02～0.05%



- 別の方がベッドを使用する前には、ベッドを消毒することをおすすめします。
- オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。

### 注意

- 揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。



- 消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質のおそれがあります。
- 中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。

### オプションのお手入れについて

各オプションに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

### マットレスのお手入れについて

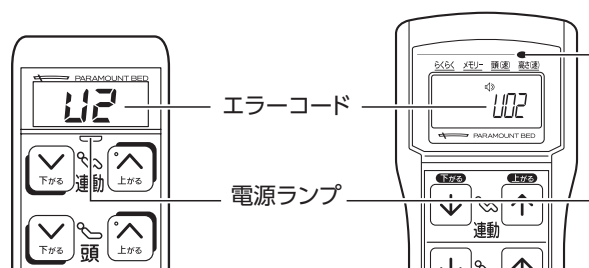
マットレスに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

# 12 故障かな?と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- チェック・処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはパラテクノコールセンター（104ページ参照）まで修理をご依頼ください。
- 以下の症状により、電動で背さげをできない場合は、手動またはスマートハンドルで背さげを行ってください。（58～61ページ参照）
- 故障や一時的異常の場合は、表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードを確認してください。




**警告**  
地震・火災・水害などで被災したベッドは、販売店またはパラテクノコールセンター（104ページ参照）まで点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災、ベッドの変形による動作の異常によって、けがをす



状態 (症状)	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処置	参照ページ
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	消灯	-	電源プラグはコンセントに差込まれていますか?	電源プラグをコンセントに差込んでください。	-
		-	電源プラグはコンセントに差込んでいるが、手元スイッチの電源ランプが消えていませんか?	コンセントに他の電気機器を接続して、電気がきていることを確認してください。	-
	緑で点灯	-	押した操作ボタンの操作選択ランプが消えていませんか?	操作禁止ボタン（スイッチ）を操作して、操作ボタンを有効（操作可能）にしてください。	36・40
		-	手元スイッチの電源が「OFF」になっていませんか?	一度操作ボタンを押すことで、電源が「ON」になります。もう一度、操作ボタンを押してください。	22・23
	常時、赤で速い点滅 (0.2秒ごと)	H1～H9	-	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	-
	ボタンを押したときだけ赤で遅い点滅 (1秒ごと)	U0	操作ボタンを押したまま、電源プラグをコンセントに差込みませんでしたか?	押されている操作ボタンを離してください。	-
		U1	可動部分に障害物はありませんか?	障害物を取除いてから操作を行ってください。	-
		U2	手元スイッチのコネクターが抜けかけていませんか?	手元スイッチのコネクターを抜いて、差直してください。	80
			ベッド上で電子治療器などを使用していませんか?	通信状態の異常を知らせる保護機能が働いたと思われます。故障ではありません。電子治療器などを使用するときは、電源プラグを抜いてから使用してください。	-
	U3	-	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	-	

↓ 次ページに続く

# 12 故障かな?と思ったら

状態 (症状)	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処 置	参照ページ
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	ボタンを押したときだけ赤で遅い点滅 (1秒ごと)	U4	連続運転しましたか? (アクチュエーターを連続運転すると、運転時間制限が働き、動作が停止することがあります)	20~57分間放置してください。(放置せずに操作すると、再度エラーコードが表示されます)	-
		U5	-	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	-
			アクチュエーターのコネクターが外れていませんか?	アクチュエーターのコネクターを差直してください。	77・78
		U9	動作が停止した状態で、長い間 (30秒以上) ボタンを押し続けていませんか?	ボタンを離してから再度操作してください。	-
	-		一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	-	
消灯	-	手元スイッチのコネクターがコントロールボックスから抜けていませんか?	手元スイッチのコネクターをコントロールボックスに差込んでください。	80	
操作したボタンと異なる部位が動作する	緑で点灯	-	頭 (足) の  ボタンを押したときに膝 (背) がさがりましたか?	角度制限機能が働いているため、故障ではありません。	-
			アクチュエーターが正しく配線されていますか?	アクチュエーターのコネクターを外し、正しく配線してから操作をしてください。	77・78
各ポジションが正常にとれない	-	-	可動部分に障害物はありませんか?	障害物を取除いてください。	-
ベッドの移動ができない (キャスター取付時のみ)	-	-	キャスターがロックされていませんか?	キャスターのロックを解除してください。	-
ボードが外れない	-	-	ボードストッパーが固定されていませんか?	ボードストッパーの固定を解除してください。	95

※修理のご依頼やお問い合わせのときは、製品識別表示ラベル (68~70ページ参照) に表示された番号もあわせてご連絡ください。

# 13 緊急時のベッド操作のしかた

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、背ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトムをさげることができます。



停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合は、「**12** 故障かな?と思ったら」(56・57ページ)に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンター(104ページ参照)までご連絡ください。

## 注意

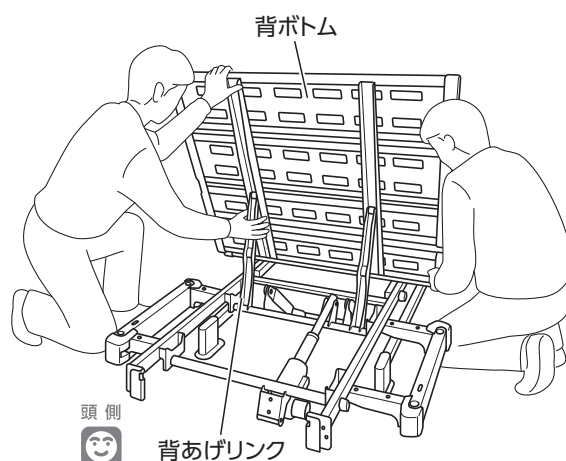
手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

## 1.手動による背さげのしかた/戻しかた

### 背さげのしかた

- ① ベッドの電源プラグを、コンセントから抜いてください。
- ② ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ③ ヘッドボードを外してください。(95ページ参照)
- ④ 背ボトムと背あげリンクを支えてください。

使用する工具      ペンチ・プライヤー (小)



## 注意

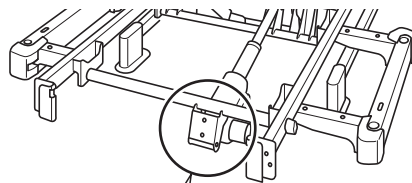
手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。

↓ 次ページに続く

# 13 緊急時のベッド操作のしかた

- ⑤ 背アクチュエーターを手でしっかりと支えながら、背アクチュエーターについているスナップピン(赤)を取外してください。
- ⑥ 連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すと、背あげリンクが自由に動くようになります。

※作業をわかりやすくするために、背ボトムは省略したイラストになっています。

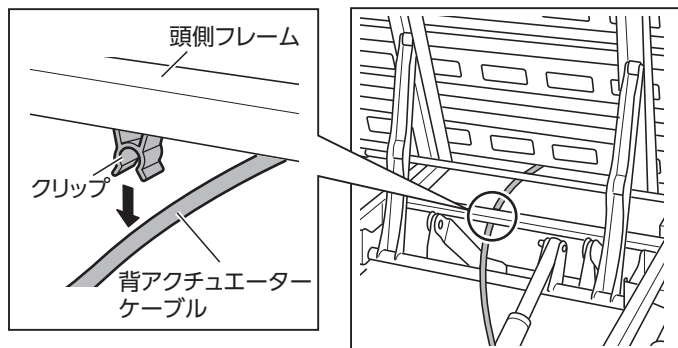


取外した連結ピンは、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。

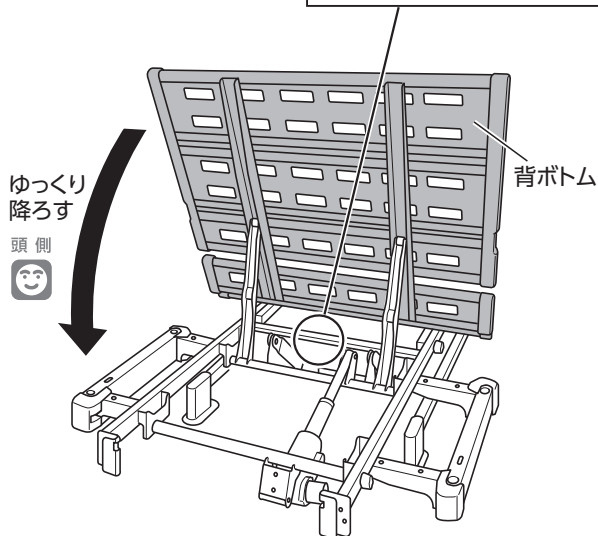
スナップピン(赤)の抜きかた

- スナップピン(赤)を、図の方向にひねり、そのままスナップピン(赤)の後端部を押して、ピンを抜いてください。
- ※ペンチで先端部をはさんで引っ掛けて作業を行うと、取外しが容易です。

- ⑦ 頭側フレームのクリップから背アクチュエーターケーブルを外してください。
- ⑧ 背あげリンクを降ろしてから、背ボトムをゆっくり降ろしてください。
- ⑨ ヘッドボードを取付けてください。(87ページ参照)



この作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。



## 戻しかた

停電時は、電源の復帰後、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、「4 組立後の点検」(88～93ページ参照)に従って点検を行ってください。

- ① ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ② ヘッドボードを外してください。(95ページ参照)
- ③ 背ボトムと背あげリンクを持ち上げて、支えてください。
- ④ 背アクチュエーターを持ち、背アクチュエーターの穴と頭側フレームにある背アクチュエーター取付部の穴の位置をあわせ、連結ピンを差込んで、スナップピン(赤)で固定してください。



連結ピンは、手動で背さげしたときに取外したものを使用してください。

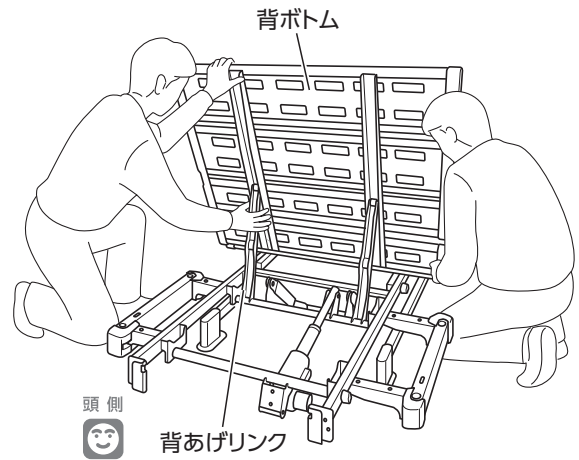
ちゅうい  
**注意**

スナップピン(赤)は、再利用しないでください。ベッドが破損して、けがをするおそれがあります。新しいスナップピン(赤)は、販売店またはパラテクノコールセンター(104ページ参照)までご依頼ください。

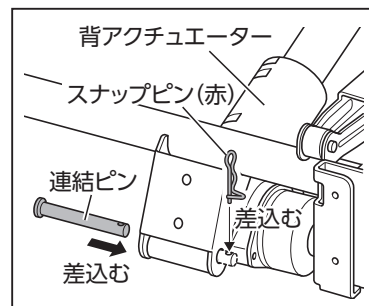
- ⑤ 頭側フレームのクリップに、背アクチュエーターケーブルを留めてください。
- ⑥ ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑦ 手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下までさげてください。
- ⑧ ヘッドボードを取付けてください。(87ページ参照)



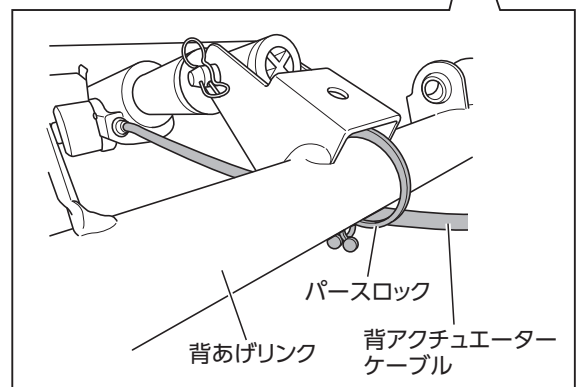
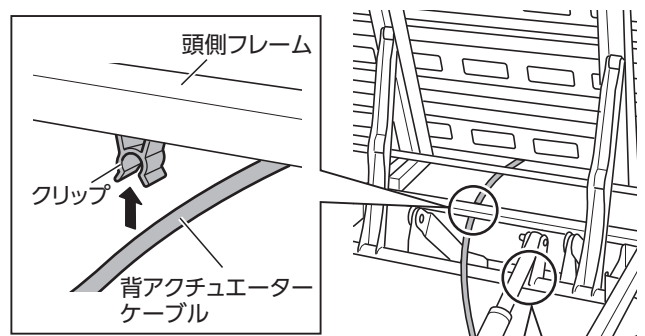
背あげリンクについているパースロック内に、背アクチュエーターケーブルが通っていることを確認してください。



頭側



※作業をわかりやすくするために、背ボトムは省略したイラストになっています。



# 13 緊急時のベッド操作のしかた

## 2. スマートハンドルによるベッド操作のしかた

### 注意

スマートハンドルの操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。スマートハンドルの操作中に誤ってベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。

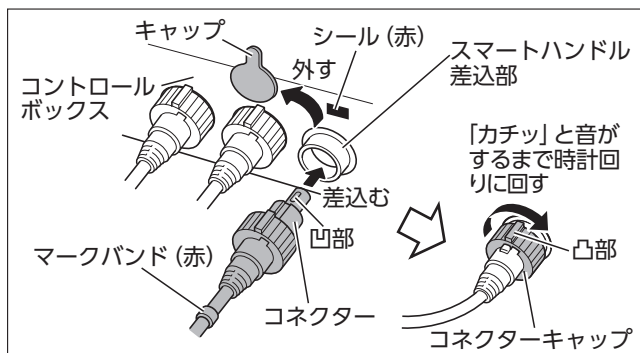


- スマートハンドル (KQ-P70S:別売) をベッドに取付けることにより、「背あげ/背さげ」「膝あげ/膝さげ」「高ささげ」の操作を行うことができます。
- スマートハンドルの収納ケース内に、スマートハンドルの取扱説明書が同梱されています。そちらもあわせてご覧ください。
- スマートハンドルは停電時やベッドの故障\*などの緊急時に、すぐに使用できるように収納ケースに保管してください。
- スマートハンドルの収納位置については、スマートハンドルの取扱説明書をご覧ください。  
※故障内容によっては、スマートハンドルによる操作ができない場合があります。

### スマートハンドルの取付けかた・取外しかた

#### 【スマートハンドルの取付けかた】

- ① ベッドのコントロールボックスのスマートハンドル差込部(シール:赤)のキャップを取外してください。
- ② スマートハンドルのコネクターを、ベッドのコントロールボックスの差込部(シール:赤)に差込んでください。
- ③ コネクターキャップを「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。



#### 【スマートハンドルの取外しかた】

使用後は取付けと逆の手順でスマートハンドルを取外し、収納ケースに入れて保管してください。

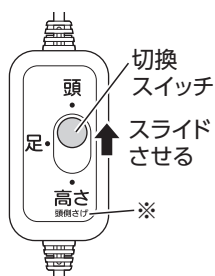


【スマートハンドルの取付けかた】①で取外したキャップは、コントロールボックス保護のために、必ず元通りに取付けてください。

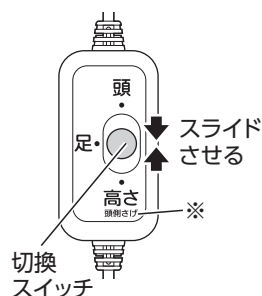
### 操作のしかた

- ① 切換スイッチを操作したい位置にスライドさせてください。  
※切換スイッチのラベルには「頭側さげ」と表示されていますが、KQ-60000シリーズはベッド全体の高さがさがります。

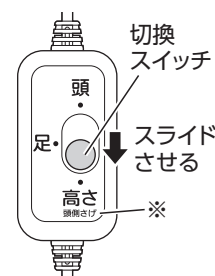
#### 背あげ/背さげ



#### 膝あげ/膝さげ

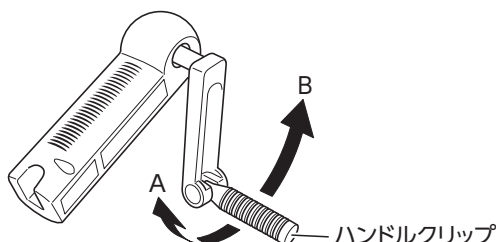


#### 高ささげ



- ② ハンドルグリップを回すとベッドが動きます。

	ハンドルグリップを回す方向	
	A	B
頭	背があがる	背がさがる
足	膝があがる	膝がさがる
高さ	—	高さがさがる



# 14 長期保管と移動（移設）

## 1. 長期保管について

### 長期にわたりベッドを使用しない場合

- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。  
温度-10~50℃、湿度30~90% RHの環境で保管してください。
- 取扱説明書は、紛失しないように大切に保管してください。

### 組みあがった状態でベッドを保管する場合

- 背ボトム、膝ボトムを水平にしてください。
- ベッドの高さを最低高さまでさげてください。
- ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- ベッドは壁に立て掛けたりせず、水平なゆかに水平のまま保管してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねておいてください。

### 分解して保管する場合

- ベッドの分解は、販売店にご依頼されることをおすすめします。
- お客様でベッドを分解される場合は、「**5** ベッドの分解方法」（94~103ページ参照）に従って分解し、保管してください。

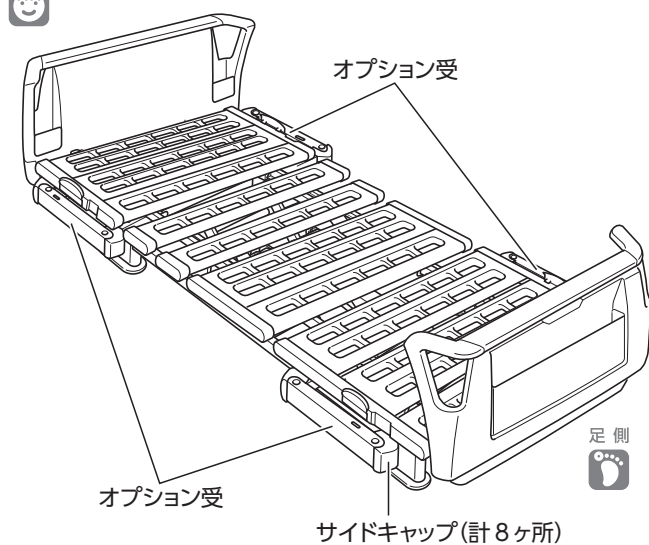
※使用を再開する場合は、「**3** ベッドの組立方法」（72~87ページ参照）に従って正しく組立てた後、「**4** 組立後の点検」（88~93ページ参照）に従って点検してください。

# 14 長期保管と移動（移設）

## 2. 移動（移設）について

### 組みあがった状態でベッドを移動（移設）する場合

- 背や腰などを痛めないように、少なくとも4人で運んでください。
- ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、寝具、マットレスを降ろし、オプション（ベッドサイドレール、ベッド用グリップなど）を取外してください。
- 頭側フレームと足側フレームのオプション受中央部（オプション取付穴の間）のフレーム部を持って運んでください。
- 手元スイッチ、電源コード、電源プラグを破損や傷から守るために、束ねてベッド本体に固定して運んでください。



### <sup>けい こく</sup> 警告

指定の場所以外を持って、持ちあげたり運んだりしないでください。ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

### <sup>ちゅう い</sup> 注意

- オプション受両端のサイドキャップを持つと、サイドキャップが破損してけがをするおそれがあります。
- キャスターを使用する場合は、段差や傾斜のある路面での移動は避けてください。故障の原因となります。また、ベッドの部品とゆかとのすき間が少ないため、ゆかを傷つけるおそれがあります。やむを得ない場合は、ベッドをできるだけゆっくりと動かして移動させてください。

### 分解して移動（移設）させる場合

- ベッドの分解は、販売店にご依頼されることをおすすめします。
- お客様でベッドを分解される場合は、「**5** ベッドの分解方法」（94～103ページ参照）に従って分解してください。

※使用を再開する場合は、「**3** ベッドの組立方法」（72～87ページ参照）に従って正しく組立てた後、「**4** 組立後の点検」（88～93ページ参照）に従って点検してください。

# 15 仕様

## 1. ベッド本体

ミニ	品番	JIS認証取得	KQ-63200	KQ-63210	KQ-63220	KQ-63230	KQ-62200	KQ-62210	KQ-62220	KQ-62230	
	寸法 (cm)		a.99.6	b.198.6 (192.2)*4	c.139.1	d.25 ~ 60	e.39.1	f.39.1 (20.1)*4			
	製品質量 (kg)		80.5			82	79.5			81	
レギュラー	品番	JIS認証取得	KQ-63300	KQ-63310	KQ-63320	KQ-63330	KQ-62300	KQ-62310	KQ-62320	KQ-62330	
	寸法 (cm)		a.99.6	b.209.6 (203.2)*4	c.139.1	d.25~60	e.39.1	f.39.1 (20.1)*4			
	製品質量 (kg)		81.5			83	80.5			82	
モーター数		3モーター					2モーター				
ボード色		ブラウン	ベージュ	ベージュ木目	メディアム	ブラウン	ベージュ	ベージュ木目	メディアム		
電源コード長さ		有効長さ3.5m									
手元スイッチ		液晶タイプ8ボタン				液晶タイプ4ボタン					
主な材質	ボード	ポリプロピレン			MDFなど オレフィン系シート	ポリプロピレン			MDFなど オレフィン系シート		
	ボトム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)									
	頭側フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)								
		サイドキャップ	ポリプロピレン								
	足側フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)								
サイドキャップ		ポリプロピレン									
ベースフレーム		スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)									
最大利用者体重		138kg									
安全動作荷重*1		174kg(1700N)									
最大マットレス厚*2		14(15)cm									
動作保証条件		10~40℃ / 30~75%RH									
動作範囲	背あげ傾斜角度 / 所要時間	0~75 [+7.5°, -5°] / 29秒 (普通)・22秒 (速い)									
	膝あげ傾斜角度 / 所要時間	0~30±3° / 12秒 (普通)・9秒 (速い)			0~20±2° (背膝連動)						
	昇降高さ調節量 / 所要時間*3	35cm/33秒(普通)・25秒(速い)									
耐用期間 (予測耐用期間)		8年 [自己認証 (当社データ) による] ※ただし消耗部品は除く									

※1) 安全動作荷重：ベッドを安全に使用できる荷重。(利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重)

※2) ベッドサイドレール (KS-151Q・161Q・191Qシリーズ) 使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。  
( ) 寸法は、ベッドサイドレール (KS-171Qシリーズ・KS-019A・KS-111Qシリーズ)、ベッド用グリップ (KS-098A・KS-099A/B・KS-030A) 使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。

注) JIS規格を満たす最大マットレス厚は以下の通りです。

- KS-151Q・161Q・191Qシリーズ：15cm
- KS-171Qシリーズ・KS-019A：21cm
- KS-098A・KS-099A/B・KS-030A：17cm
- KS-111Qシリーズ：18cm

※上記製品を組合せて使用する場合は、寸法が小さいものを基準にしてください。

※KS-151Q・161Q・191Qシリーズ、KS-171Qシリーズ、KS-111Qシリーズの詳細につきましては、44ページの「適合表」を参照してください。

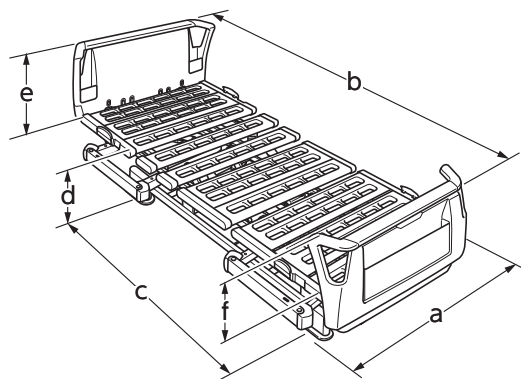
※3) 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが31cmに達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。

再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

※4) 木製ボードの場合

### 各部の寸法

a~fの寸法は、上記表に記載しています。



項目	箇所
a 全幅	最大外形寸法
b 全長	最大外形寸法
c 脚座間の長さ	脚座の中心間長さ
d ボトムの高さ	ゆか~ボトム上面 (最低高さ~最高高さ)
e ヘッドボード高さ	ボトム上面~ヘッドボード上端
f フットボード高さ	ボトム上面~フットボード上端

# 15 仕様



## 2.電装品

形 式	リニアアクチュエーター (DCモーター)
電源電圧、周波数	AC100V、50/60Hz
消費電力	背あげ：145W以下 膝あげ：70W以下 高さ調節：150W以下
待機電力	2W以下
最大連続使用時間	3分(休止時間 57分※4)
動作音	65dB以下

※4) ベッドを最大連続使用時間 (3分) 動作させた場合、電装品を過熱から保護するための時間。

## 組立・分解方法

## もくじ

<b>1 各部の名称</b> .....	67	<b>4 組立後の点検</b> .....	88~93
<b>2 梱包部品の確認</b> .....	68	<b>5 ベッドの分解方法</b> .....	94
梱包部品の確認 .....	68~70	<b>1. 分解作業前の準備</b> .....	94
ユニットの組合せとJISの適合について .....	71	<b>2. ヘッドボードとフットボードの取外し</b> .....	95
<b>3 ベッドの組立方法</b> .....	72	2-1.ヘッドボードの取外し .....	95
<b>1. 脚座の取付け</b> .....	72・73	2-2.フットボードの取外し .....	95
<b>2. 足側フレームの取付け</b> .....	73~75	<b>3. マットレス止めの取外し</b> .....	95
<b>3. 頭側フレームの取付け</b> .....	76	3-1.マットレス止め (小) の取外し .....	95
<b>4. ケーブル・コード類の配線</b> .....	77	3-2.マットレス止め (足側) の取外し .....	96
4-1.背アクチュエーターの配線 .....	77・78	<b>4. ボトムsの取外し</b> .....	96
4-2.ハイローアクチュエーターの配線 .....	78	4-1.膝・足ボトムsの取外し .....	96・97
4-3.電源コードの配線 .....	79	4-2.背ボトムsの取外し .....	97
4-4.手元スイッチコードの配線 .....	80	<b>5. 背膝連動幹の付替え (  のみ )</b> .....	98
<b>5. 背膝連動幹の付替え (  のみ )</b> .....	80・81	<b>6. ケーブル・コード類の配線の取外し</b> .....	99
<b>6. ボード受金具の調節</b> .....	82	6-1.ハイローアクチュエーターの配線の取外し...	99
<b>7. ボトムsの取付け</b> .....	83	6-2.背アクチュエーターの配線の取外し .....	100
7-1.背ボトムsの取付け .....	83	<b>7. 頭側フレームの取外し</b> .....	101
7-2.膝・足ボトムsの取付け .....	84	<b>8. 足側フレームの取外し</b> .....	102
<b>8. マットレス止めの取付け</b> .....	85	<b>9. 脚座の取外し</b> .....	103
8-1.マットレス止め (小) の取付け .....	85	<b>10. 付属部品と分解したユニットの保管</b> .....	103
8-2.マットレス止め (足側) の取付け .....	86	<b>アフターサービス</b> .....	104
<b>9. ヘッドボードとフットボードの取付け</b> .....	87		
9-1.ヘッドボードの取付け.....	87		
9-2.フットボードの取付け .....	87		

1

2

3

4


5

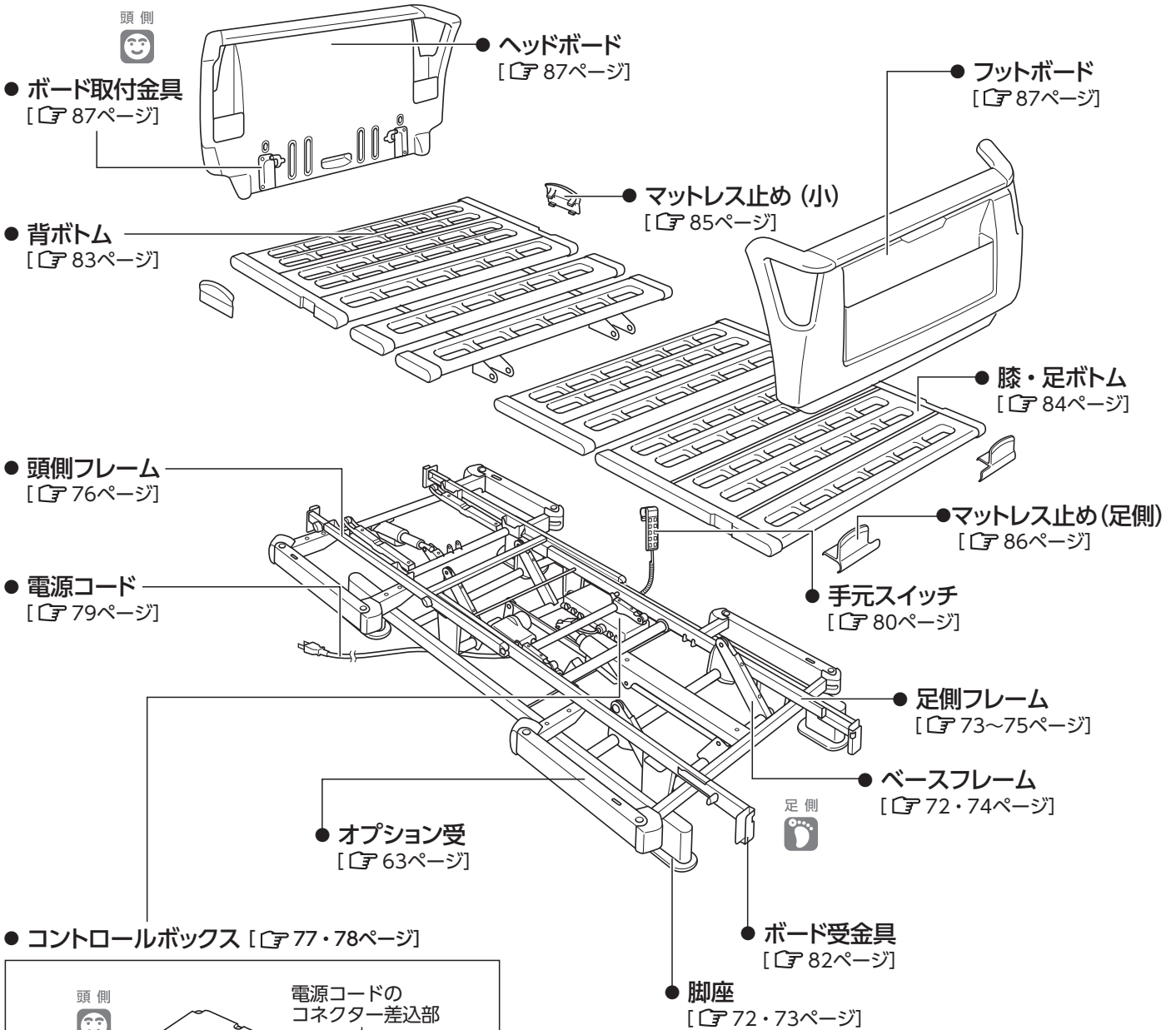
組立・分解方法

アフターサービス

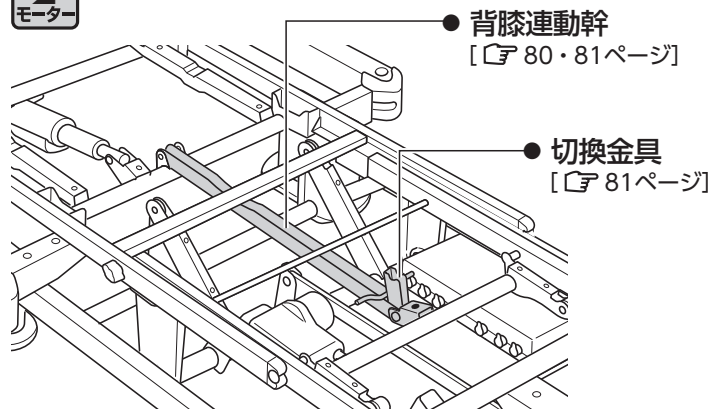
# 1 各部の名称

※イラストは **3** モーター で示しています。

 このマークの数字は、説明のあるページを示しています。



**2** モーター



# 2 梱包部品の確認

## 梱包部品の確認

■開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または直接弊社までご連絡ください。

### 注意

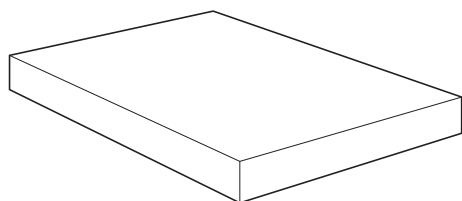
- 重量のあるユニットを用いてベッドを組立てたり、移動したりするときは、2人以上で作業を行ってください。背や腰などを痛めるおそれがあります。
- 組立ての際には、ユニット同士やユニットの可動部で、手や指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

※ ( ) 内の数字は、梱包材を含む質量です。

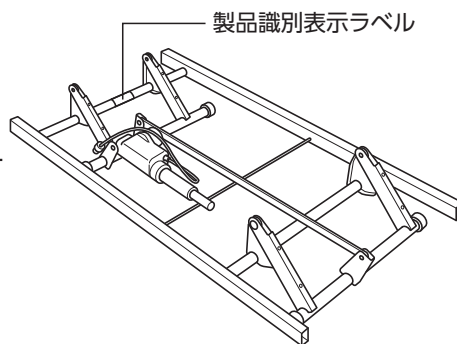
## ① ベースフレーム

Q61000V

17.5kg  
(22kg)



156×70×20 (cm)



2 梱包部品の確認


付属品	組立付属部品		
<p>取扱説明書×1 すき間および電装品についての注意事項×1 保証書×1</p>	<p>リンク受キャップ×4</p>	<p>曲げスナップピン (小)×6</p>	<p>曲げなしスナップピン(黄)×1 ※以下、「スナップピン(黄)」と記載します</p>
脚座×4		<p>連結ピン(小)×1</p>	<p>連結ピン(大)×2</p>
		<p>ノブボルト×2</p>	<p>プッシュリベット×4</p>

■曲げスナップピンは、(大) (小) 2種類あります。

●曲げスナップピン(小)  
組立付属部品として使用します



●曲げスナップピン(大)

 の足側フレームに付属しています  
背膝連動幹の付替えの際に使用します



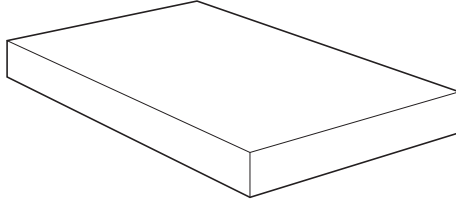
## 2 梱包部品の確認

### ②足側フレーム

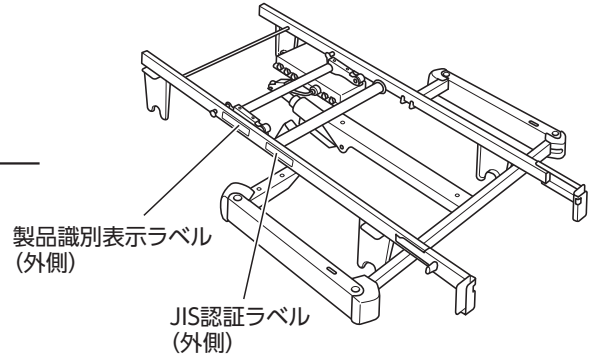
3  
モーター

Q63200F・Q63201F

19kg  
(23kg)



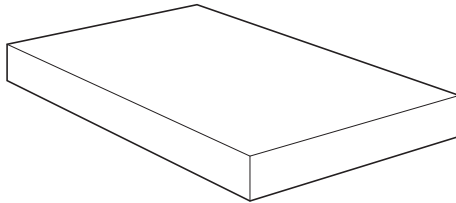
123×104×24 (cm)



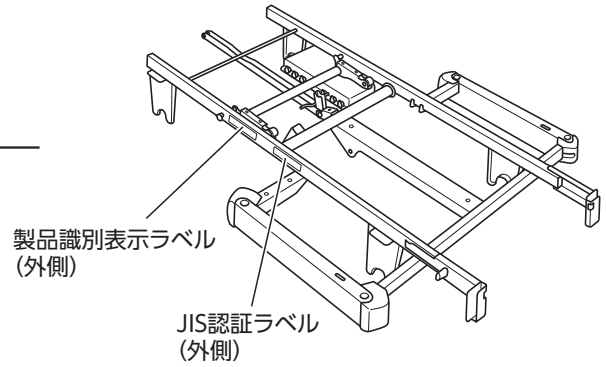
2  
モーター

Q62200F・Q62201F

18kg  
(22kg)



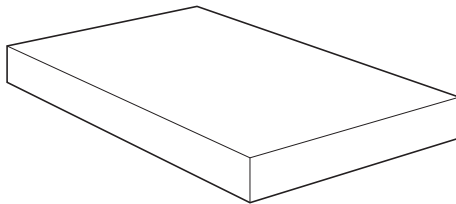
123×104×24 (cm)



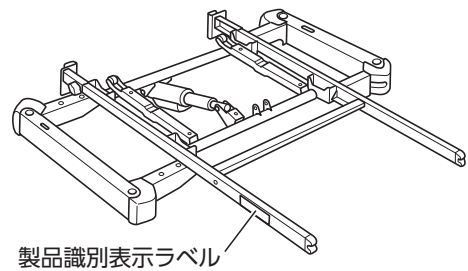
### ③頭側フレーム

Q61200H

15kg  
(19kg)



109×104×21 (cm)



## ④ボトム

ミニ

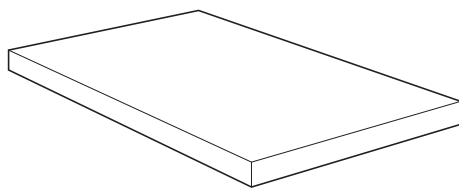
レギュラー

Q60200U

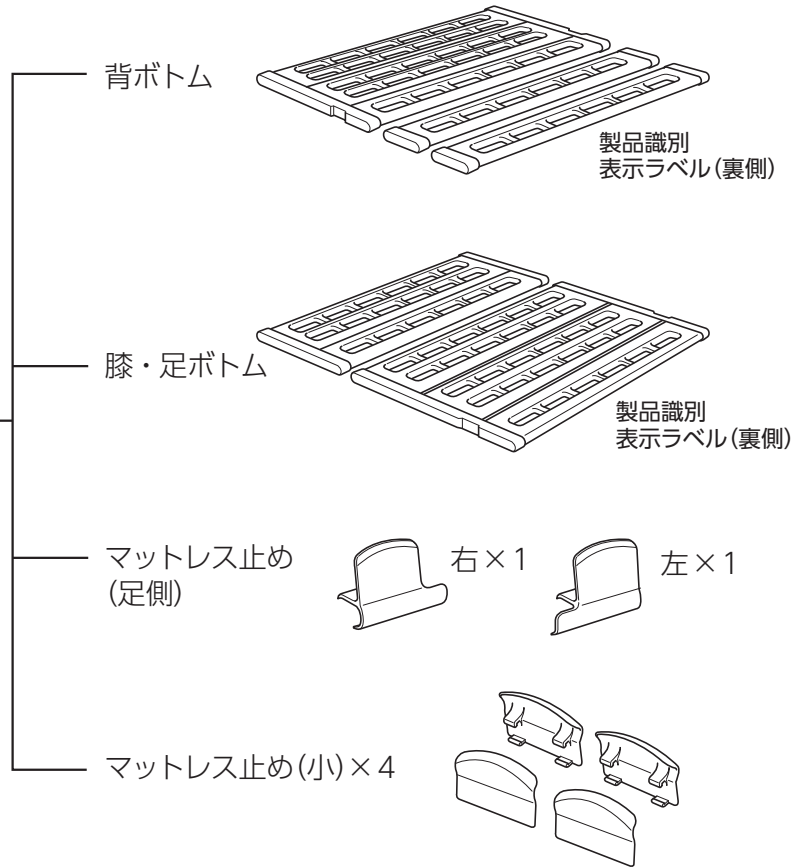
20kg  
(22.5kg)

Q60300U

21kg  
(23.5kg)



102×93×15 (cm) [Q60200U]  
107×93×15 (cm) [Q60300U]



## ⑤ボードセット

樹脂

木製

Q60200B

9kg  
(10kg)

Q60210B

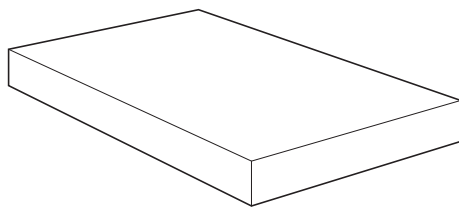
9kg  
(10kg)

Q60220B

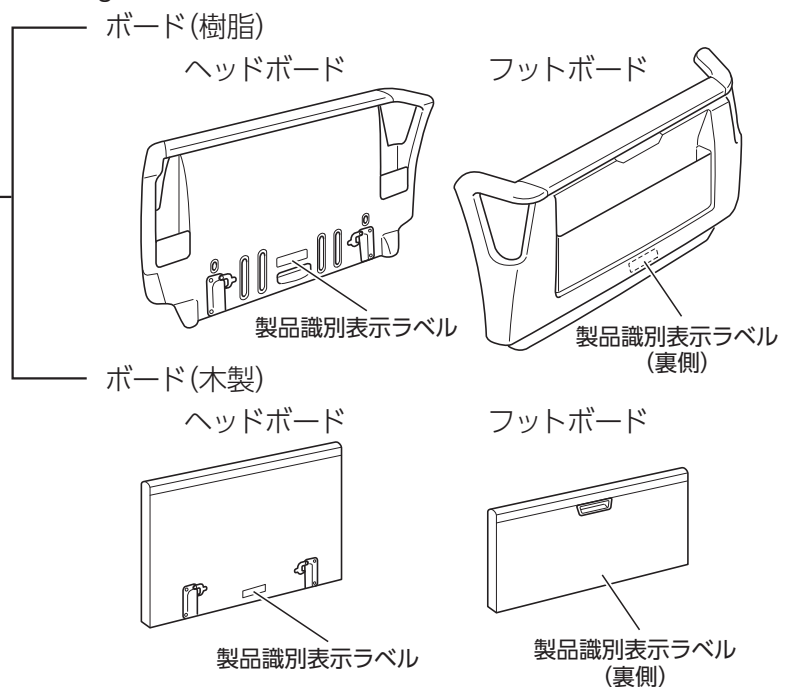
9kg  
(10kg)

Q60230B

10kg  
(12kg)



93 × 54 × 18 (cm) [Q60200B]  
93 × 54 × 18 (cm) [Q60210B]  
93 × 54 × 18 (cm) [Q60220B]  
100 × 60 × 11 (cm) [Q60230B]



## 2 梱包部品の確認

### ユニットの組合せとJISの適合について

下表のユニットの組合せでJIS認証を取得しています。下表の組合せ以外では使用しないでください。下表の組合せ以外の場合は、JIS認証を取得していない状態となります。

オプションについては、「**7** 適合オプション」(44～50ページ)を参照してください。



**警告**

ベッドは正しいユニットの組合せを確認した上で組立ててください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。各ユニットの番号は、段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

3 モーター	レギュラー				ミニ			
	KQ-63300	KQ-63310	KQ-63320	KQ-63330	KQ-63200	KQ-63210	KQ-63220	KQ-63230
ベースフレーム	Q61000V							
足側フレーム*	Q63200F/Q63201F							
頭側フレーム	Q61200H							
ボトム	Q60300U				Q60200U			
ボード	Q60200B	Q60210B	Q60220B	Q60230B	Q60200B	Q60210B	Q60220B	Q60230B

2 モーター	レギュラー				ミニ			
	KQ-62300	KQ-62310	KQ-62320	KQ-62330	KQ-62200	KQ-62210	KQ-62220	KQ-62230
ベースフレーム	Q61000V							
足側フレーム*	Q62200F/Q62201F							
頭側フレーム	Q61200H							
ボトム	Q60300U				Q60200U			
ボード	Q60200B	Q60210B	Q60220B	Q60230B	Q60200B	Q60210B	Q60220B	Q60230B

※ 足側フレームは、Q6\*\*\*0FまたはQ6\*\*\*1Fのいずれかを組合せてください。

# 3 ベッドの組立方法

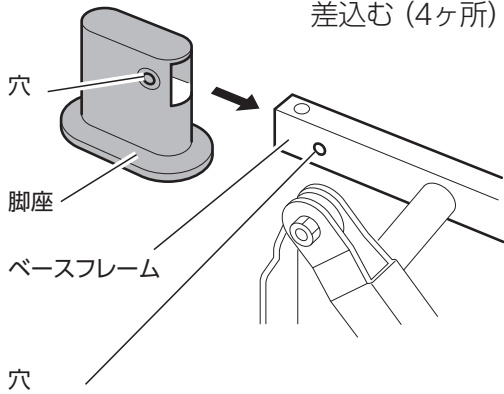
## 1.脚座の取付け

### 警告

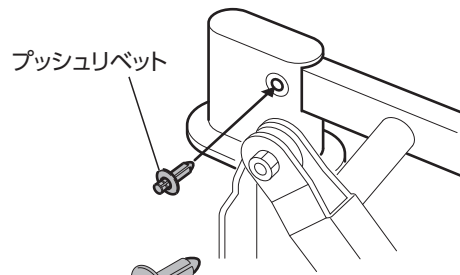
- ベースフレームのロッドを持って運搬や組立てを行わないでください。けがや破損の原因となります。
- プッシュリベットで脚座を確実に固定してください。固定されていない場合、脚座が外れてけがや破損の原因となります。
- すべりやすいゆか材（フローリングなど）の上で使用する場合は、脚座またはキャスターKQ-39A（別売）の下に敷物（脚座ゴムシートKQ-P732：別売など）を敷いてください。使用中にベッドが不意に動き、転倒してけがをするおそれがあります。

① 組立前に16ページの【3 設置上の注意】に従い、ベッドの配置を決める

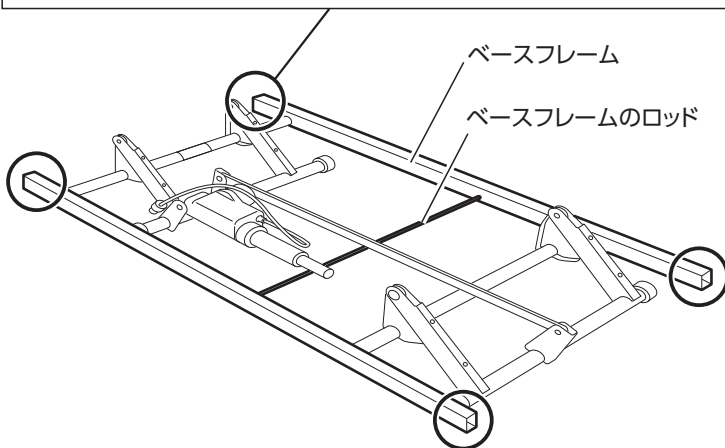
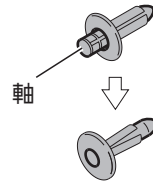
② ベースフレームを持ちながら、差込む（4ヶ所）



③ プッシュリベットを差込む（4ヶ所）



④ 「カチッ」と音がするまで軸を押込む（4ヶ所）



- キャスターを使用する場合は、脚座の取付けは不要です。
- 脚座には左右があります。穴のあいている方を内側にしてください。

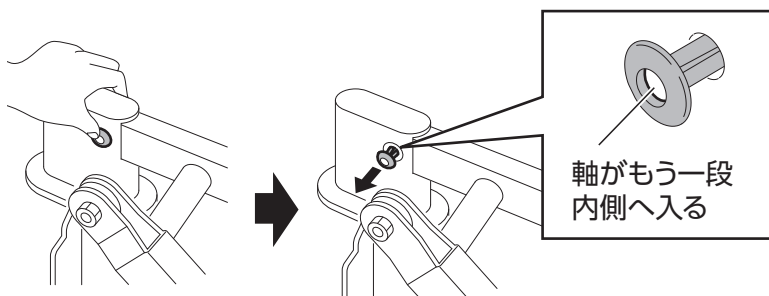
### 注意

畳やじゅうたんなどの上で長期間使用する場合は、脚座またはキャスターKQ-39A（別売）の下に敷物（脚座ゴムシートKQ-P732：別売など）を敷いてください。畳やじゅうたんなどがへこむおそれがあります。

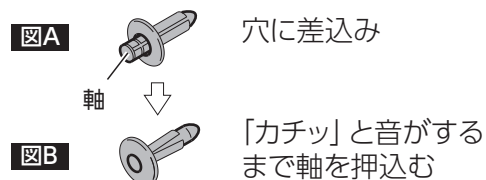
## 3 ベットの組立方法

### プッシュリベットを外すときは

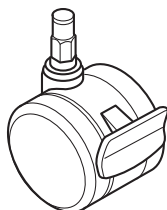
- 「カチッ」と音がするまで指で軸をさらに押込む。固定が解除されるので、そのまま抜き取る。
- ※指で押込めない場合は、押し込み過ぎないように注意しながらドライバーなどで軽く押込む。
- ※再度取付ける際は、図Aの状態にもどす。



### ※プッシュリベットを取付けるときは



### キャスターKQ-39A (別売) の取付け



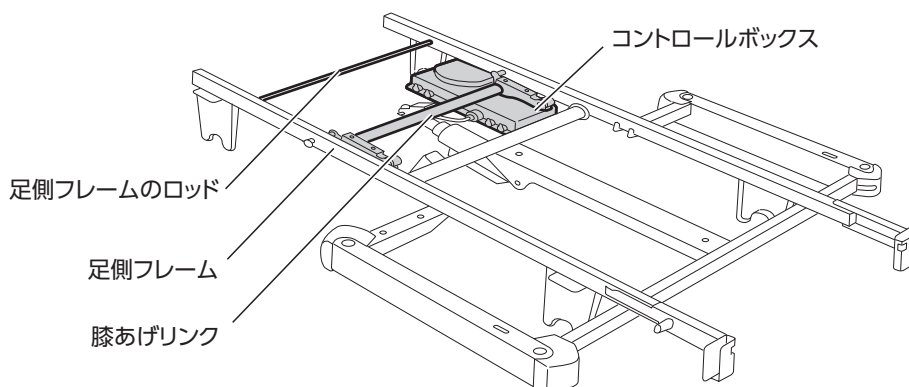
キャスターを取付ける場合は、脚座・プッシュリベットを使用しませんので、紛失しないように保管してください。

- キャスターの取扱説明書に従って、正しく取付けてください。
- ボトム上面までの高さは、脚座を取付けた場合と変わりません。

## 2.足側フレームの取付け

### 注意

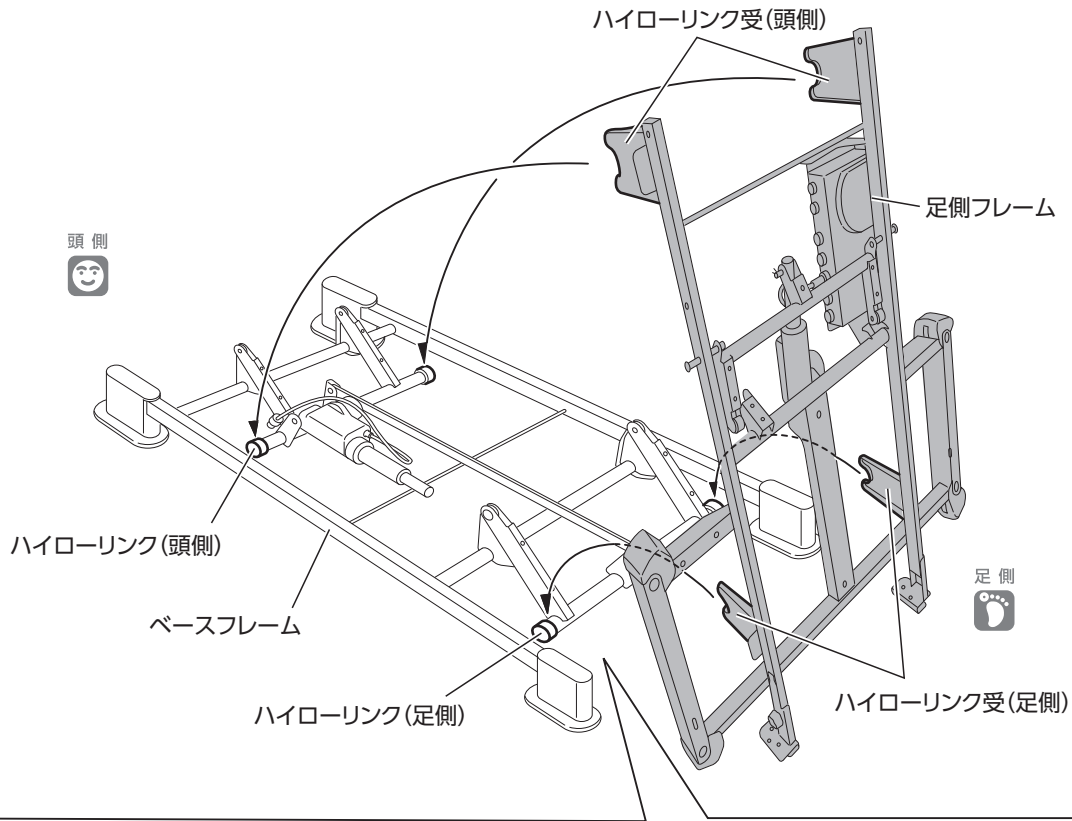
- 持ち運びや組立てをするときは、膝あげリンクやコントロールボックス周辺部や足側フレームのロッドを持たないでください。けがや破損の原因となります。
- 足側フレームをゆかに置くときは、ゆかを傷つけないように注意してください。



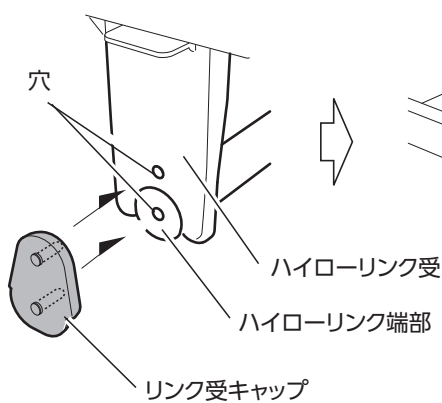
① ハイローリンク受をハイローリンクの上にゆっくり倒しながら載せる (4ヶ所)



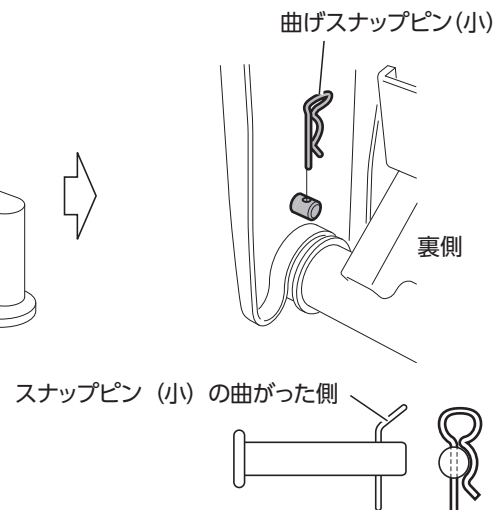
足側から載せ、ゆっくり倒して頭側を載せると楽に作業ができます。



② リンク受キャップを穴に差込む (4ヶ所)



③ 固定する (4ヶ所)

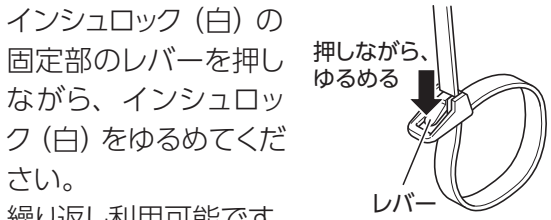


**警告**

リンク受キャップは奥まで差込み、裏側で曲げスナップピン(小)を確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをしますおそれがあります。

# 3 ベッドの組立方法

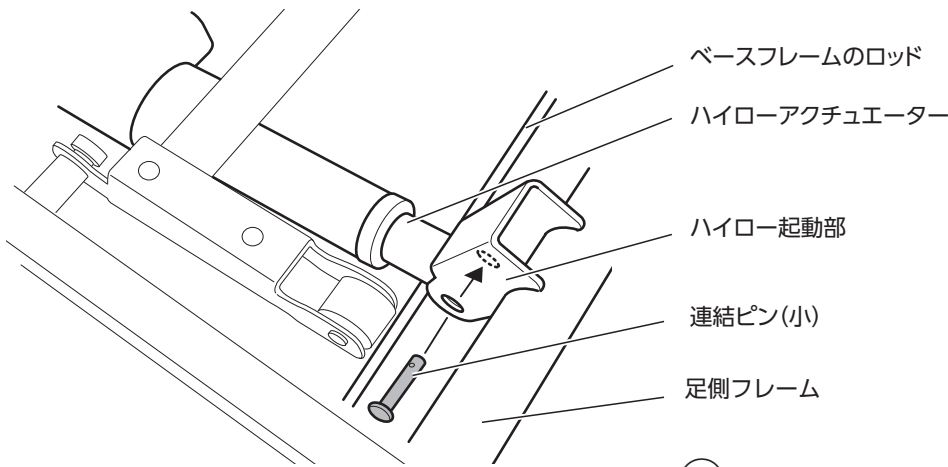
**インシュロック (白) の外しかた**  
 インシュロック (白) の固定部のレバーを押しながらか、インシュロック (白) をゆるめてください。  
 繰り返し利用可能です。



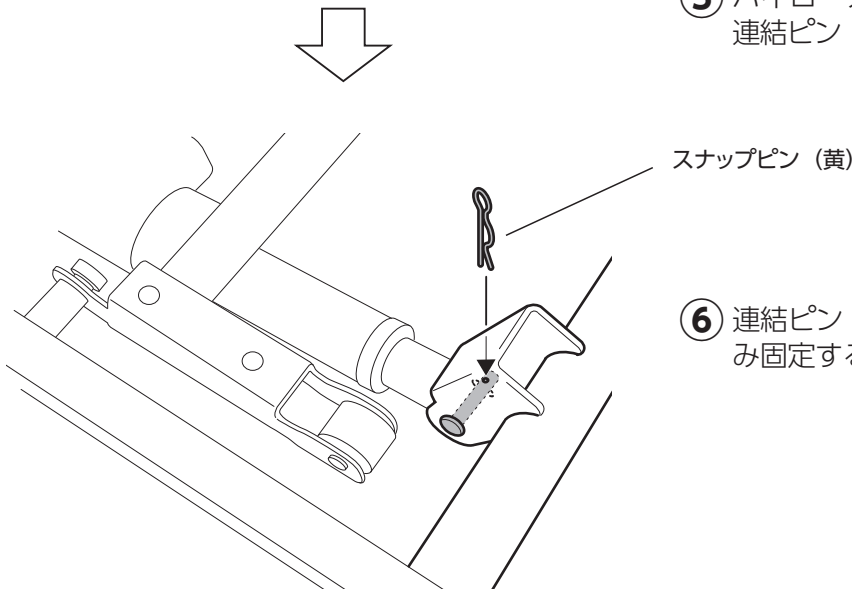
④ ハイローアクチュエーターとベースフレームのロッドを固定しているインシュロック (白) を外す



- 外したインシュロック (白) は再利用しますので大切に保管してください。
- ハイローアクチュエーターケーブルを束ねているインシュロック (黒) は外さないでください。



⑤ ハイローアクチュエーターとハイロー起動部を連結ピン (小) で連結する



⑥ 連結ピン (小) の穴にスナップピン (黄) を差込み固定する

**警告**

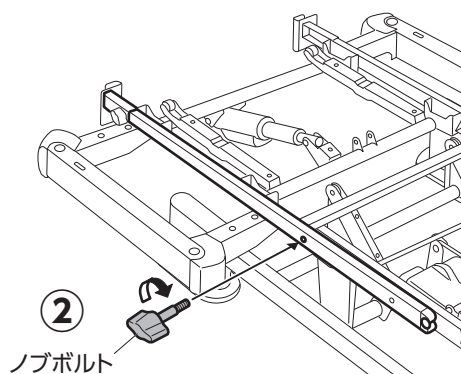
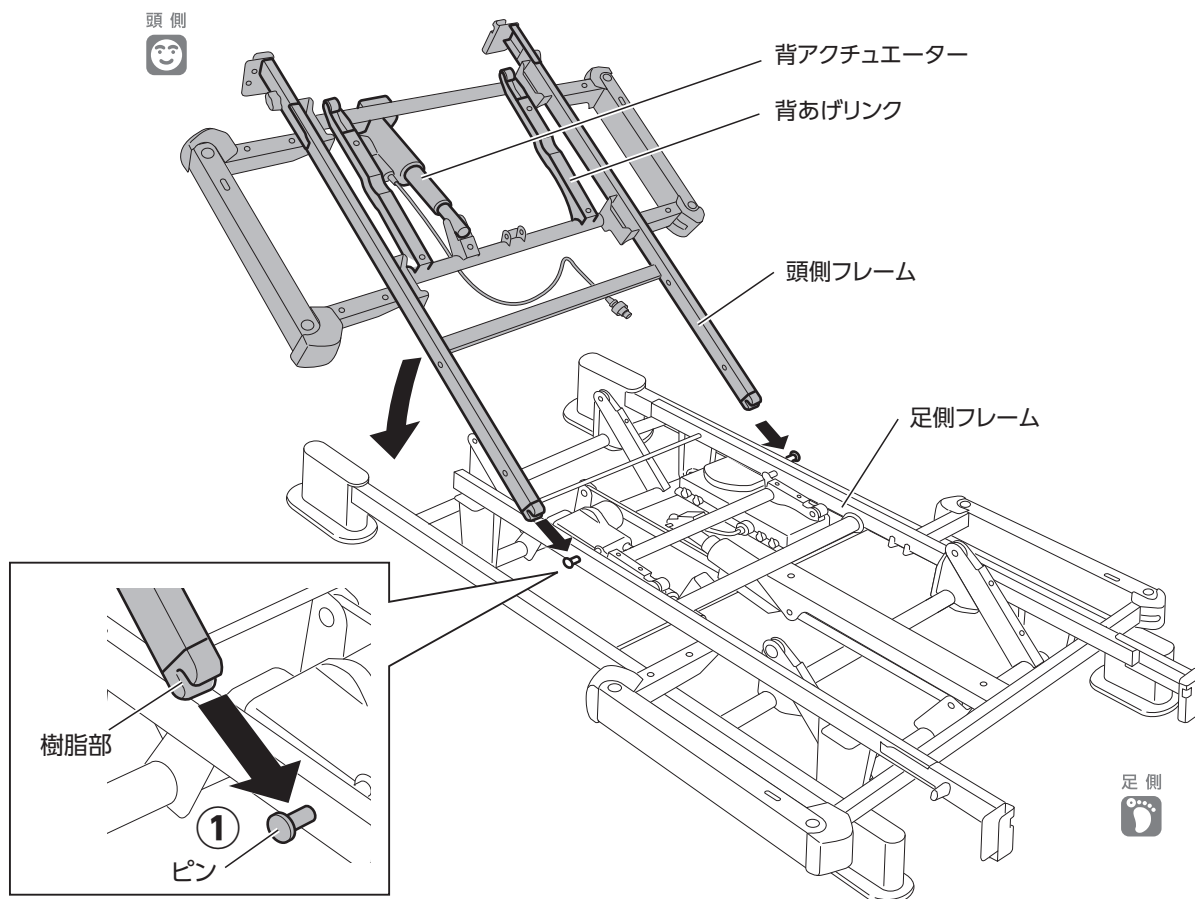
連結ピン (小) はしっかりと差込み、右図のように裏面でスナップピン (黄) を確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。



### 3. 頭側フレームの取付け

#### 注意

持ち運びや組立てをするときは、背アクチュエーターや背あげリンクなどを持たないでください。ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。



- ① 頭側フレームの樹脂部を足側フレームのピンにあわせて、足側フレームの上に乗せる (2ヶ所)
- ② ノブボルトで頭側フレームを足側フレームに固定する (左右各1ヶ所)

#### 警告

ノブボルトは確実に締付けてください。ノブボルトがゆるんでいるとベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

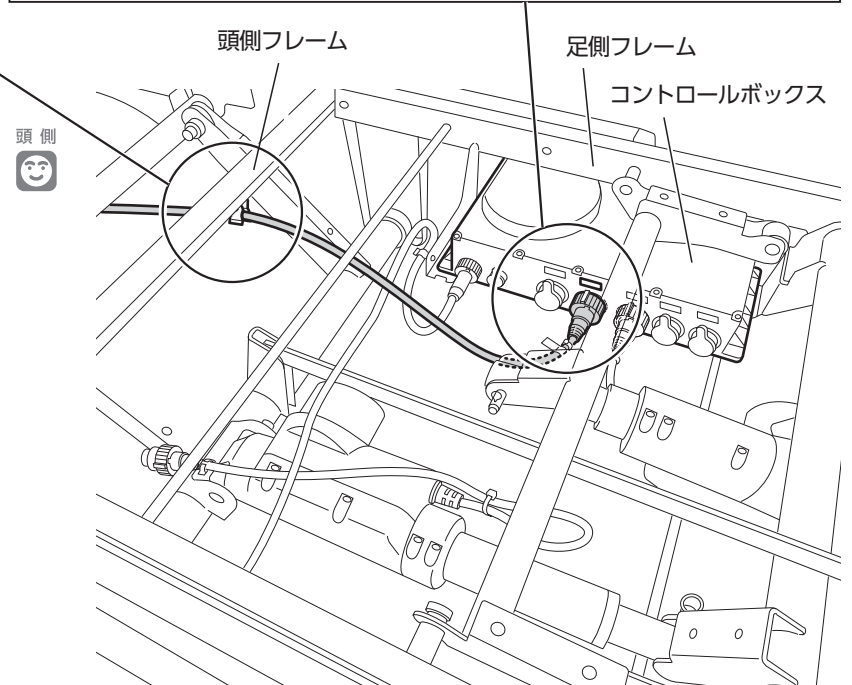
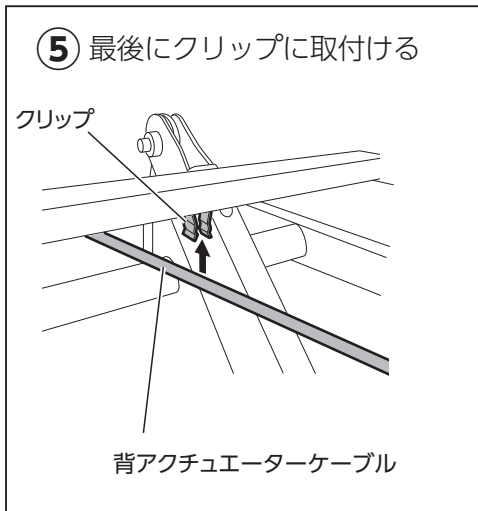
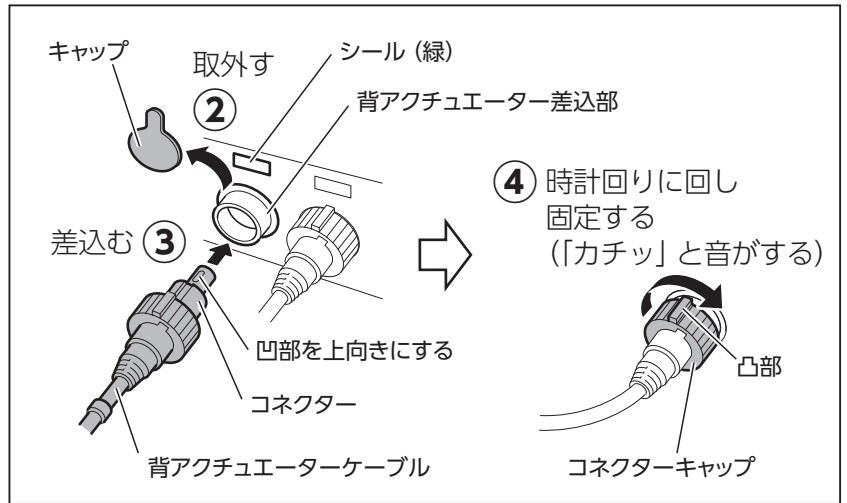
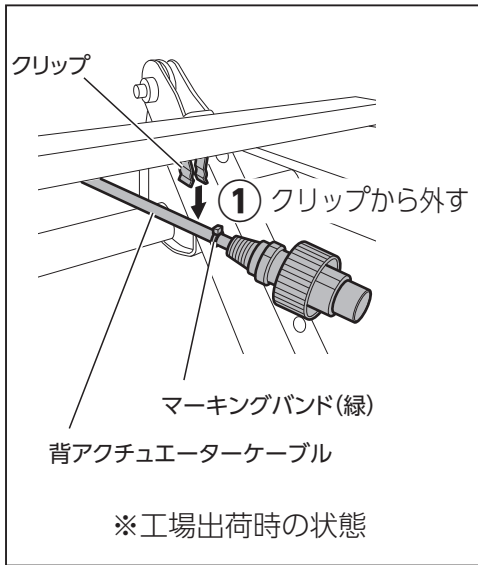
# 3 ベッドの組立方法

## 4. ケーブル・コード類の配線

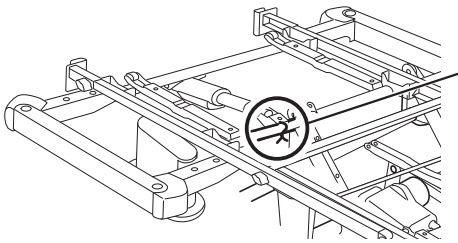
### 注意

- ケーブルは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。
- コネクター部をぶついたり、無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。

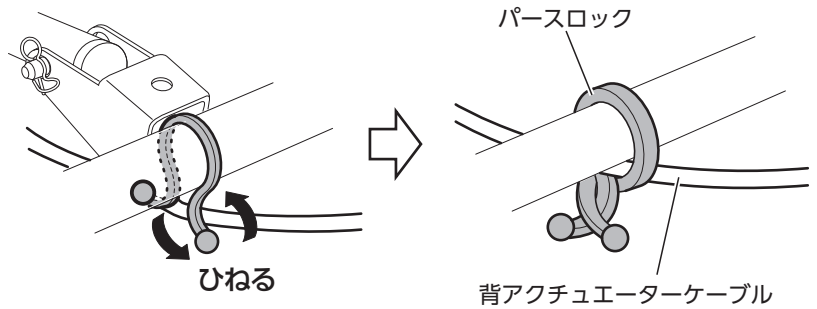
### 4-1. 背アクチュエーターの配線



取外したキャップは、紛失しないように保管してください。



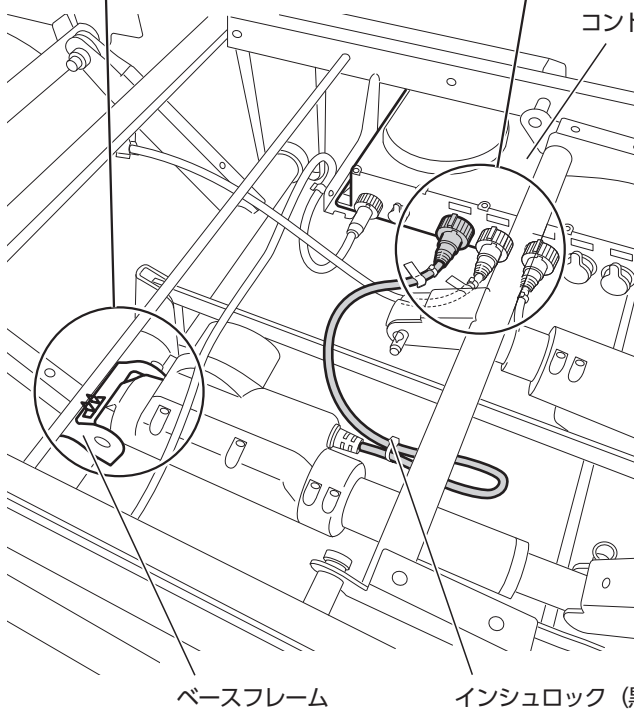
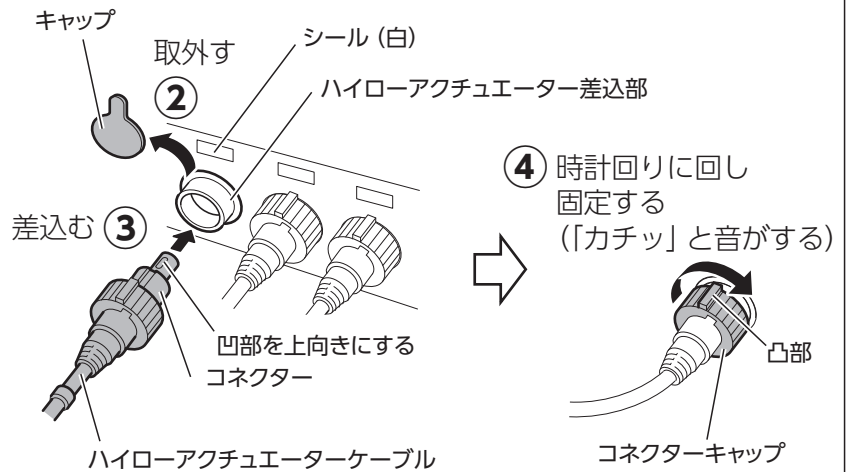
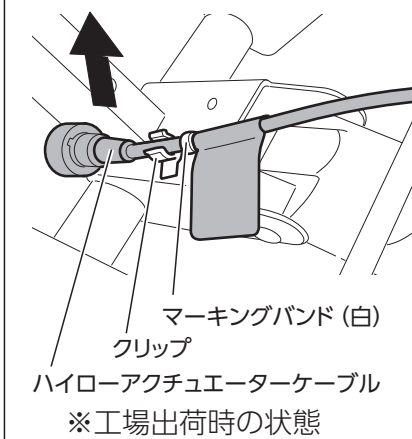
⑥ ケーブルの固定を確認する (パースロックが外れていないか確認する)



※外れている場合は必ず固定する

## 4-2.ハイローアクチュエーターの配線

① クリップから外す



- ハイローアクチュエーターケーブルを束ねているインシュロック (黒) は外さないでください。
- 取外したキャップは、紛失しないように保管してください。



# 3 ベッドの組立方法

## 4-3.電源コードの配線

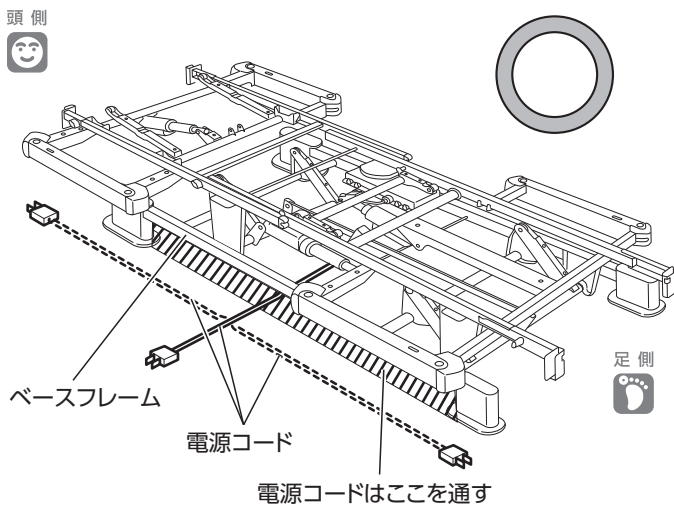
■コンセントの方向にあわせて配線してください。

### 警告

電源コードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。電源コードが破損すると感電・火災のおそれがあります。

- 電源コードは、ベースフレームの上側を通したり内側に入り込んだりしないように配線してください。
- 電源コードは、脚座やキャスターなどで踏まないように配線してください。
- 電源コードは、ベッドの高さを最高高さまであげた状態でも突っ張らないように配線してください。
- ベッドの可動部（背あげリンク・膝あげリンク・ハイローリンク）にはさまれたり、掛かったりしないように配線してください。
- ベッドの内側に電源コードのたるみがないように配線してください。
- 組立て作業中は電源プラグをコンセントに差込まないでください。誤操作によりベッドが動作して、けがをするおそれがあります。

### 正しい例

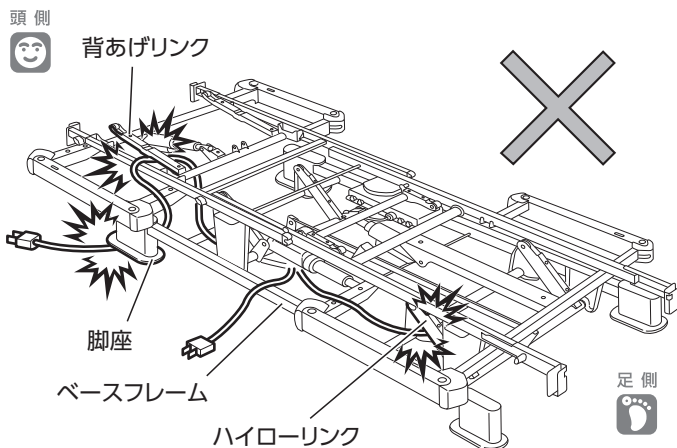


電源コードを、ベースフレームの角パイプの下側を通してベッド外側に出してください。



余ったコードがベースフレームの内側に入り込まないように、注意して配線してください。

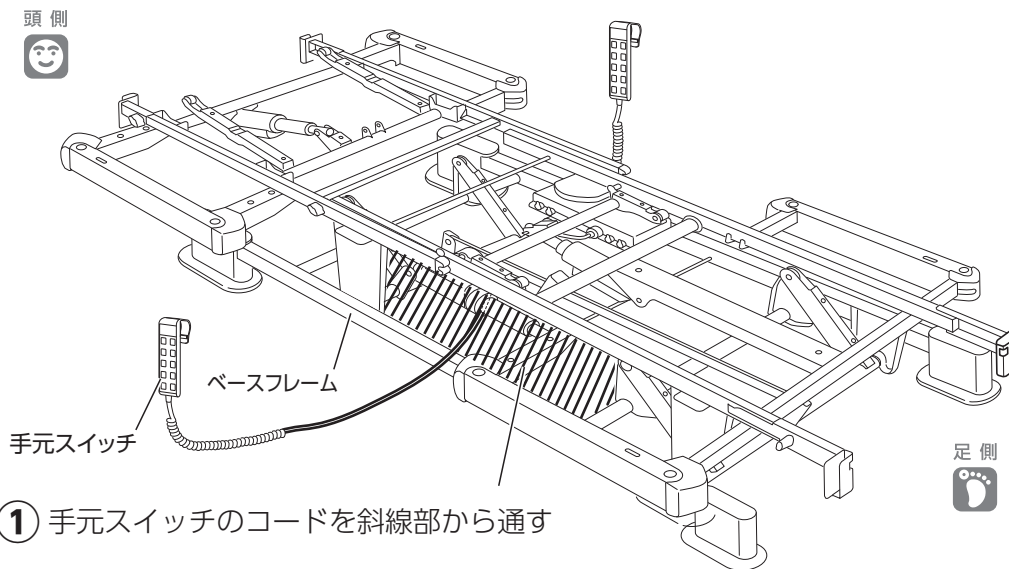
### 誤った例



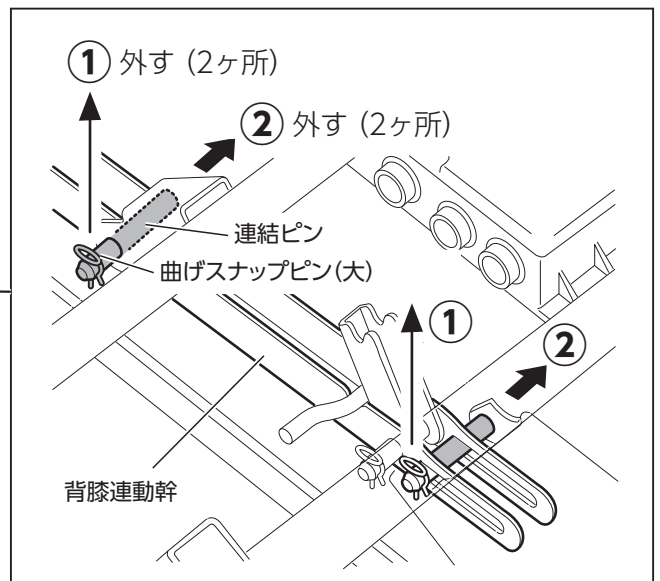
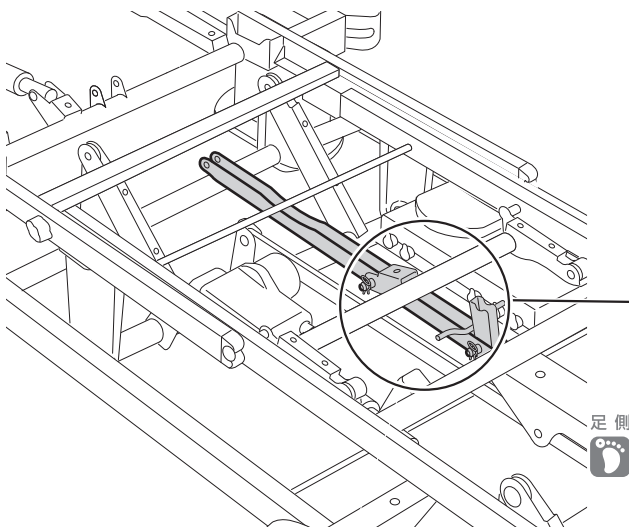
#### 4-4.手元スイッチコードの配線

### 注意

- 手元スイッチコードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。
- ベッドの可動部（背あげリンク・膝あげリンク・ハイローリンク）にはさまれたり、掛かったりしないように配線してください。
- 脚座やキャスターで踏まないように配線してください。



### 5.背膝連動幹の付替え (2モーターのみ)



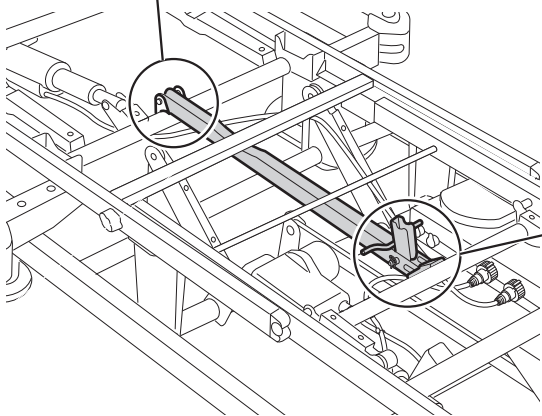
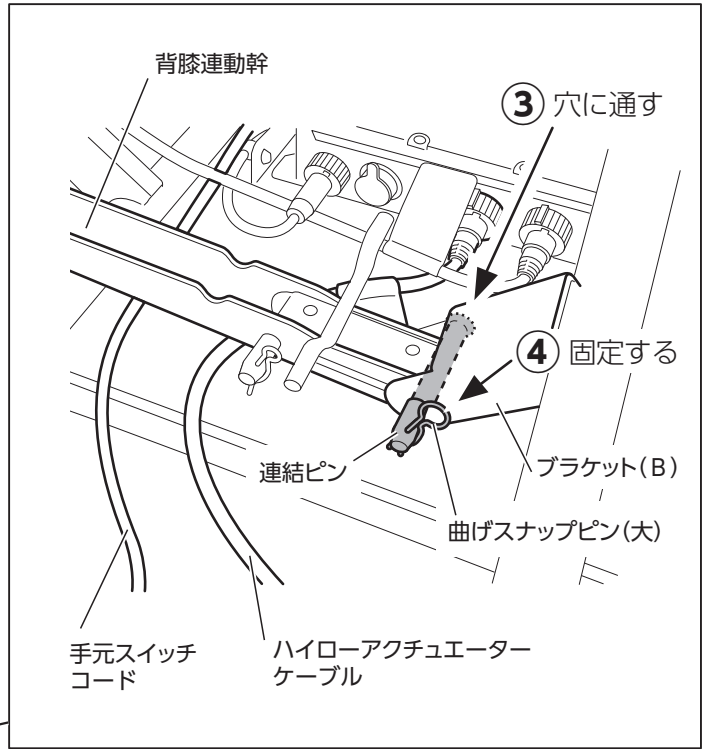
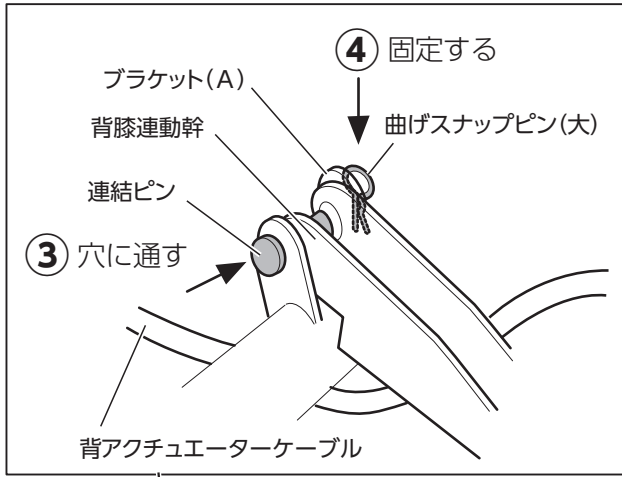
- ① 曲げスナップピン (大) を外す (2ヶ所)
- ② 連結ピンを外す (2ヶ所)



連結ピンを外すときは、背膝連動幹を手で支えてください。

# 3 ベッドの組立方法

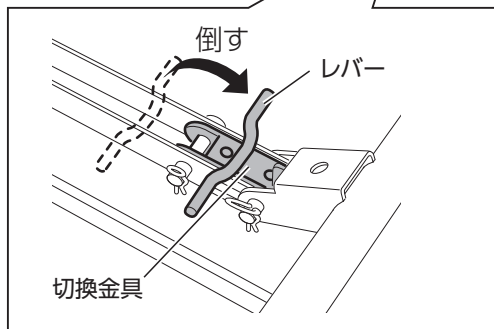
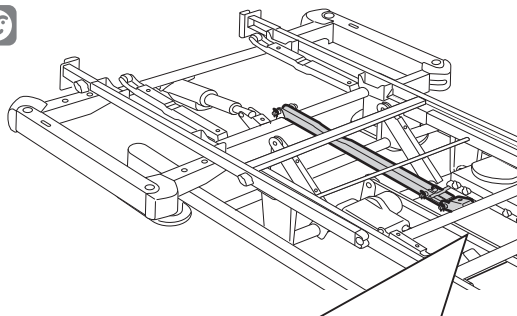
- ③ 取外した連結ピンを図のように穴に通す (2ヶ所)
- ④ 取外した曲げスナップピン (大) で固定する (2ヶ所)



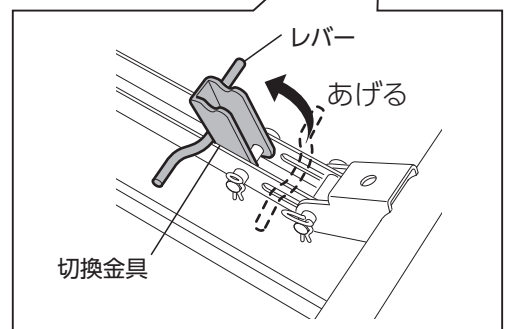
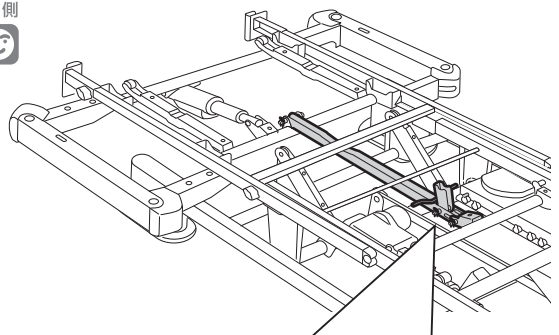
背膝連動幹は手元スイッチコードと各アクチュエーターケーブルの上を通してください。

■ご使用状態にあわせて、「背膝連動」または「背あげのみ」に設定してください。  
 切り換え方法は30・31ページ「背膝連動／背あげの切り換えかた」を参照してください。

## 背膝連動



## 背あげのみ



## 6. ボード受金具の調節

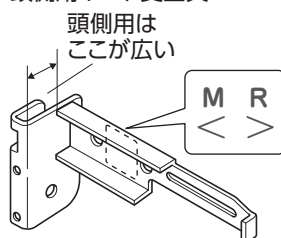
■お使いになるベッドの長さ（レギュラー・ミニ）にあわせて、ボード受金具の取付位置を調節してください。

- ボード受金具には頭側用と足側用があります。作業を行う際は、ボード受金具のラベルをよく確認し、正しく取付けてください。  
※あし側のみラベルが貼られています。

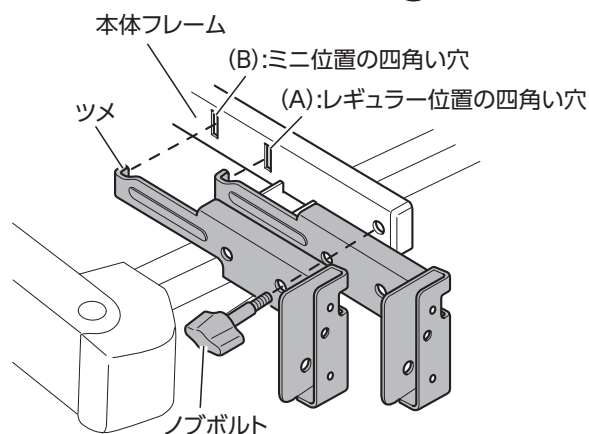
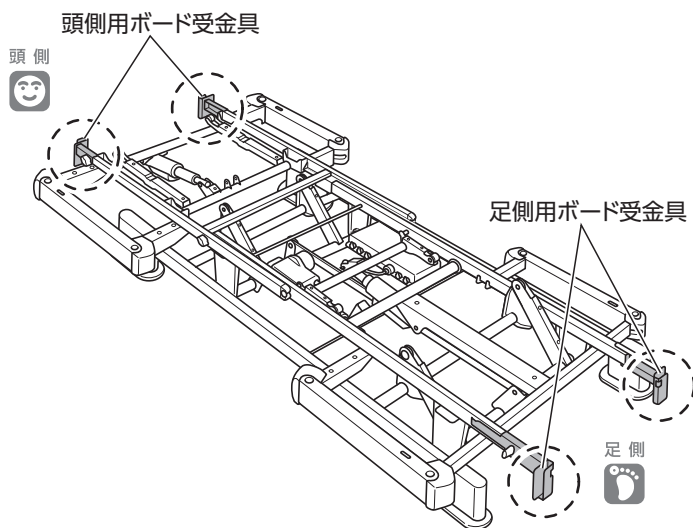
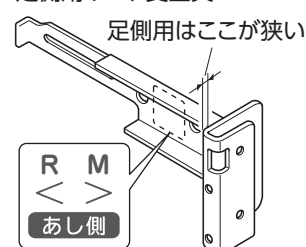
### 【刻印】

Rはレギュラー、Mはミニのノブボルト取付位置を示しています。

頭側用ボード受金具



足側用ボード受金具



※イラストは足側を示しています。

※工場出荷時は、ボード受金具は頭側、足側ともにミニ位置に設定されています。

**注記** ボード受金具の位置調節は、4ヶ所（頭側、足側の左右各1ヶ所）すべてについて行ってください。

- ① 調節が不要な場合は、ボード受金具のツメが本体フレームの四角い穴に入った状態でノブボルトがしっかりと固定されていることを確認してください。（4ヶ所）
- ② 調節が必要な場合は、ノブボルトを取外し、ボード受金具を本体フレームから取外してください。
- ③ お使いになるベッドサイズにあわせて、ボード受金具のツメを本体フレームの(A)・(B)いずれかの四角い穴に差込んでください。  
【レギュラーの場合】  
ボード受金具のツメ位置→(A)  
【ミニの場合】  
ボード受金具のツメ位置→(B)
- ④ ボード受金具をノブボルトでしっかりと固定してください。（4ヶ所）

### 警告

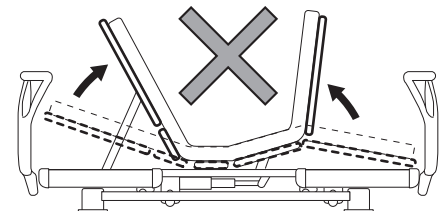
- ボード受金具はベッドの長さ（レギュラー・ミニ）にあわせて正しく設定してください。誤った設定で使用すると、ボトムとボードの間に意図せぬすき間ができる場合があります、けがをするおそれがあります。
- ノブボルトは確実に締付けてください。ノブボルトがゆるんでいると、ボードががたついたり落下したりして、けがをするおそれがあります。

# 3 ベッドの組立方法

## 7.ボトムを取付け

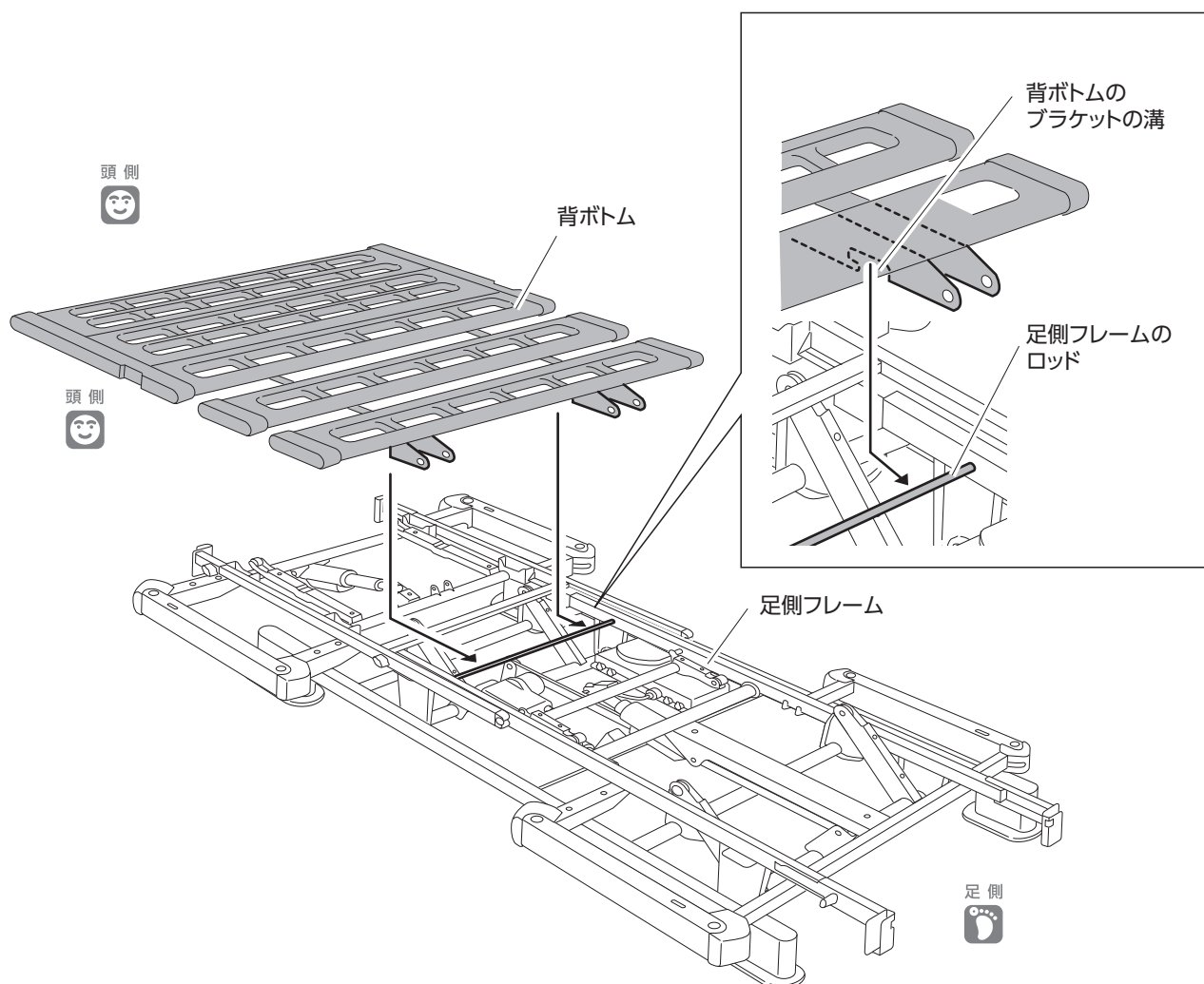
### 注意

背ボトム、足ボトムを持ちあげて逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。破損・変形のおそれがあります。



### 7-1.背ボトムの取付け

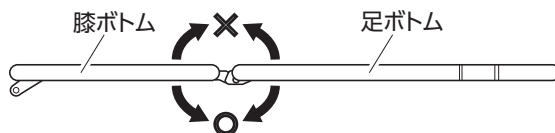
図のように背ボトムのブラケットの溝を、足側フレームのロッドに差込んでください。



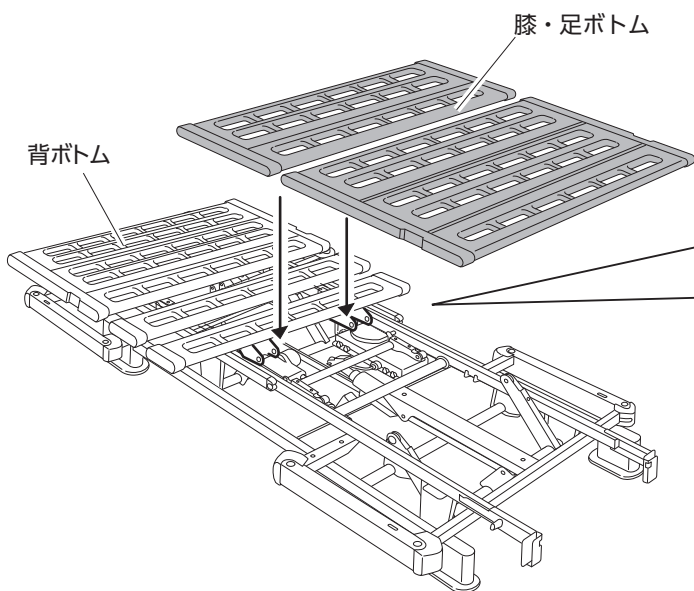
## 7-2.膝・足ボトムを取付け

### 注意

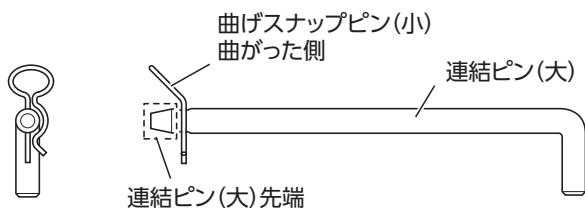
膝ボトム・足ボトムを逆向きに折りたたまないでください。破損・変形するおそれがあります。



- ① 膝・足ボトムのブラケットを背ボトムのブラケットの内側に入れ、それぞれの穴位置があうように膝・足ボトムを載せる



- ② 背ボトムのブラケットの穴に連結ピン (大) を外側から差し込み膝・足ボトムを連結する
- ③ 連結ピン (大) の穴に曲げスナップピン (小) を差し込み固定する



### 警告

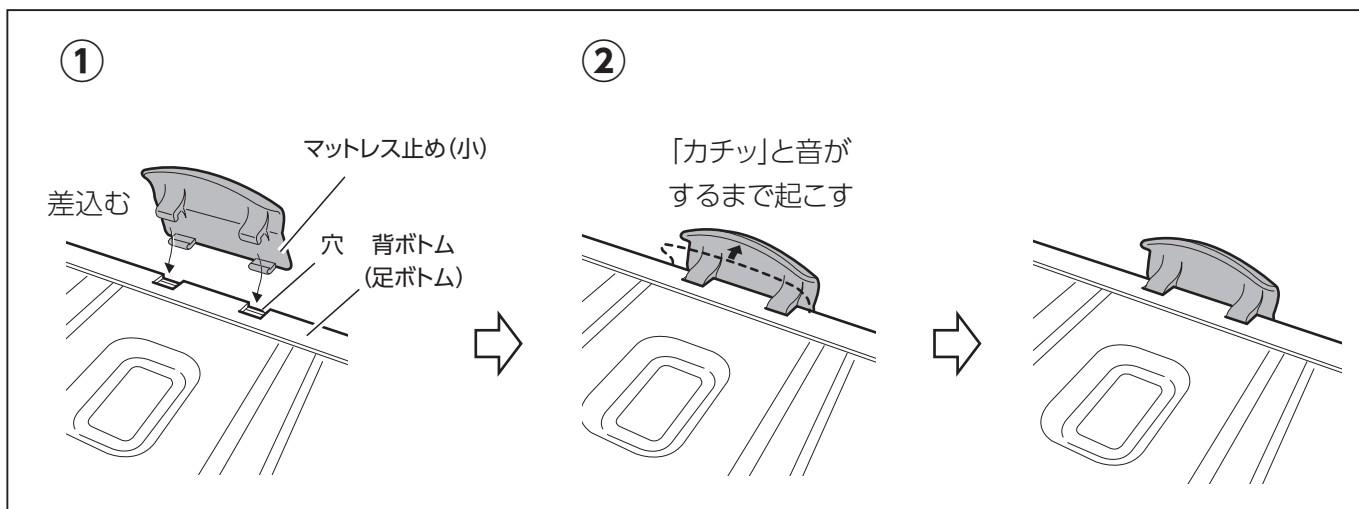
連結ピン (大) はしっかりと差し込み、曲げスナップピン (小) を確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

# 3 ベッドの組立方法

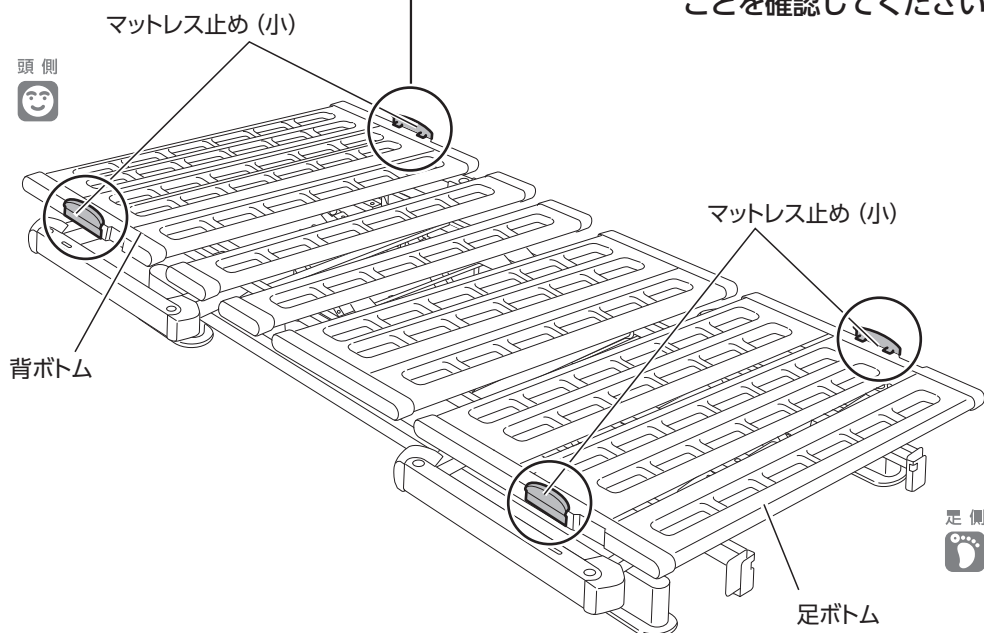
## 8. マットレス止めの取付け

### 8-1. マットレス止め (小) の取付け

- ① マットレス止め (小) を背ボトムと足ボトムの両端の穴に、斜めに差込む (4ヶ所)
- ② マットレス止め (小) を「カチッ」と音がするまで起こす



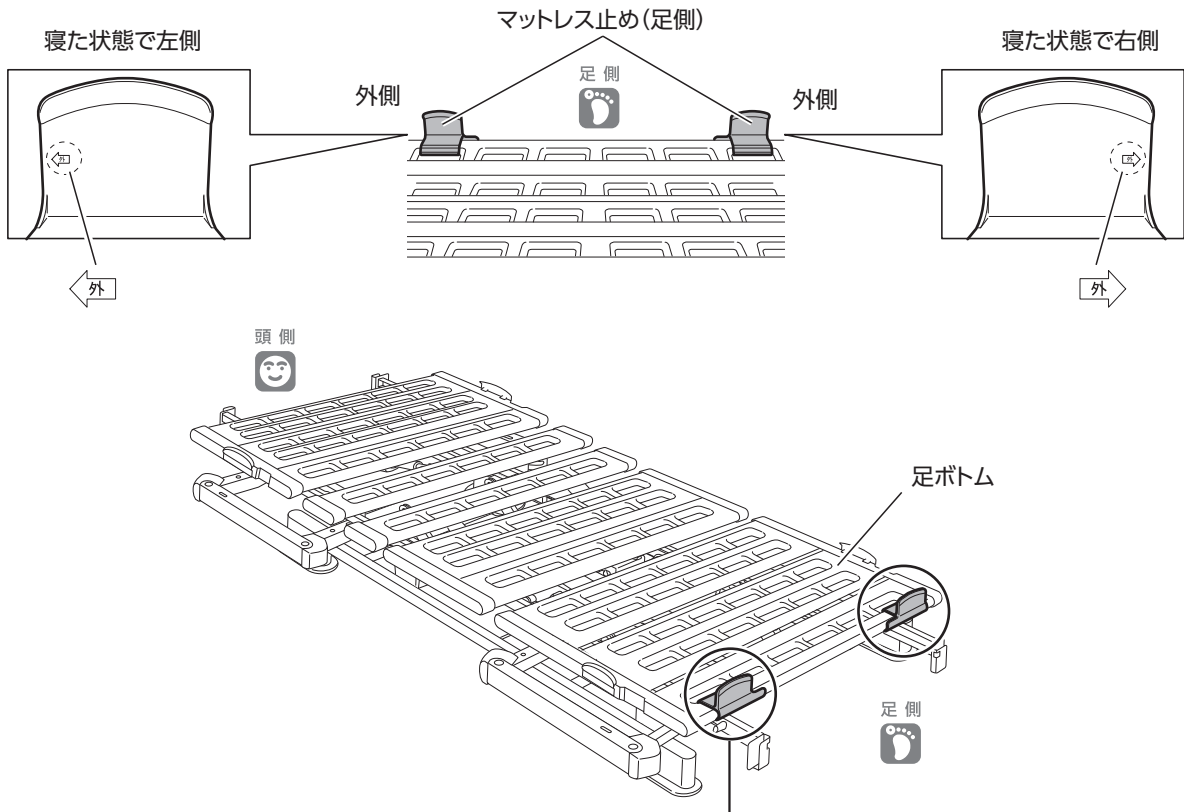
注記 マットレス止め (小) の取付け後、内から外へ軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。



## 8-2. マットレス止め (足側) の取付け

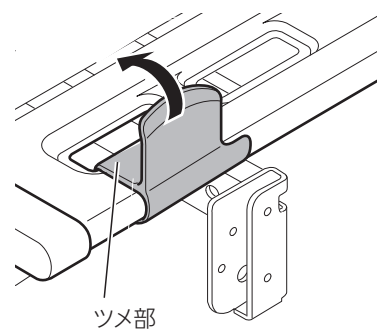
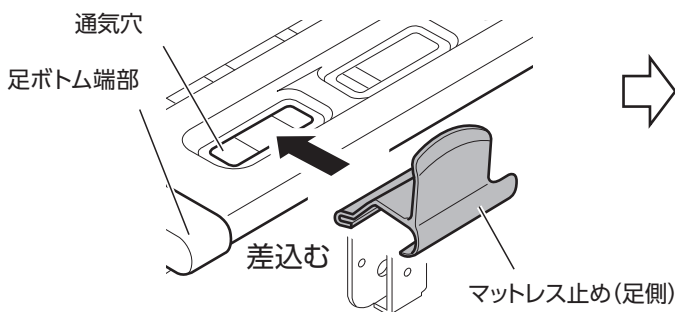
### 注意

マットレス止め (足側) の左右の向きに注意して取付けてください。左右を取付け間違えると、異音・破損・変形の原因となります。



- ① マットレス止め (足側) を足ボトム端部の一番外側の通気穴に押しながら、差込む (2ヶ所)

- ② マットレス止め (足側) の上部を押し、通気穴に「カチッ」と音がするまでツメ部を押し込む

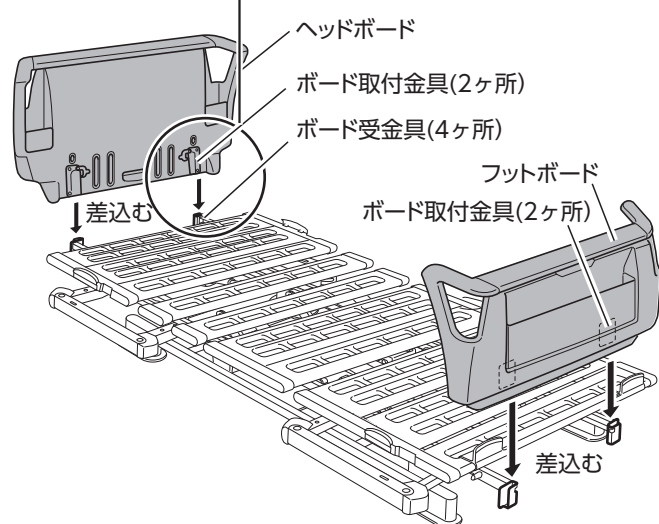
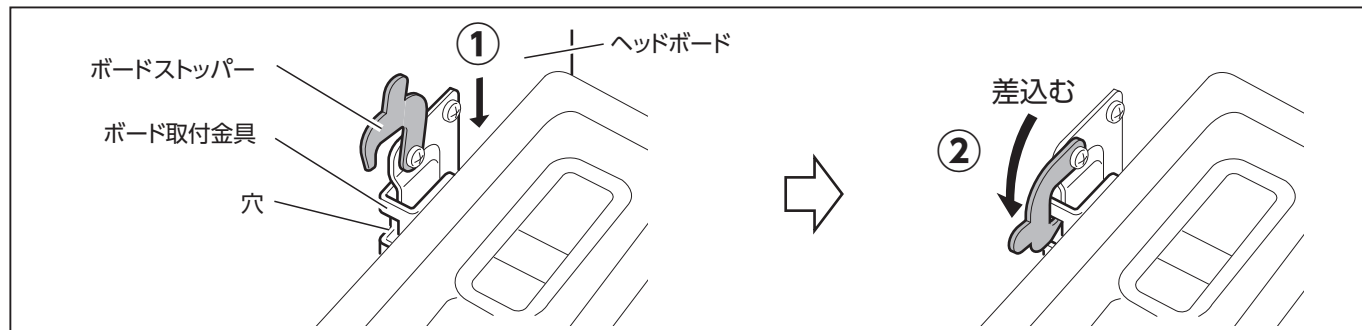


マットレス止め (足側) の取付け後、内から外へ軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。

# 3 ベッドの組立方法

## 9.ヘッドボードとフットボードの取付け

### 9-1.ヘッドボードの取付け



- ① ボード取付金具 (2ヶ所) を、ボード受金具にまっすぐ最後まで差込む
- ② ボードストッパー (2ヶ所) を、ボード受金具の穴に差込む (固定)



- ボードストッパーがボード受金具の穴に、確実に掛かっていることを確認してください。
- ボード上部に安全ラベル (警告・注意事項が記載されているラベル) が貼ってある方を足側に取付けてください。

### 9-2.フットボードの取付け

「ヘッドボードの取付け」と同じ要領で取付けてください。

#### 警告

ボードは正しいユニットの組合せ (71ページ参照) になっていることを確認した上で取付けてください。誤った組合せで使用すると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりベッドが故障したりするおそれがあります。

#### 注意

- ボードストッパーを掛け忘れたり、掛けかたが不完全だったりしていないか確認してください。ボードが不意に外れて、けがをするおそれがあります。
- ボードを取付けるときは、落下させないように注意してください。足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけたりするおそれがあります。

## 4 組立後の点検

■ ベッドの組立が終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認の上、下記のチェックシートで点検してください。(88~93ページをコピーしてお使いください)

- 定期点検のときも、このチェックシートを使用してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター (93ページ参照) までお問い合わせください。
- キャスターなどのオプションをご使用の場合は、各製品の「取扱説明書」をご覧ください。

### 警告

組立後は点検を行ってください。組立が不十分な状態で使用すると、けがや故障するおそれがあります。

### 注意

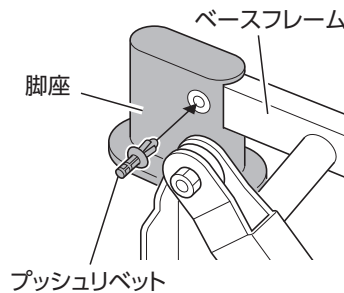
点検作業をしているときに異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用を中止し、パラテクノコールセンター (93ページ参照) までご連絡ください。

## チェックシート

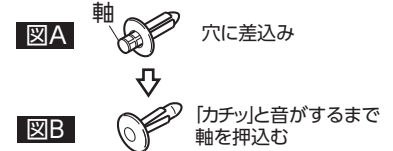
### 1 脚座の取付け

ベースフレームの4ヶ所すべてに脚座がはまり、プッシュリベットが確実に取付けられていますか? (4ヶ所)

- はい  
 いいえ → 72・73ページ参照



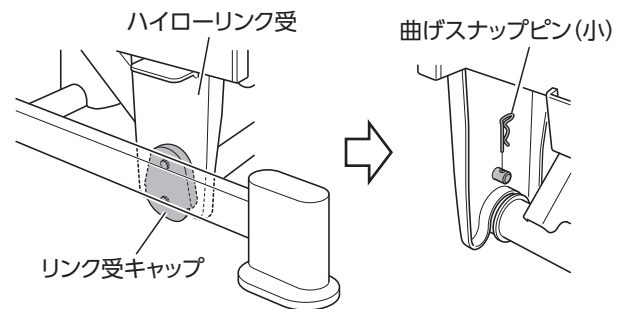
プッシュリベットを取付けるときは



### 2 リンク受キャップの取付け

4ヶ所すべてのリンク受キャップがはまり、裏側に曲げスナップピン (小) が確実に差込まれていますか? (4ヶ所)

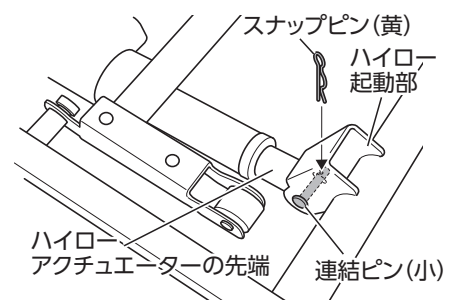
- はい  
 いいえ → 74ページ参照



### 3 ハイローアクチュエーターの先端とハイロー起動部の連結

連結ピン (小) にスナップピン (黄) が確実に差込まれていますか?

- はい  
 いいえ → 75ページ参照

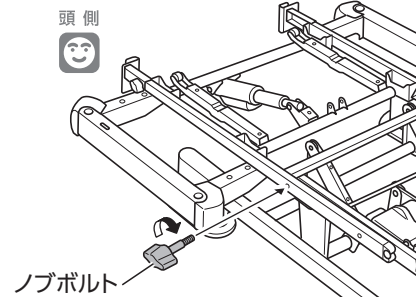


# 4 組立後の点検

## 4 頭側フレームと足側フレームの固定

頭側フレームと足側フレームともにノブボルトで確実に締付けられていますか？（左右各1ヶ所）

- はい
- いいえ → 76ページ参照



4

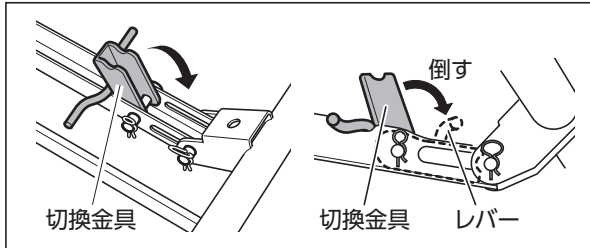
組立後の点検

## 5 背膝連動幹の取付け

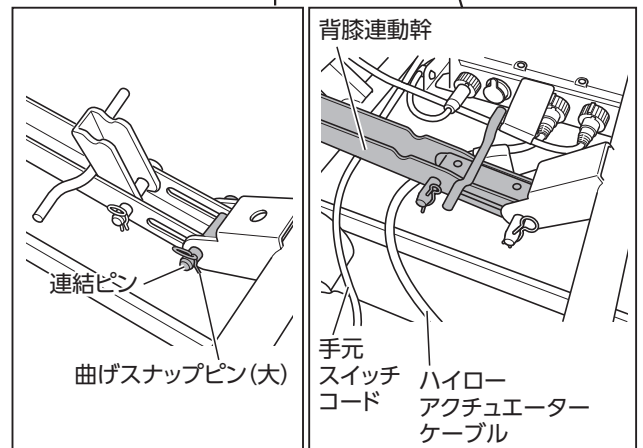
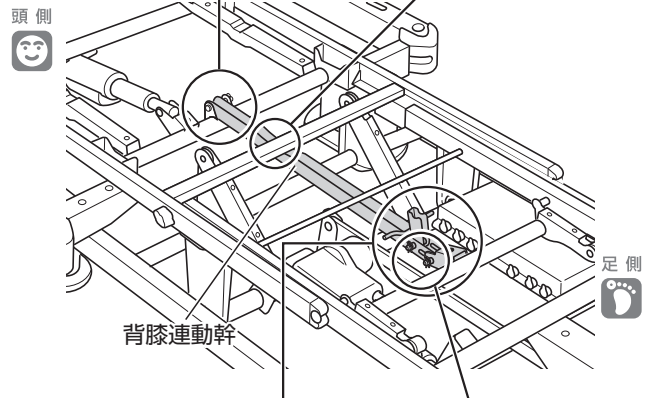
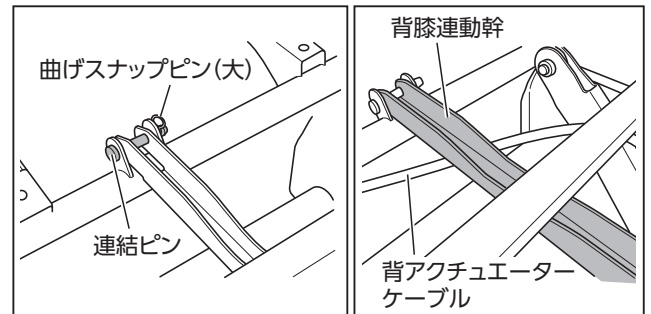
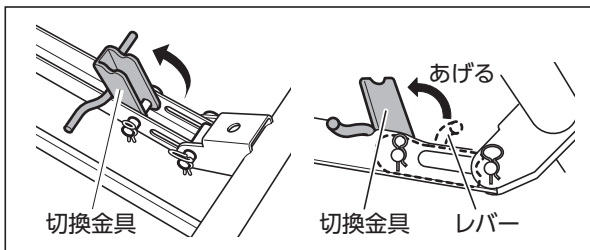
- 連結ピンに曲げスナップピン（大）が確実に差込まれていますか？（2ヶ所）
- 切換金具は正しい位置にありますか？
- 背膝連動幹が手元スイッチコードやアクチュエーターケーブルの上を通過していますか？

- はい
- いいえ → 80・81ページ参照

背膝連動



背あげのみ



## 6 コード類の傷

プラグやコード類に傷などありませんか？

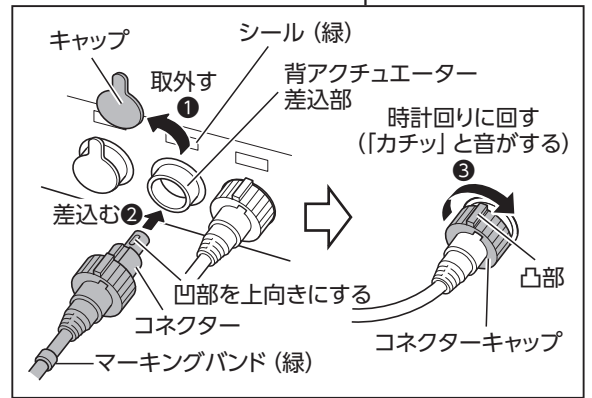
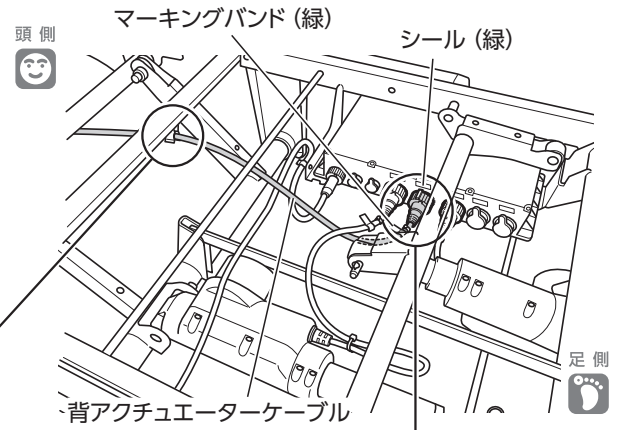
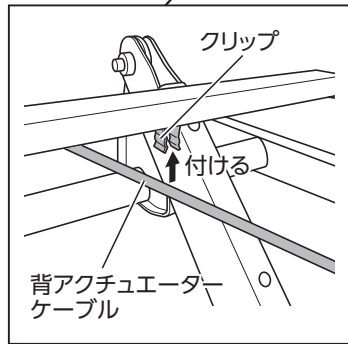
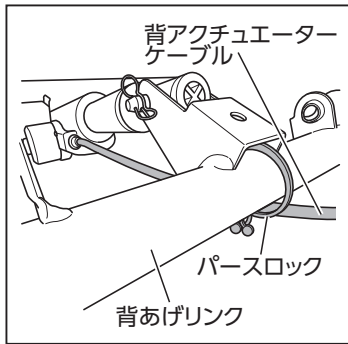
- はい
- いいえ → 販売店またはパラテクノコールセンター（93ページ参照）へ連絡

### 7 背アクチュエーターと コントロールボックスの配線

- ケーブルが正しく配線されていますか？
- ケーブルがクリップに固定されていますか？
- コネクタキャップの凸部が真上にきていますか？
- ケーブルが背あげリンクに付いているパースロック内に通っていますか？

はい

いいえ → 60・77ページ参照

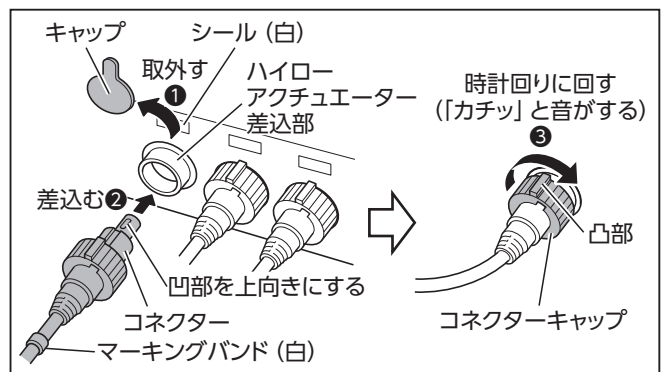
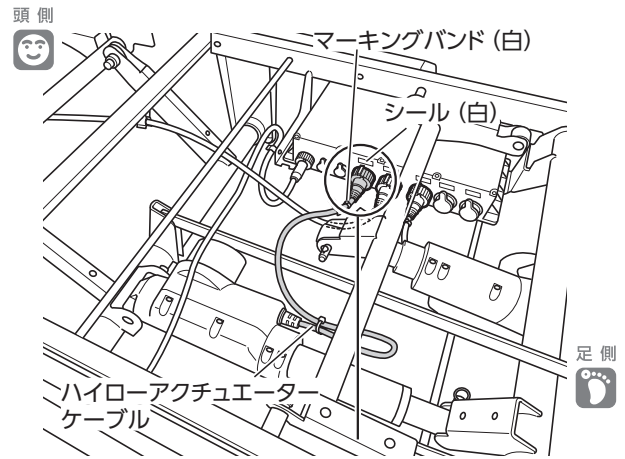


### 8 ハイローアクチュエーターと コントロールボックスの配線

- ケーブルが正しく配線されていますか？
- コネクタキャップの凸部が真上にきていますか？

はい

いいえ → 78ページ参照

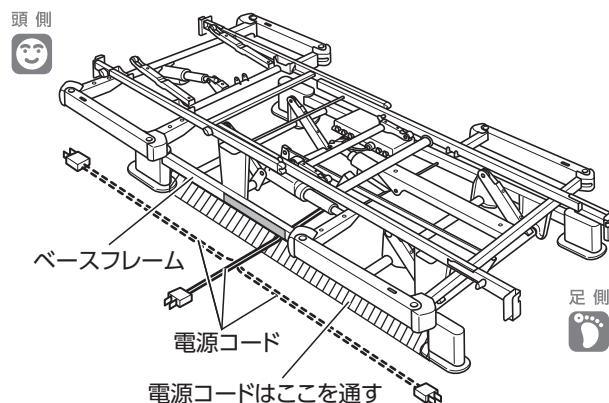


## 4 組立後の点検

### 9 電源コードの確認

- ベースフレームの角パイプの下側を通過していますか？
- ベッドの可動部に接触していませんか？
- 脚座やキャスターなどで踏んでいませんか？
- ベッドの内側にコードのたるみがありませんか？

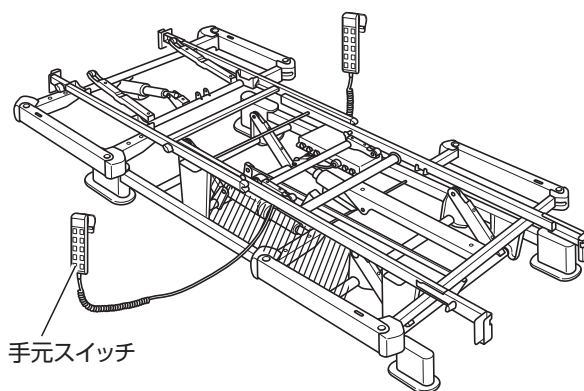
- はい  
 いいえ → 79ページ参照



### 10 手元スイッチコードの確認

- 手元スイッチコードはベースフレームの角パイプの上側を通過していますか？
- ベッドの可動部に接触していませんか？
- 脚座やキャスターなどで踏んでいませんか？

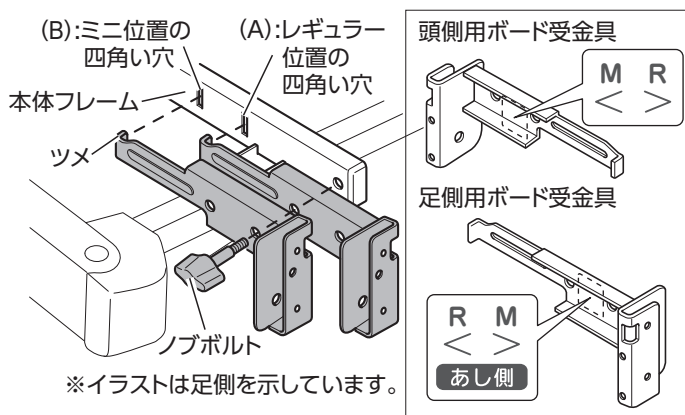
- はい  
 いいえ → 80ページ参照



### 11 ボード受金具の調節 (頭側左右各1ヶ所、足側左右各1ヶ所)

- ボトム長さにあった位置に取付けられていますか？
- 頭側用/足側用が正しく取付けられていますか？
- ノブボルトで確実に締付けられていますか？

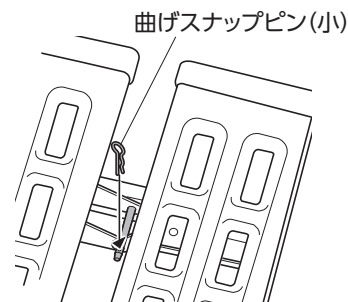
- はい  
 いいえ → 82ページ参照



### 12 背ボトムと膝・足ボトムの取付け

連結ピン (大) に曲げスナップピン (小) が確実に差込まれていますか？ (左右各1ヶ所)

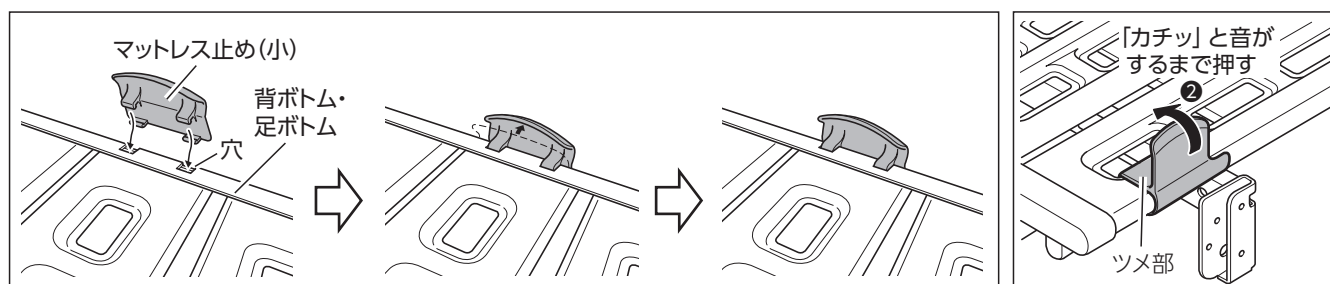
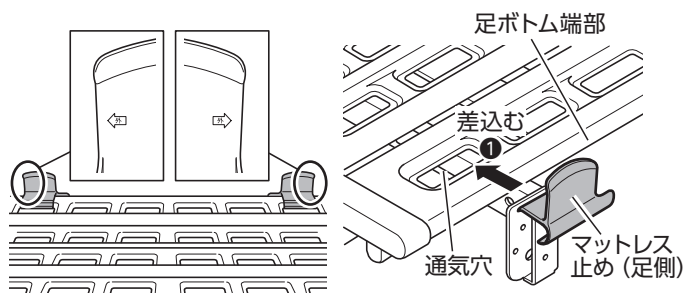
- はい  
 いいえ → 84ページ参照



## 13 マットレス止めの取付け

- ボトムにしっかりと取付けられていますか？
- マットレス止め（足側）は、足側フレームの上に乗っていますか？

- はい
- いいえ → 85・86ページ参照



## 14 ボードの取付け状況の確認（頭側・足側）

- ボード取付金具がボード受金具にしっかりと入っていますか？（頭側2ヶ所・足側2ヶ所）
- ボードストッパーがボード受金具の穴に確実に掛かっていますか？（頭側2ヶ所・足側2ヶ所）
- いちじるしいがたつきがないですか？

- はい
- いいえ → 87ページ参照



## 15 手元スイッチの確認

- 電源プラグをコンセントに差込むと手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯しますか？
- 操作ボタンを押すと、操作選択ランプが点灯しますか？  
その後、操作ボタンを離すと表示パネルに「ON」が表示されますか？  
（足側ユニットがQ6\*\*\*1Fで、自動オフ設定が「無効」の場合を除く）

- はい
- いいえ → 22・23ページ参照

## 16 操作時の確認

手元スイッチで「らくらくモーション」「背あげ」「膝あげ」「高さ調節」の操作を最大まで行ったとき、以下の異常がありませんか？

- 異常なし
- 異常音がある → 販売店またはパラテクノコールセンター（93ページ参照）へ連絡  
※場所や状態によってはお客様で注油を行うことができます。
- 動作しない（電源ランプが点滅する） → 56・57ページ参照
- ベッドが家具などに当たる → ベッドを移動するか、障害物を取除いてください。

## 4 組立後の点検

4

組立後の点検

### 17 ベッド・電装品の傷や変形

- ボトムやフレームなどに、傷や変形がありませんか？
- 手元スイッチに、傷や破損がありませんか？

ない

ある → 販売店またはパラテクノコールセンター（下記参照）へ連絡

### 18 ラベルのはがれ

ラベルがはがれたり、文字が見えなくなったりしていませんか？

いいえ

はい（はがれている・文字が見えない） → 販売店またはパラテクノコールセンター（下記参照）へ連絡

### 19 ベッドのすべり

ベッドを前後・左右から押したとき、容易にすべりませんか？

すべらない

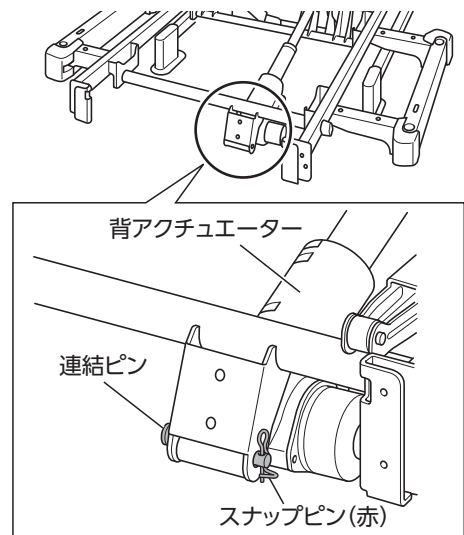
すべる → 脚座の下に敷物（脚座ゴムシート KQ-P732：別売など）を敷いてください。

### 20 連結ピン・スナップピン（赤）の確認

背アクチュエーターの連結ピンにスナップピン（赤）が確実に差込まれていますか？

はい

いいえ → 販売店またはパラテクノコールセンター（下記参照）へ連絡



調整・点検が必要な場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

**パラテクノコールセンター** ☎ **0120-54-8639**

【受付時間】 平日8:00～19:00 / 土・日・祝日9:00～17:20（年始は休業いたします）

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは104ページの「アフターサービス」をご覧ください。

## 5 ベッドの分解方法

■ベッドの分解は、販売店に依頼することをおすすめします。万一、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。

### 注意

- ベッドの分解は手順に従って行ってください。手順どおりに行わないと、コード類が断線したり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。
- キャスター (KQ-39A) を使用している場合は、キャスター (KQ-39A) を固定状態 (回転・旋回しない状態) にしてから作業を行ってください。固定状態になっていないと、分解作業中にベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

### 1. 分解作業前の準備



取外した連結ピン・スナップピンなどは、紛失しないように保管してください。

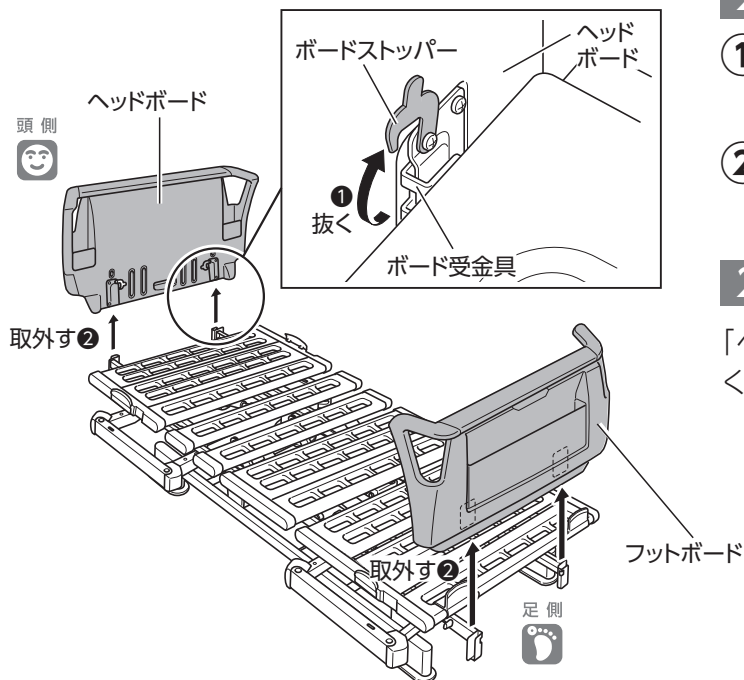
- ① キャスター (KQ-39A) を取付けている場合は、ストッパーを固定状態にしてください。
- ② ベッドのオプション (ベッドサイドレール・ベッド用グリップなど) をベッドから取外してください。
- ③ 寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ④ 電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑤ ベッドの高さを最低高さまでさげてください。
- ⑥ 背ボトムと膝・足ボトムを水平にしてください。
- ⑦ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 警告

ベッドの分解は、ベッド高さを最低高さまで下げた状態で行ってください。ベッドがあがった状態で分解しますと、部品の落下などにより思わぬけがをしたり、故障したりするおそれがあります。

# 5 ベッドの分解方法

## 2. ヘッドボードとフットボードの取外し



### 2-1. ヘッドボードの取外し

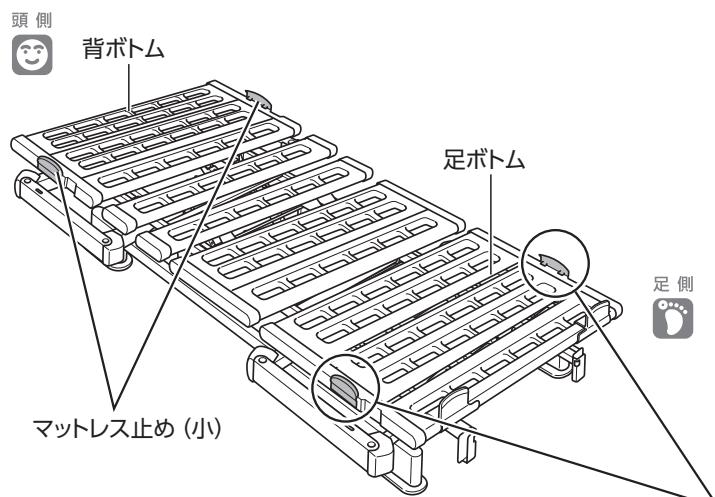
- ① ヘッドボードの左右のボードストッパーを、ボード受金具から抜いてください。(固定の解除)
- ② ヘッドボードを真上に持ちあげて取外してください。

### 2-2. フットボードの取外し

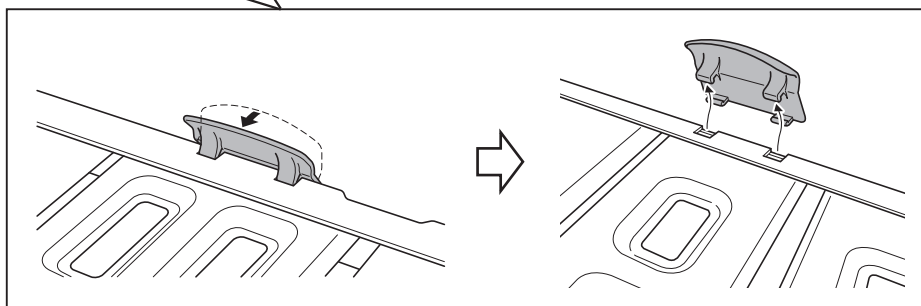
「ヘッドボードの取外し」と同じ要領で取外してください。

## 3. マットレス止めの取外し

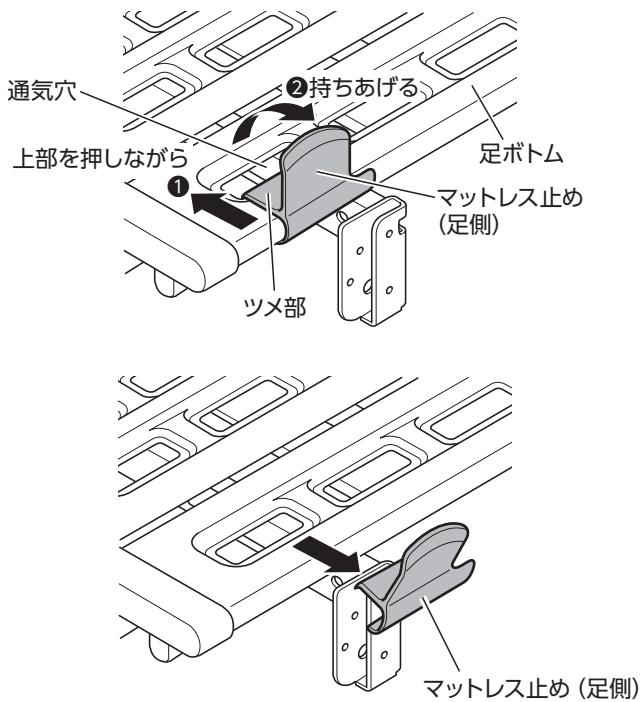
### 3-1. マットレス止め (小) の取外し



- ① 背ボトムと足ボトムのマットレス止め (小) を内側に倒してください。(左右各2ヶ所：計4ヶ所)
- ② マットレス止め (小) を真上に持ちあげ、取外してください。



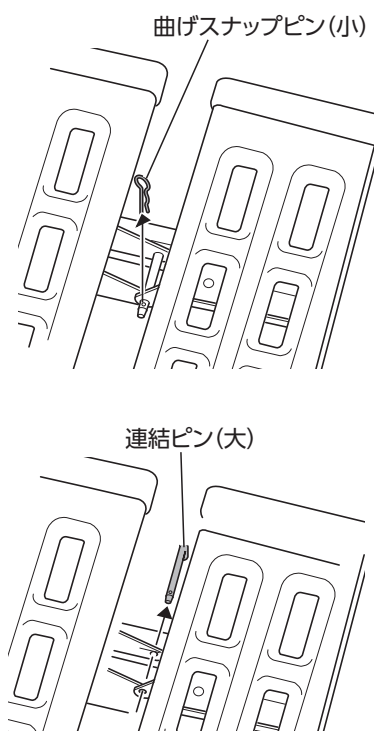
## 3-2. マットレス止め (足側) の取外し



- ① マットレス止め (足側) の上部を内側に押してください。
- ② 真上に持ちあげ、ツメ部を足ボトムの通気穴から外してください。(2ヶ所)
- ③ 図のようにマットレス止め (足側) を傾けながら真横に引っ張り、取外してください。

## 4. ボトムの取外し

## 4-1. 膝・足ボトムの取外し

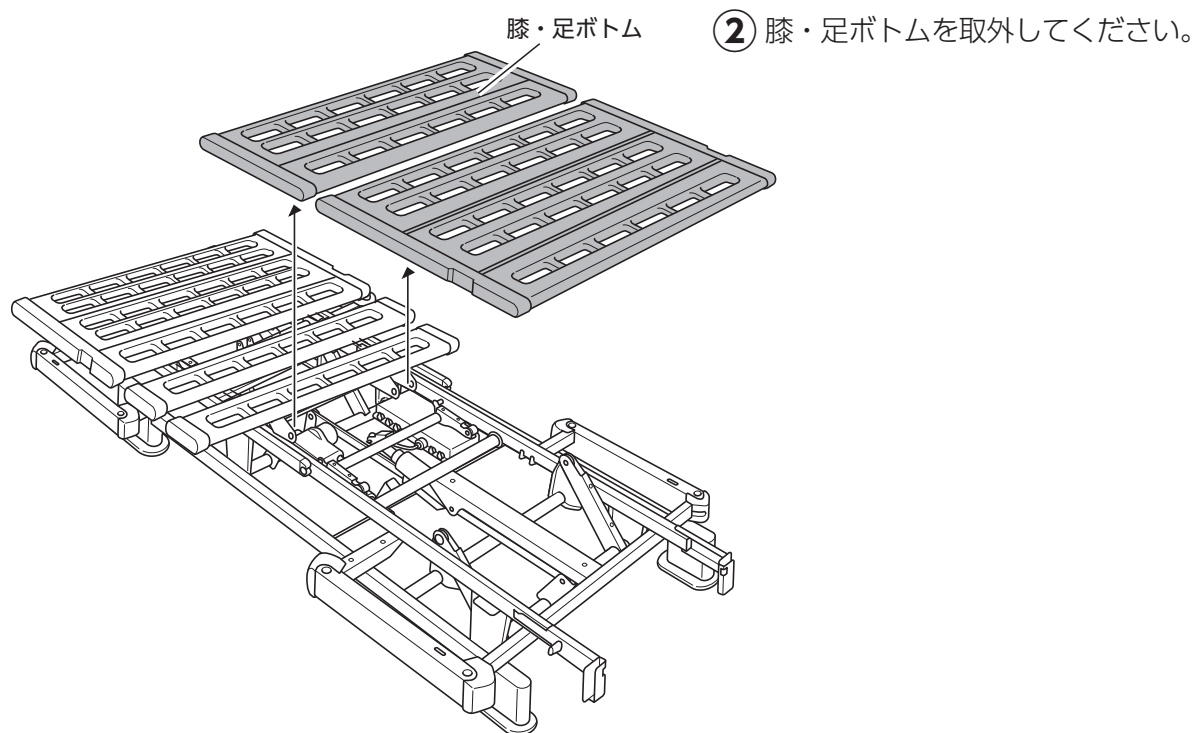


- ① 曲げスナップピン (小) を抜いて、背ボトム、膝・足ボトムと頭側フレーム・足側フレームを連結している連結ピン (大) を抜き取ってください。(左右各1ヶ所)

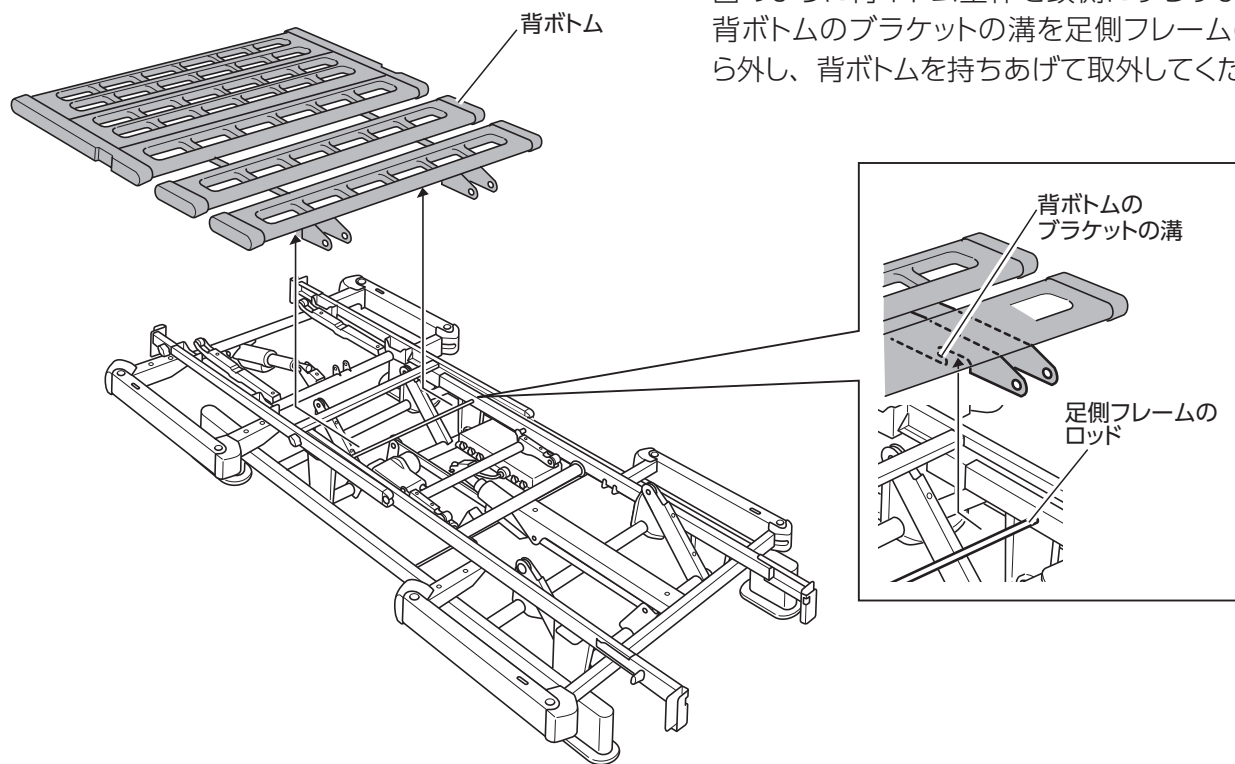


取外した連結ピン (大) ・スナップピンは紛失しないように保管してください。

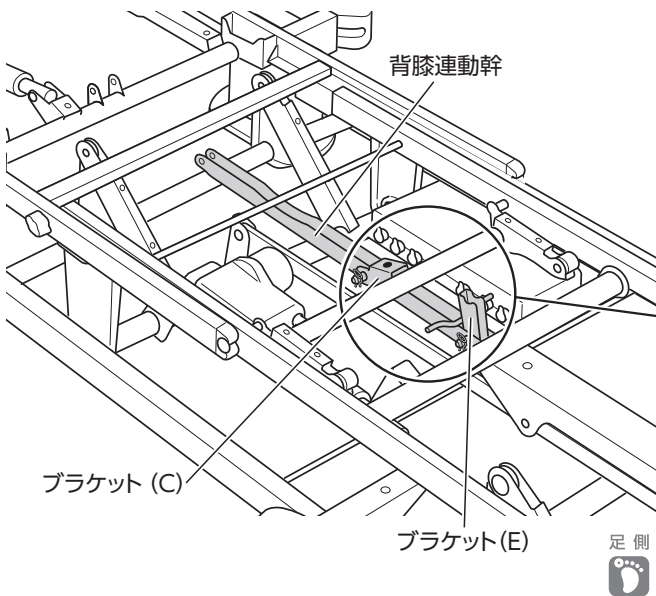
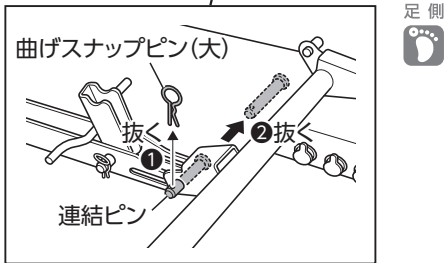
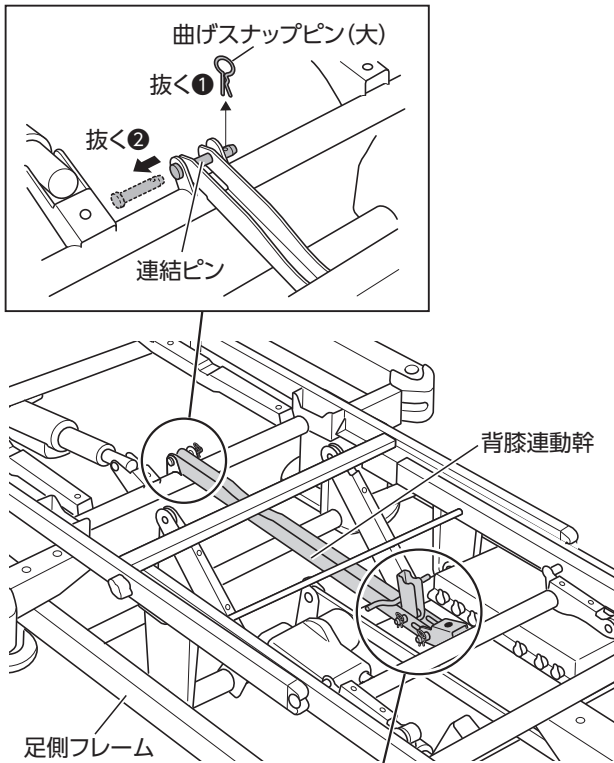
# 5 ベッドの分解方法



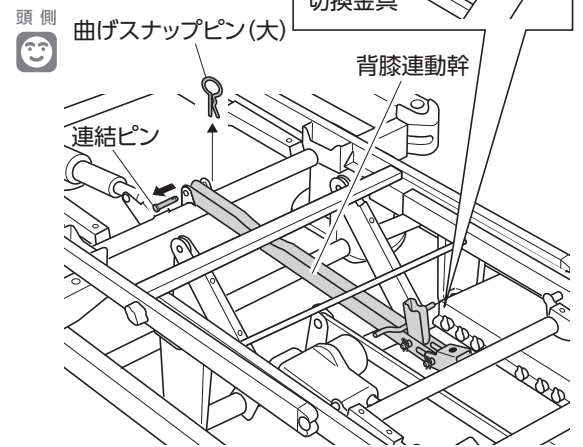
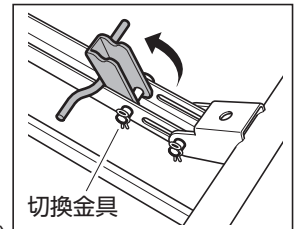
## 4-2.背ボトムの取外し



## 5.背膝連動幹の付替え ( 2 のみ )



- ① 設定が「背あげのみ」状態になっていることを確認してください。  
※背膝連動に設定している場合は、30・31ページを参照して切換金具をあげ、背膝連動を解除してください。

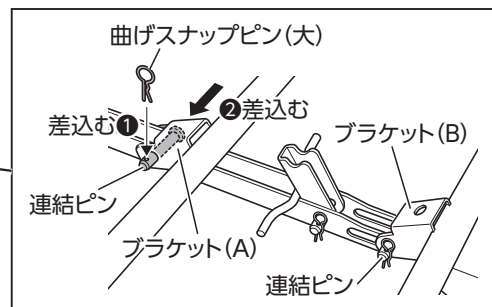


- ② 頭側・足側フレームと背膝連動幹を固定している連結ピン (2ヶ所) の曲げスナップピン (大) を抜き、連結ピン (2ヶ所) を抜いてください。背膝連動幹が外れます。



**注記!** 連結ピンを外すときは、背膝連動幹を手で支えてください。

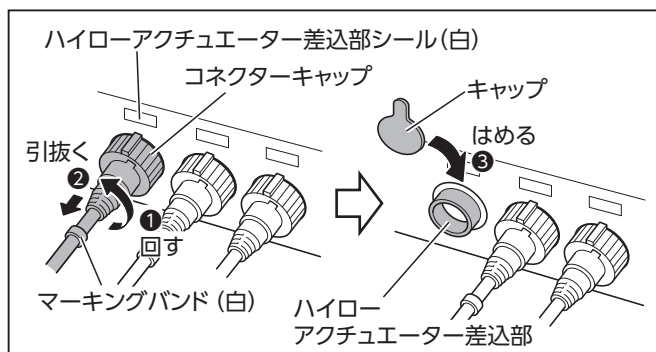
- ③ 背膝連動幹を足側フレームのブラケット(A)と(B)に図のようにあわせ、②で外した連結ピンと曲げスナップピン(大)で固定してください。



# 5 ベッドの分解方法

## 6. ケーブル・コード類の配線の取外し

### 6-1. ハイローアクチュエーターの配線の取外し



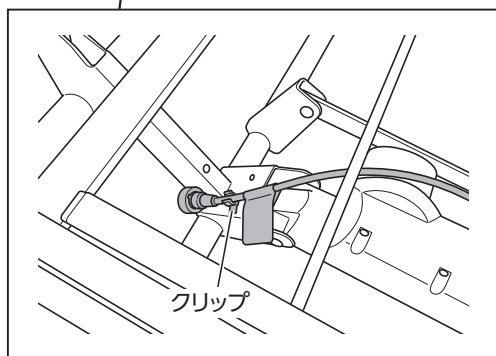
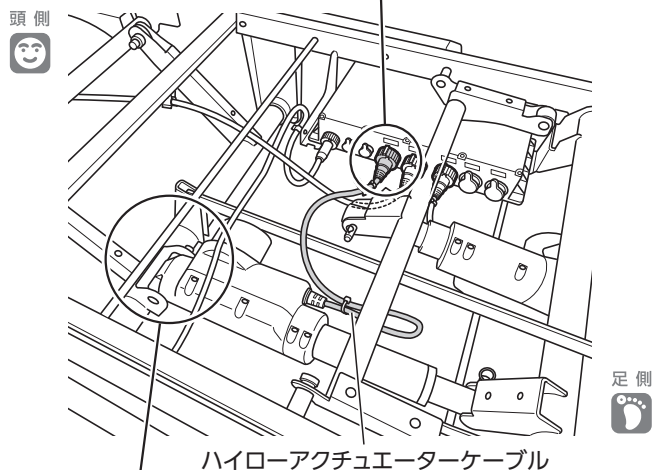
① ハイローアクチュエーターのコネクターキャップ (マーキングバンド：白) を反時計回りに回して、コントロールボックスのハイローアクチュエーター差込部 (シール：白) からコネクターを引き抜いてください。

② 保管しているキャップを、コントロールボックスのハイローアクチュエーター差込部 (シール：白) にはめてください。

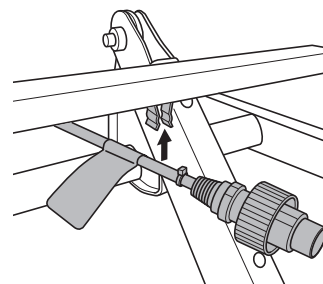
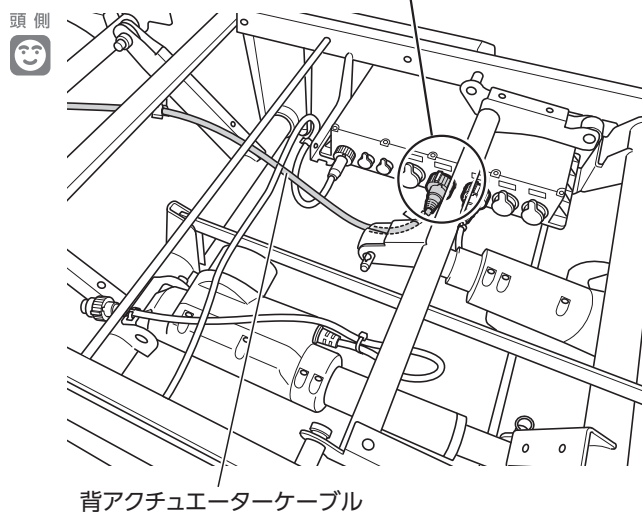
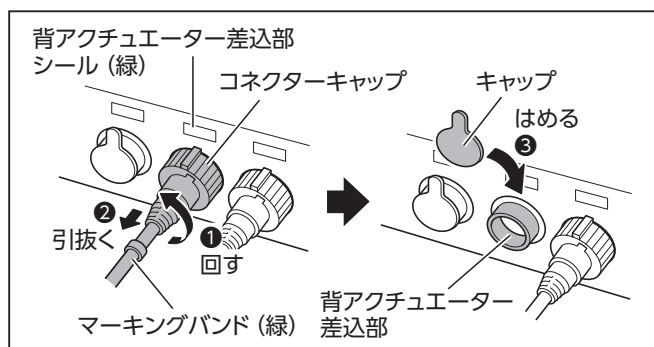
#### 注意

コネクター部を落としたり、衝撃を加えたり、はさんだりしないでください。コネクター部が破損するおそれがあります。

③ ベースフレームのクリップにハイローアクチュエーターケーブルを留めてください。



## 6-2.背アクチュエーターの配線の取外し



- ① 背アクチュエーターのコネクターキャップ (マーキングバンド: 緑) を反時計回りに回して、コントロールボックスの背アクチュエーター差込部 (シール: 緑) からコネクターを引き抜いてください。
- ② 保管しているキャップを、コントロールボックスの背アクチュエーター差込部 (シール: 緑) にはめてください。

**注意**

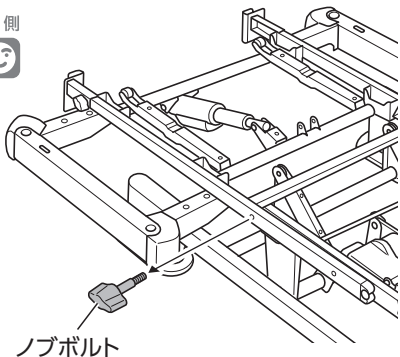
コネクター部を落としたり、衝撃を加えたり、はさんだりしないでください。コネクター部が破損するおそれがあります。

- ③ 頭側フレームのクリップに、背アクチュエーターケーブルを留めてください。

# 5 ベッドの分解方法

## 7. 頭側フレームの取外し

頭側



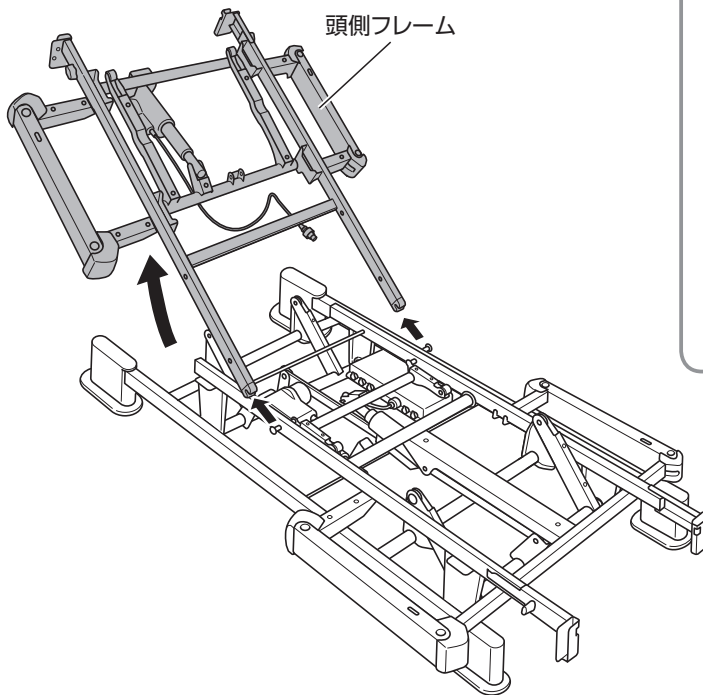
- ① 頭側フレームと足側フレームを固定しているノブボルトを、取外してください。(左右各1ヶ所)



取外したノブボルトは紛失しないように保管してください。

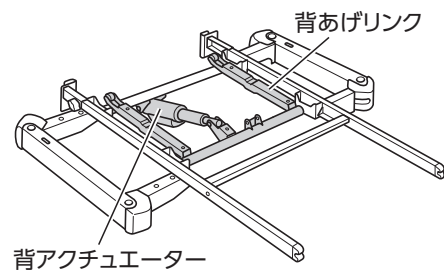
- ② 頭側フレームを足側フレームから取外してください。

5 ベッドの分解方法



### 注意

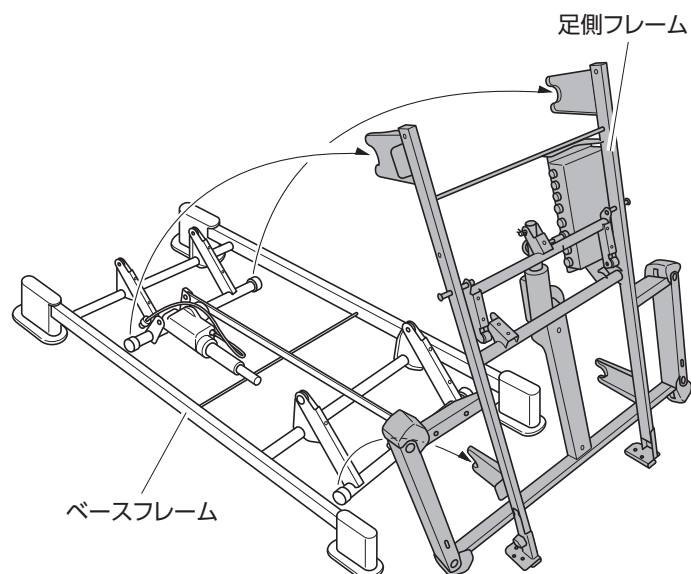
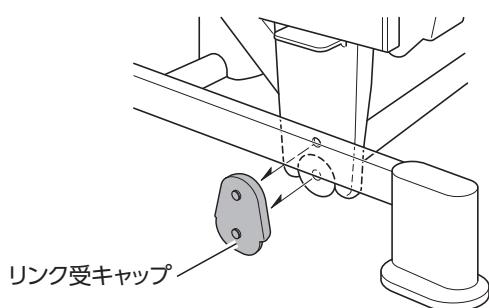
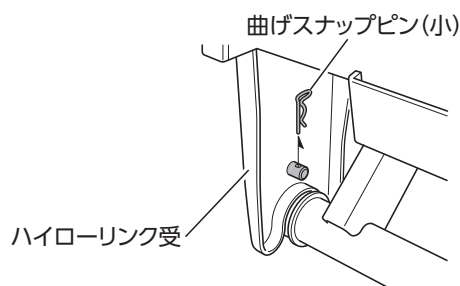
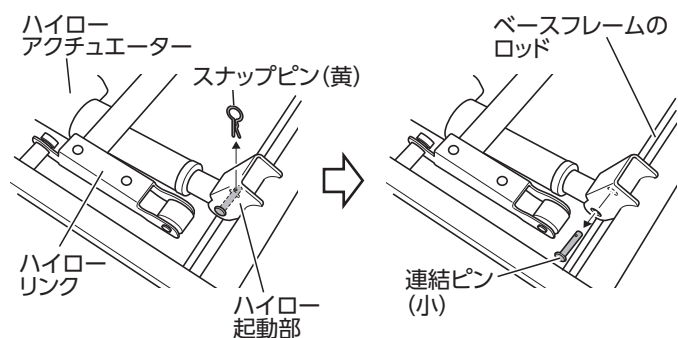
分解や持ち運びをするときは、背アクチュエーターや背あげリンクなどを持たないでください。けがや破損の原因となります。



## 8.足側フレームの取外し

〈スナップピン (黄) の抜きかた〉

- ペンチ、プライヤー (小) ではさんで引っ張るかドライバーの先で引っ掛けると取外しが容易です。



- ① ハイローアクチュエーター先端のスナップピン (黄) を抜いて、ハイロー起動部と連結している連結ピン (小) を取外してください。



- 連結ピン (小) を外す際、ロッドを手で支えてください。
- 取外した連結ピン (小)、スナップピン (黄) は紛失しないように保管してください。

- ② ハイローアクチュエーターの先端をベースフレームのロッドにインシュロック (白) など固定してください。

- ③ 電源コード、手元スイッチコードをひもなどで足側フレームに固定してください。

- ④ ハイローリンク受裏側の曲げスナップピン (小) を取外してください。(4ヶ所)

- ⑤ リンク受キャップを取外してください。(4ヶ所)



- 取外したリンク受キャップ、曲げスナップピン (小) は紛失しないように保管してください。

- ⑥ 図のように足側フレームを持ちあげ、ベースフレームから取外してください。

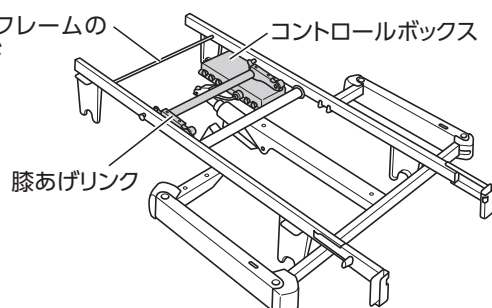


- ベースフレームから足側フレームを取外す際には、電源コード、手元スイッチコードがベースフレームに引っ掛からないように注意してください。

### 注意

膝あげリンクや足側フレームのロッド、コントロールボックス周辺部を持たないでください。けがや破損の原因となります。

足側フレームの  
ロッド



膝あげリンク

コントロールボックス

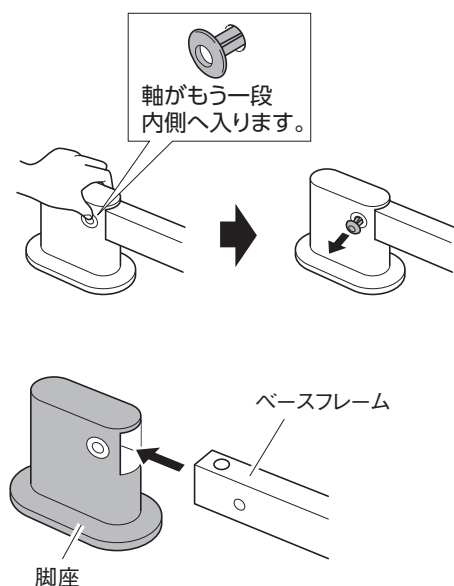
# 5 ベッドの分解方法

## 9.脚座の取外し


■ベースフレームから脚座を取外して保管したい場合や、キャスターを使用したいときは、下記の手順で脚座を取外してください。

### 注意

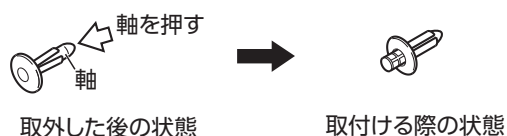
ベースフレームから脚座を取外すときは、ベッドを分解してベースフレームのみの状態にしてから作業を行ってください。



- ① 脚座を固定しているプッシュリベットの軸を「カチッ」と音がするまで、指で押込んで固定を解除してください。  
※指で押込めない場合は、押し込み過ぎないように注意しながらドライバーなどで軽く押し込んでください。
- ② プッシュリベットを脚座から取外してください。
- ③ 脚座をベースフレームから取外してください。(4ヶ所)

 **脚座とプッシュリベットは、紛失しないよう袋などに入れて保管してください。**

※脚座を再度取付ける際は、プッシュリベットの軸を押し出してから使用してください。



## 10.付属部品と分解したユニットの保管

### ■付属品、組立付属部品、その他部品の保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書および組立付属部品、その他の部品を袋などに入れて保管してください。  
※付属部品とユニットの詳細につきましては、68～71ページの「**[2]** 梱包部品の確認」を参照してください。

# アフターサービス

## 1. 保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

## 2. 修理を依頼される時

取扱説明書の56・57ページ「**故障かな?と思ったら**」に従って調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター（右記参照）までご連絡ください。

### ■ 連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号（ラベルの貼付位置は68～70ページ参照）
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所および電話番号

### ■ 消耗部品について

- 手元スイッチは消耗部品です。

### 保証期間内のとき

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご希望により有償で修理いたします。

## 3. 部品の最低保有年数

弊社ではこのベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

## 4. アフターサービスについて ご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

### パラテクノコールセンター

フリーダイヤル **0120-54-8639**

受付時間：平日8:00～19:00

土・日・祝日9:00～17:20

（年始は休業いたします）

### 【パラテクノ株式会社について】

弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

### <パラマウントベッド 株式会社>

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111(大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171(代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211(代)
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合9丁目4番7号	☎(048)852-0707(代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600(代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)







PARAMOUNT BED